

未来の豊橋市のまちづくりにむけた市民アンケート調査

報 告 書

令和 2 年 2 月

豊橋市

未来の豊橋市のまちづくりにむけた市民アンケート調査報告書

目 次

1	調査概要.....	1
	(1)調査目的.....	1
	(2)調査の概要.....	1
	(3)留意点.....	1
2	調査結果.....	2
	(1)回答者の属性.....	2
	(2)調査結果.....	6
	1) 回答者（もしくは家族）がはじめて豊橋市に居住した時期.....	6
	2) ふるさとと思う場所.....	7
	3) U ターン居住の経験.....	8
	4) 18歳以上の子どもの居住地.....	10
	5) 子どもが将来家を建てるための土地の保有.....	10
	6) 施設等の利用状況（「よく利用する」と「たまに利用する」の合計）.....	11
	7) 日頃楽しいと感じること.....	24
	8) 休日の過ごし方（「よくする」と「たまにする」の合計）.....	27
	9) 豊橋市で生活して良いと思うところ、嫌だと思うところ.....	41
	10) 豊橋市に対する愛着や誇り、お勧め度合い.....	55
	11) 豊橋市のイメージ.....	63
	12) 今後やってみたいこと・興味のあること.....	65
	13) 豊橋市にあてはまると思うイメージ.....	69
	14) 豊橋市で暮らしていくうえで重要と思うこと、豊橋市にあてはまると思うこと.....	72
	15) 豊橋市よりも暮らしやすそうだと思う近隣のまち.....	88
	16) 豊橋市より暮らしやすそうだった理由.....	90
	(3)自由記述.....	95

1 調査概要

(1)調査目的

豊橋市の未来のまちづくりを検討するための基礎資料として、モデル的な市民像や市民生活スタイル像を確立するペルソナ設定を行い、市民のシビックプライドや豊橋市の魅力価値、政策ニーズを把握することを目的にアンケート調査を実施した。

(2)調査の概要

調査地域	豊橋市全域
調査対象	豊橋市在住の18歳以上の男女
対象数	5,000人
抽出方法	住民基本台帳から年齢階層別に無作為抽出
調査方法	郵送による調査票の配布・回収 ※ QRコードでスマートフォン等からアクセスし、インターネット上で回答することも可能
調査時期	2019年9月20日～10月11日（投函期限）
回収数・回収率	1,301通（回収率26.0%）うち、インターネット回答97通

(3)留意点

- ・ 単一回答設問であっても、複数選択による回答のあった設問については、複数回答設問に変更して処理しているものもある。
- ・ 集計結果は無回答を除いた数を母数として百分率で示している。また、その値は小数第一位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ・ この報告書の図表見出し及び文章中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合がある。
- ・ Nは回答者数とする。なお、N値が記入されていないグラフは、全回答者が回答したもので、N=1,301とする。また、男女別クロス集計及び年代別クロス集計でのNは以下のようになる。

男女別		年代別					
男性	女性	29歳以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
551	739	91	161	194	216	279	347

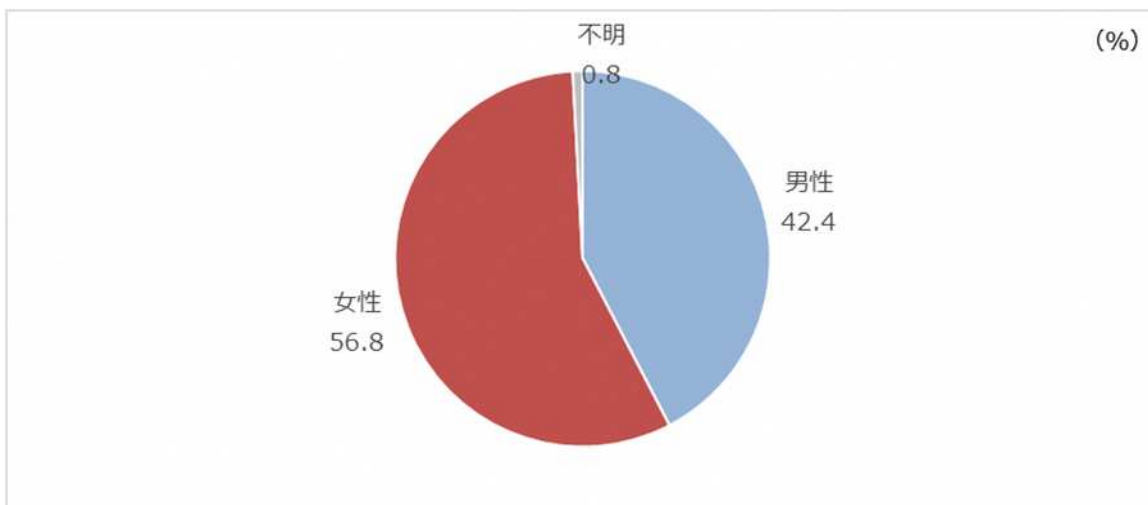
※属性別の回答者数について、無回答があるため合計はNと一致しない。

2 調査結果

(1)回答者の属性

- ・ 女性がやや多く、60歳以上が半数近くを占める。また、職業では就業・就学していない人が約3割で、正規の従業員・職員とほぼ同じ割合となった。通勤・通学先は市内が3/4を占める。
- ・ 既婚者がいる割合は約7割で、親と子（二世帯）が半数近くを占め、三世帯同居や単身世帯もそれぞれ約1割となった。回答者以外で前期高齢者（65-74歳）と後期高齢者（75歳以上）のいる世帯は、それぞれ1/4ずつ、未就学児、義務教育課程の子ども、高校生以上の学生のいる世帯は、それぞれ2割を下回る。
- ・ 住宅については、持ち家が約8割を占める。

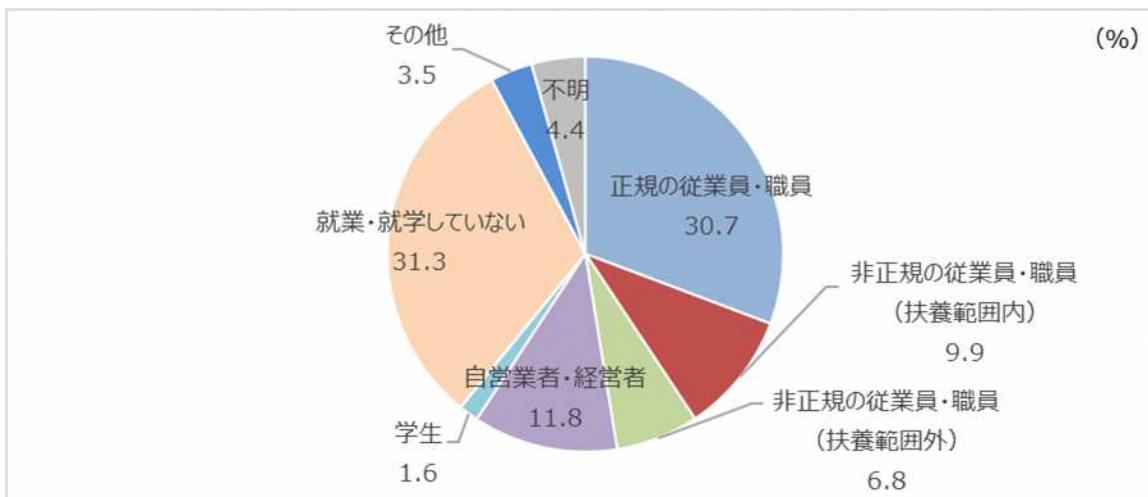
性別



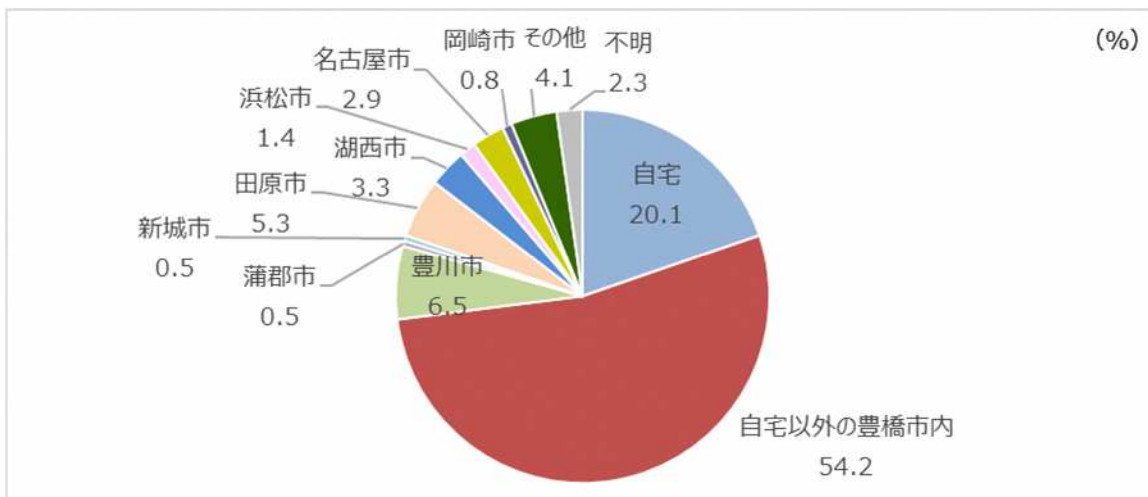
年齢



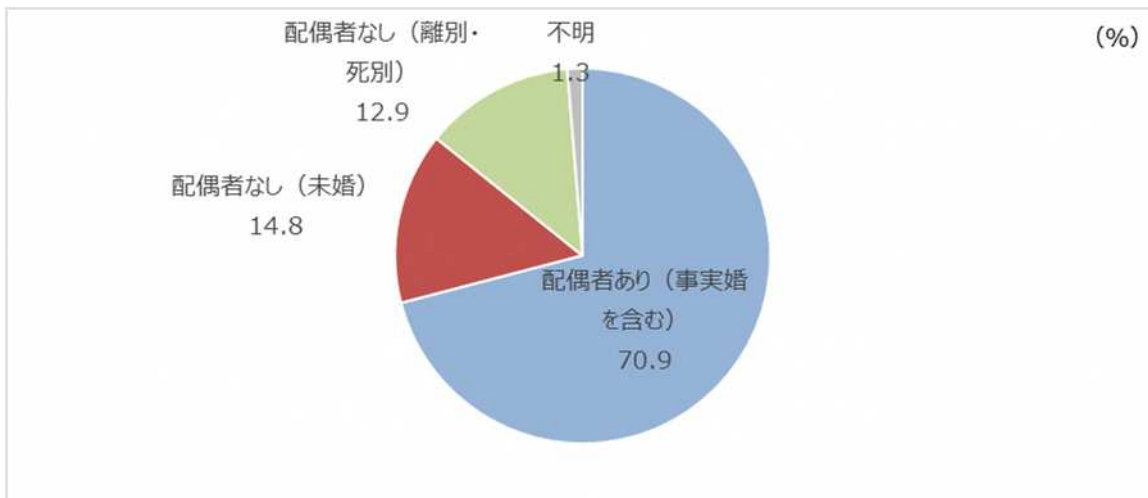
現在の主な就業形態（産休・育休取得中の方は取得前のもの）



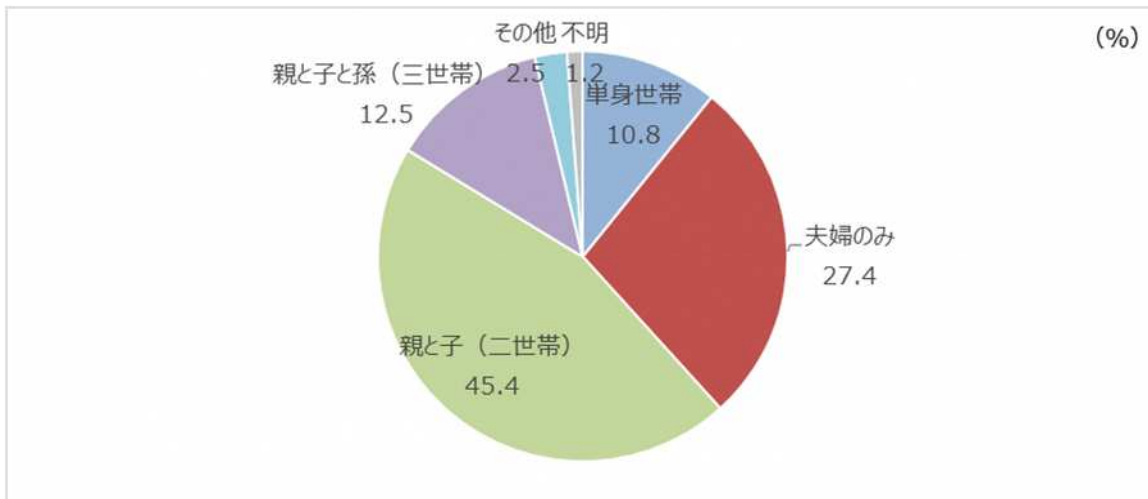
通勤・通学先 (N=837)



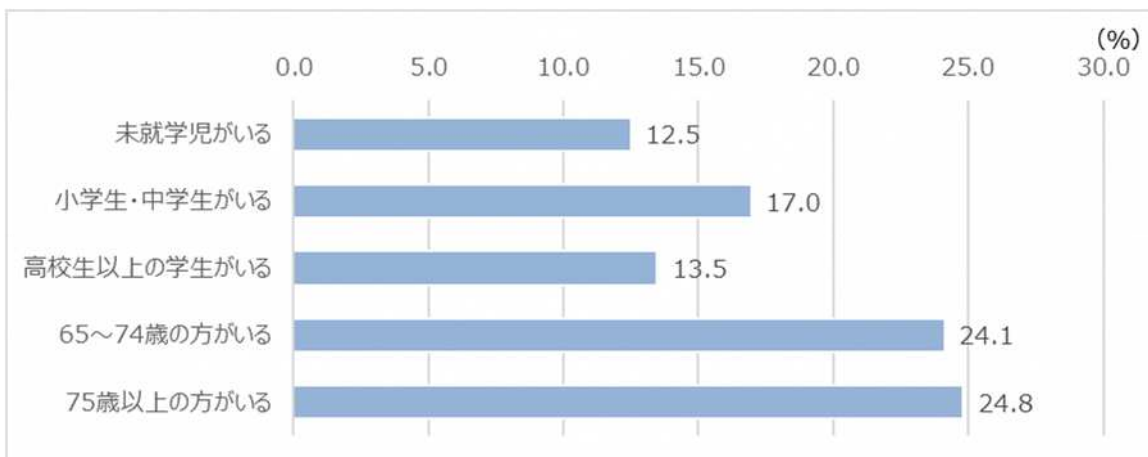
配偶者の有無



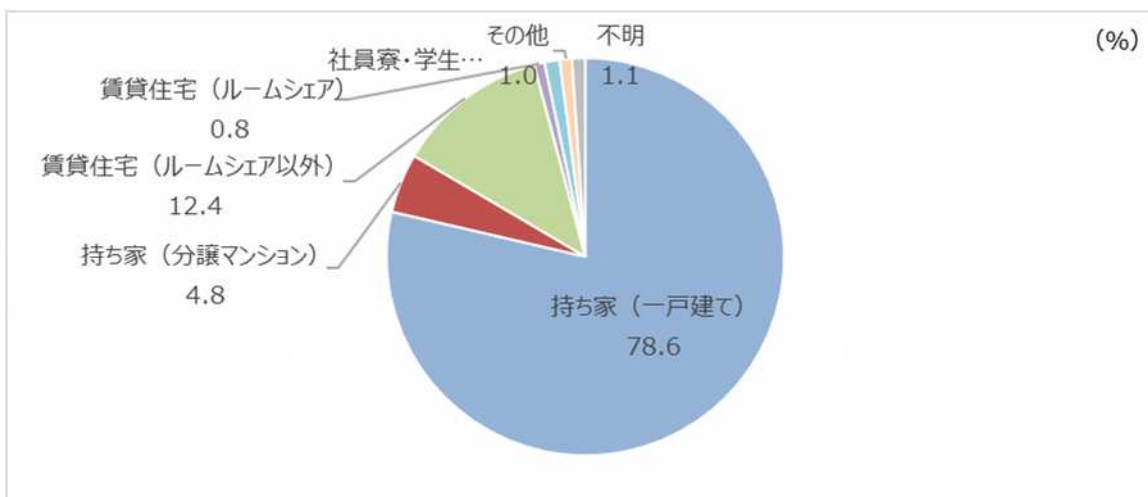
家族構成（同居）



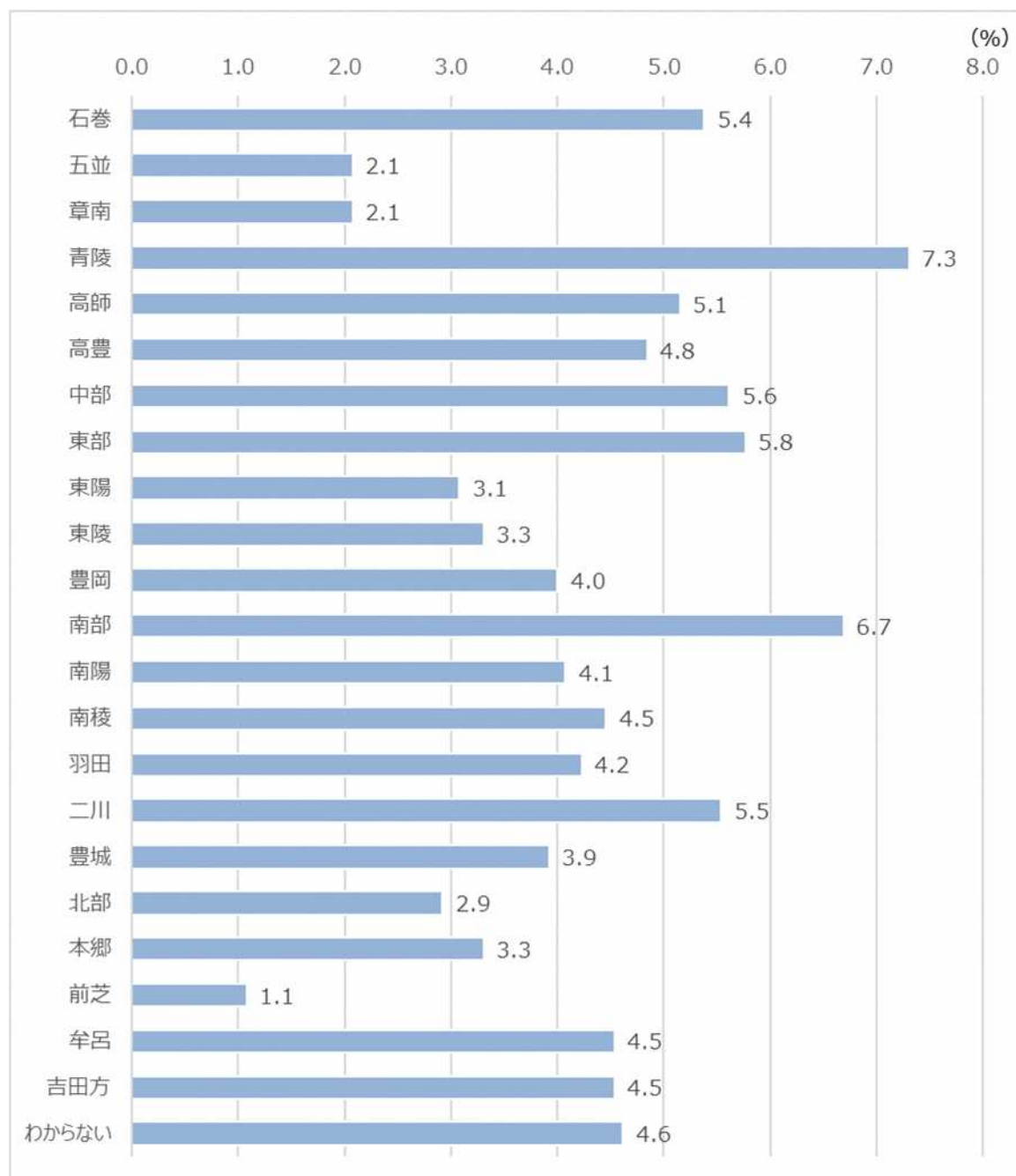
同居の家族（自身を除く）に該当するもの（当てはまるものすべて）（N=1,144）



自宅



住まいの中学校区

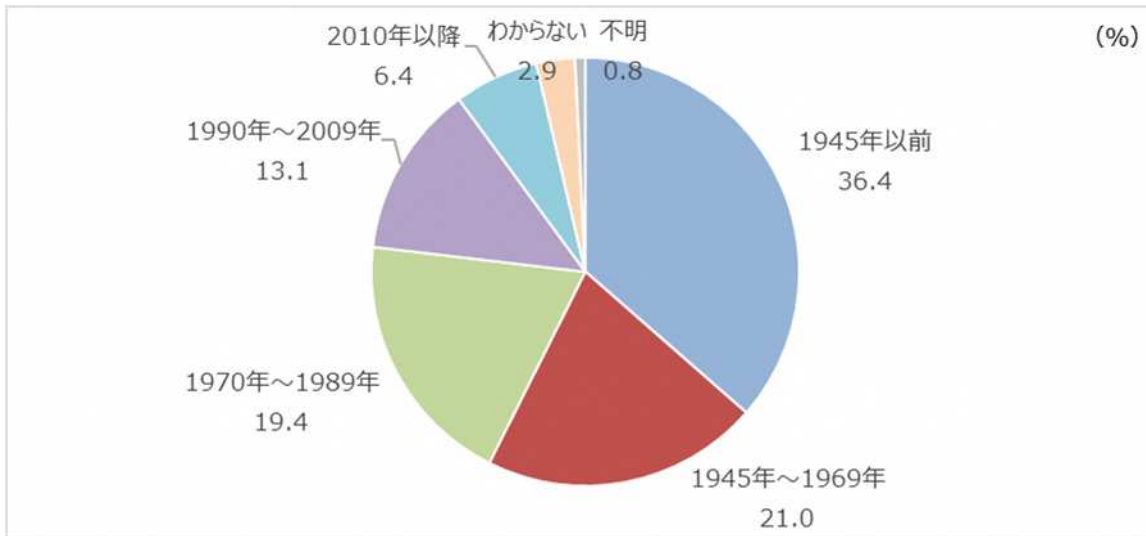


(2)調査結果

1) 回答者（もしくは家族）がはじめて豊橋市に居住した時期

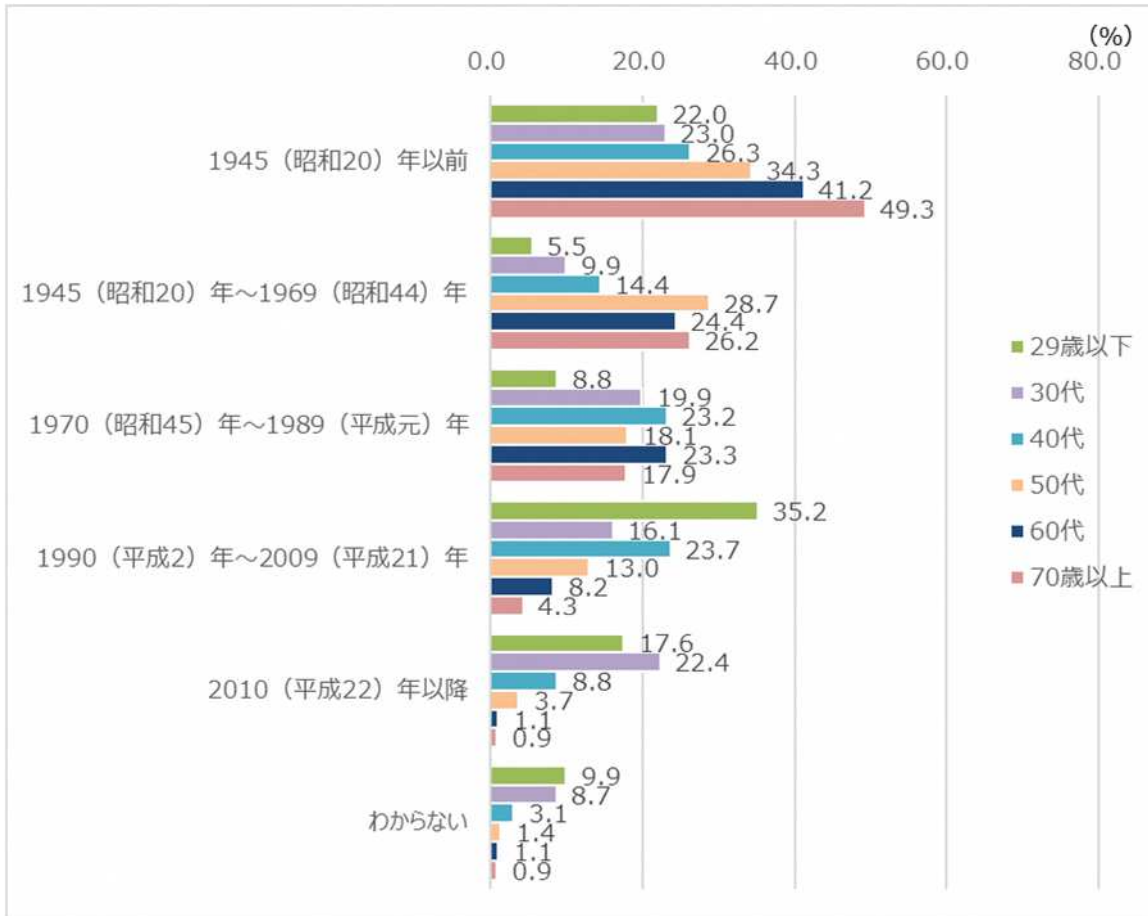
- ・ 豊橋市に居住をはじめた時期について、「1945年以前」が約36%で最も多く、全体の1/3が戦前から住んでいる。
- ・ 「1990年～2009年」と「2010年以降」を合わせると約20%であり、平成以降に居住を始めたのは約2割にとどまる。

問 あなたもしくは、あなたの家族が、はじめて豊橋市に居住した時期



(年代別クロス集計結果)

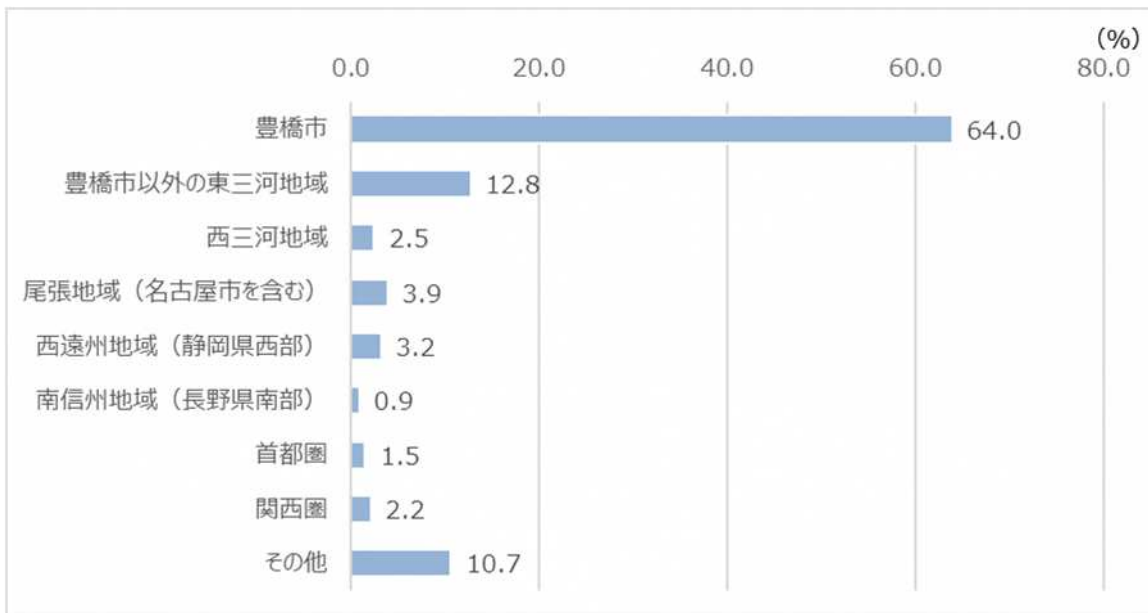
- ・ 「1945年以前」を選択した割合は、年代が高い程、高まる傾向にあり、特に40代よりも上の年代ではすべての選択肢で最も割合が高い。
- ・ 一方、「29歳以下」では「1990年～2009年」が約35%で最も多く、「2010年以降」を合わせると50%を超える。こうした若い年代のうち半数が、平成以降に本人もしくは親などが転入してきた世帯であることがうかがえる。



2) ふるさどと思う場所

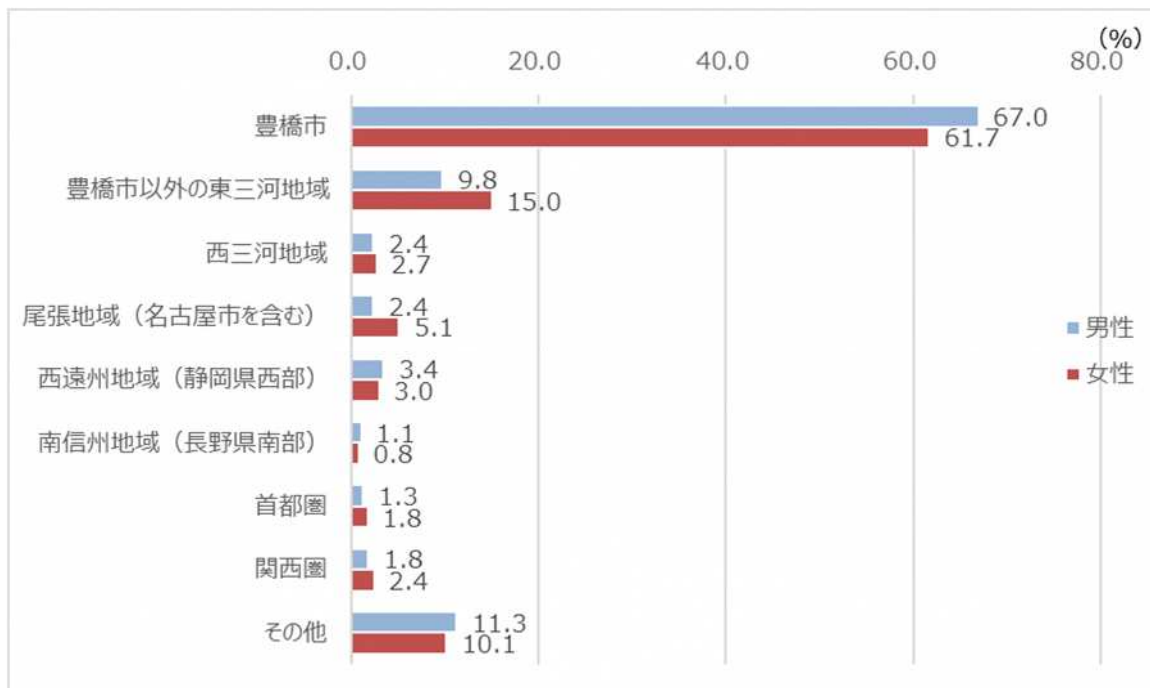
- ・ 「豊橋市」が約64%で圧倒的に多い。次いで、「東三河地域」が約13%となる。

問 あなたがふるさどであると思う場所（生まれ育った場所、思い出のたくさんある場所など）



(男女別クロス集計結果)

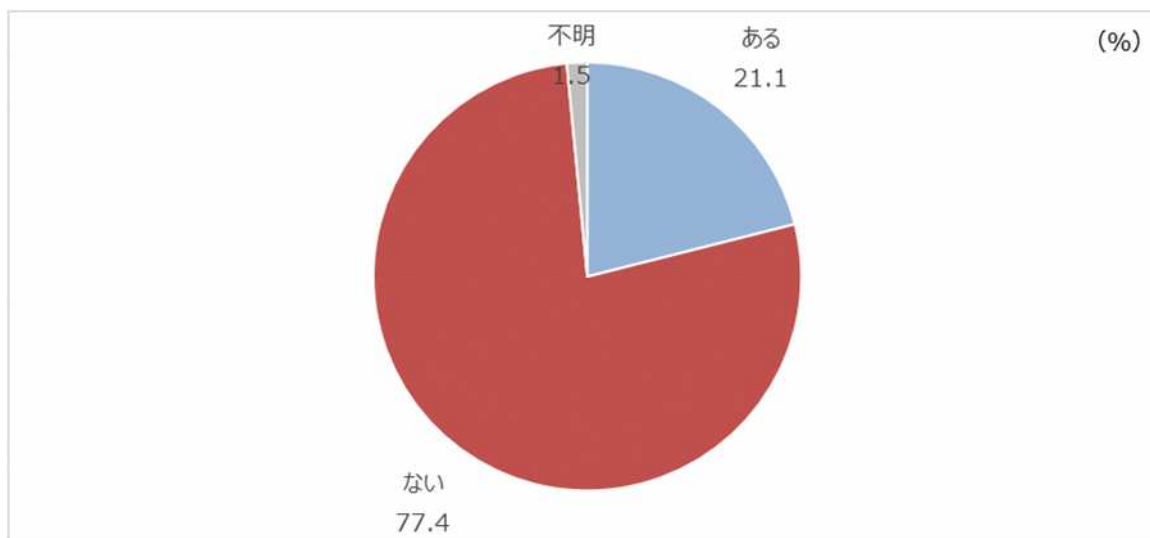
- 男女ともにふるささが「豊橋市」とした人が60%を超えるが、女性の割合が若干低い。故郷が市外となる要因のうち男女固有の要因として、男性は就職、女性は婚姻が考えられるが、今回の調査では女性の要因が強く表れたと考えられる。



3) U ターン居住の経験

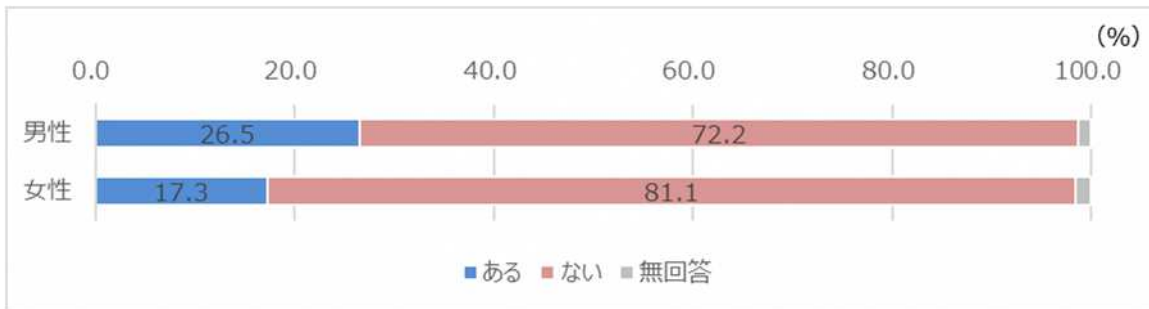
- U ターン居住の経験がある人は約 21%で、全体の 1/5 にとどまる。

問 U ターン居住の経験 (県外に転居し、再び豊橋市に戻ってきたこと)



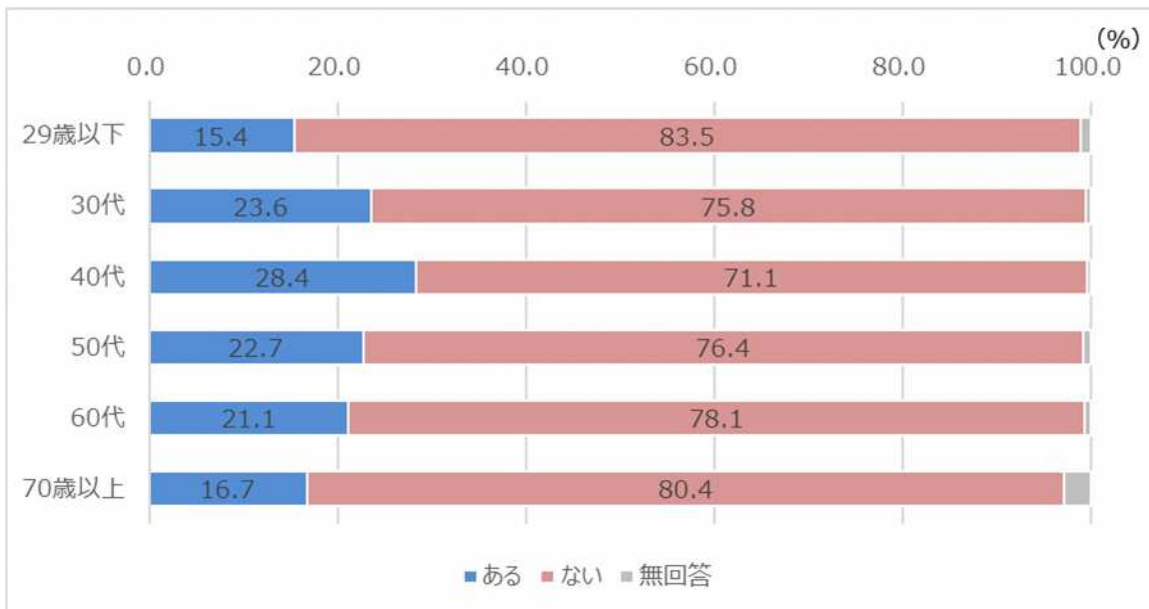
(男女別クロス集計結果)

- ・ Uターン経験は男性が女性を10ポイント近く上回る。



(年代別クロス集計結果)

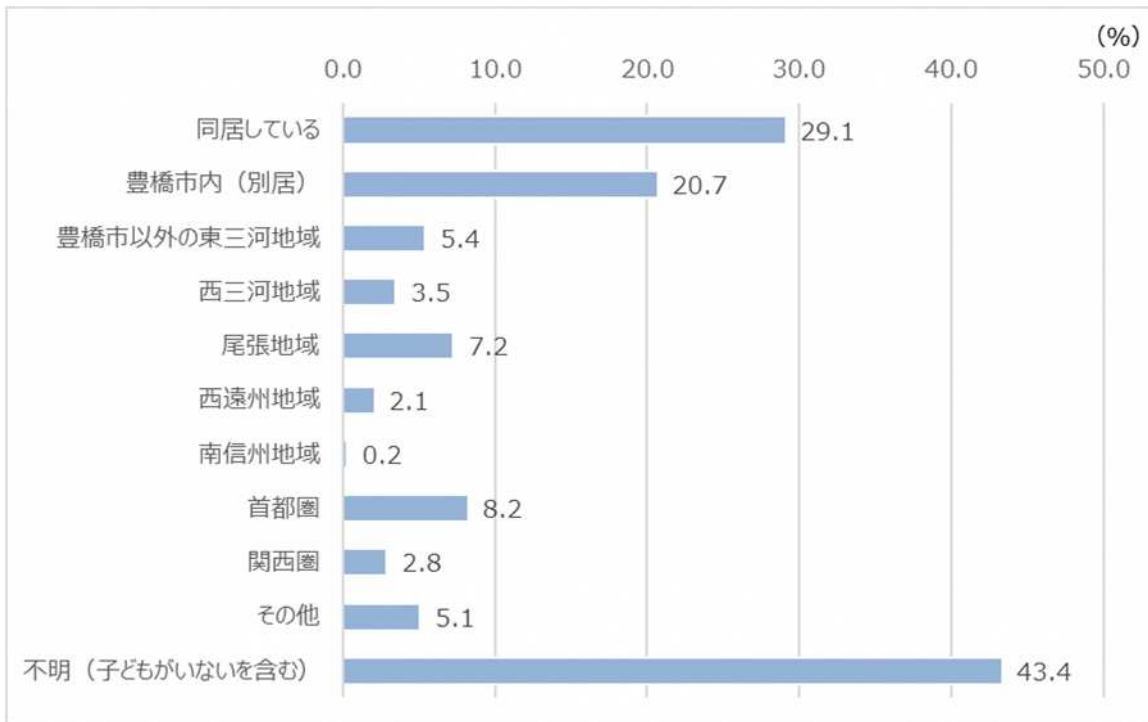
- ・ Uターン経験は40代が最も多く、年代が離れるにつれて、その割合が下がる傾向にある。



4) 18歳以上の子どもの居住地

- ・ 「同居している」が最も多く29.1%、「豊橋市内（別居）」が20.7%となり、2人以上の子どもがいる場合は両項目を選択する可能性があるものの、回答者の多くが同居・近居していることがうかがえる。

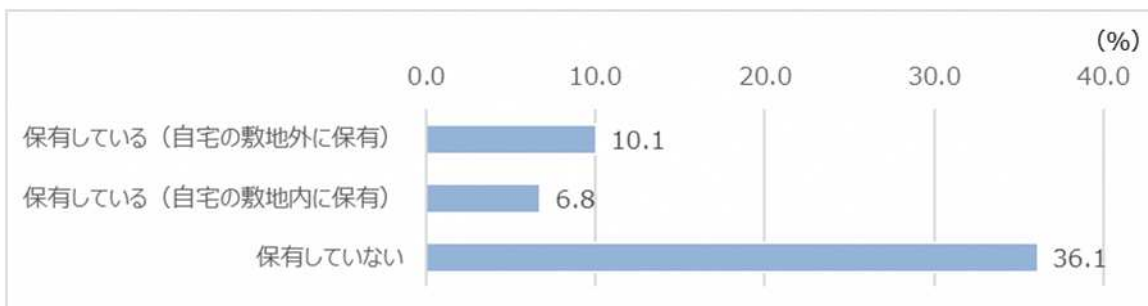
問 18歳以上の子どもがいる方について、子どもの現在の居住地（当てはまるものすべて）（N=1,097）



5) 子どもが将来家を建てるための土地の保有

- ・ 「保有している」人は全体の1割を超えている。

問 子どもが将来家を建てるための土地の保有



6) 施設等の利用状況（「よく利用する」と「たまに利用する」の合計）

①図書館

- ・ 市内が約 38%であり、1/3 を超える市民が利用している。市外は約 9%であり、市内の施設を使う割合が圧倒的に高い。

②公園・緑地

- ・ 市内が約 64%で、公共施設の中では最も多い 2/3 近い市民が利用している。市外も 32%で、1/3 近くが利用している。

③体育館

- ・ 市内が約 17%で、市外の約 5%を大きく上回る。

④プール

- ・ 市内が約 15%、市外が約 11%で、利用する割合が拮抗している。

⑤運動場

- ・ 市内が約 13%、市外が約 4%であり、限られた人が利用する施設になっている。

⑥市民館

- ・ 市内が約 40%であり、公園・緑地に次いで利用されている施設である。市外は約 4%にとどまり、非常に少ない。

⑦舞台・ホール

- ・ 市内が約 21%、市外が 15%で、利用する割合が拮抗している。

⑧博物館・ギャラリー

- ・ 市内が 32%、市外が 25%で、利用する割合が拮抗している。

⑨病院・診療所

- ・ 市内が約 93%であり、「よく利用する」が半数を超えている。市外が約 19%あるが、診療内容によって使い分けしていることが予想される。

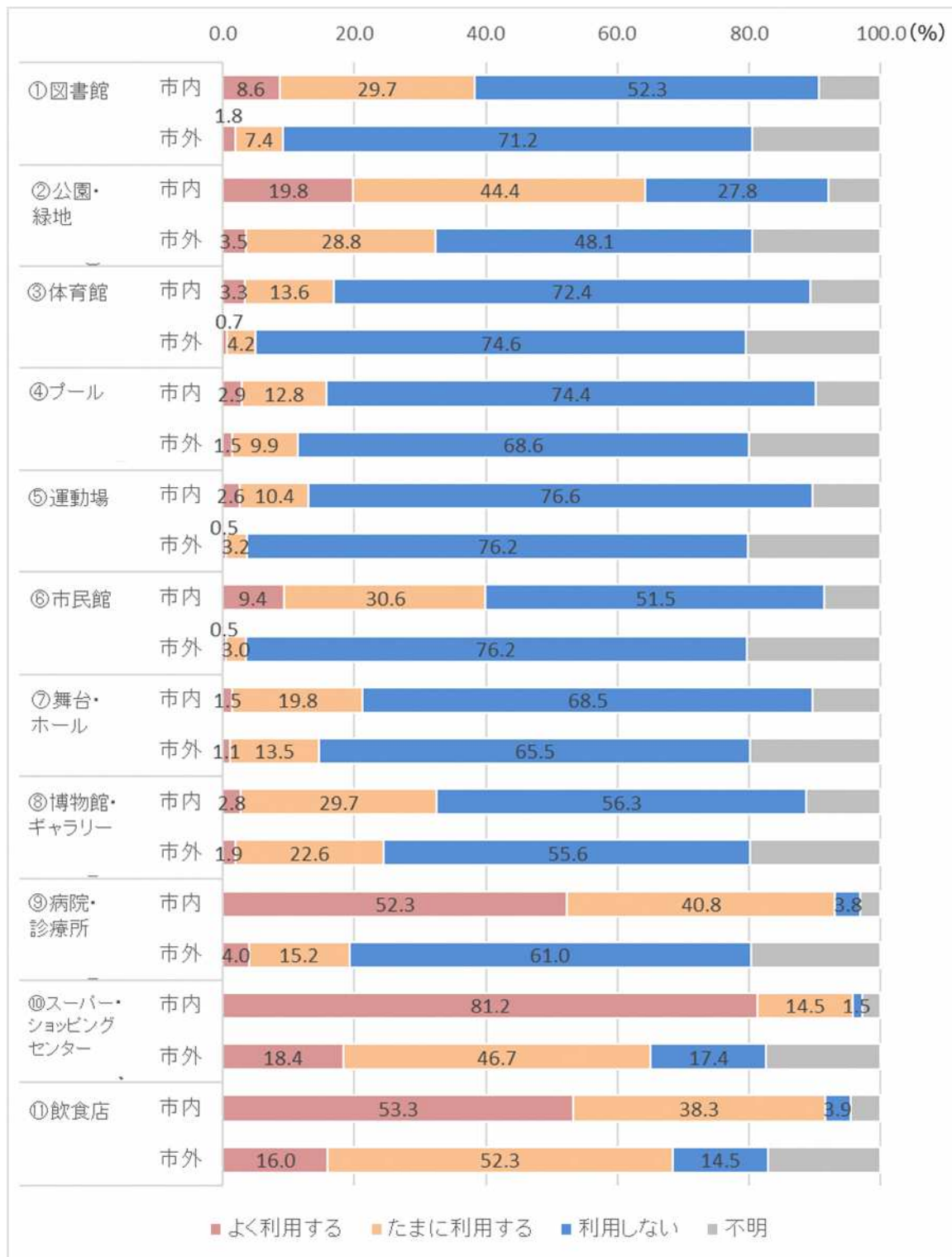
⑩スーパー・ショッピングセンター

- ・ 市内が約 96%であり、「よく利用する」が 8 割を超えている。市外も約 65%が利用しているが、「よく利用する」が 18%となっていることから、日常的に市外の施設も利用する市民が多い。

⑪飲食店

- ・ 市内が約 92%であり、「よく利用する」が半数を超えている。市外も約 68%あり、最も市外利用の多い施設となっている。

問 豊橋市内と豊橋市以外における施設等の利用状況について

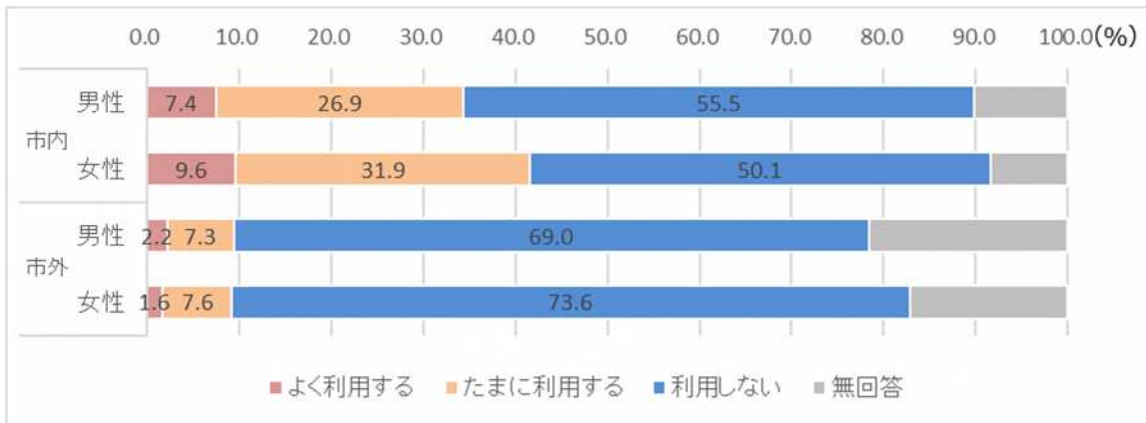


◆項目別クロス集計

①図書館

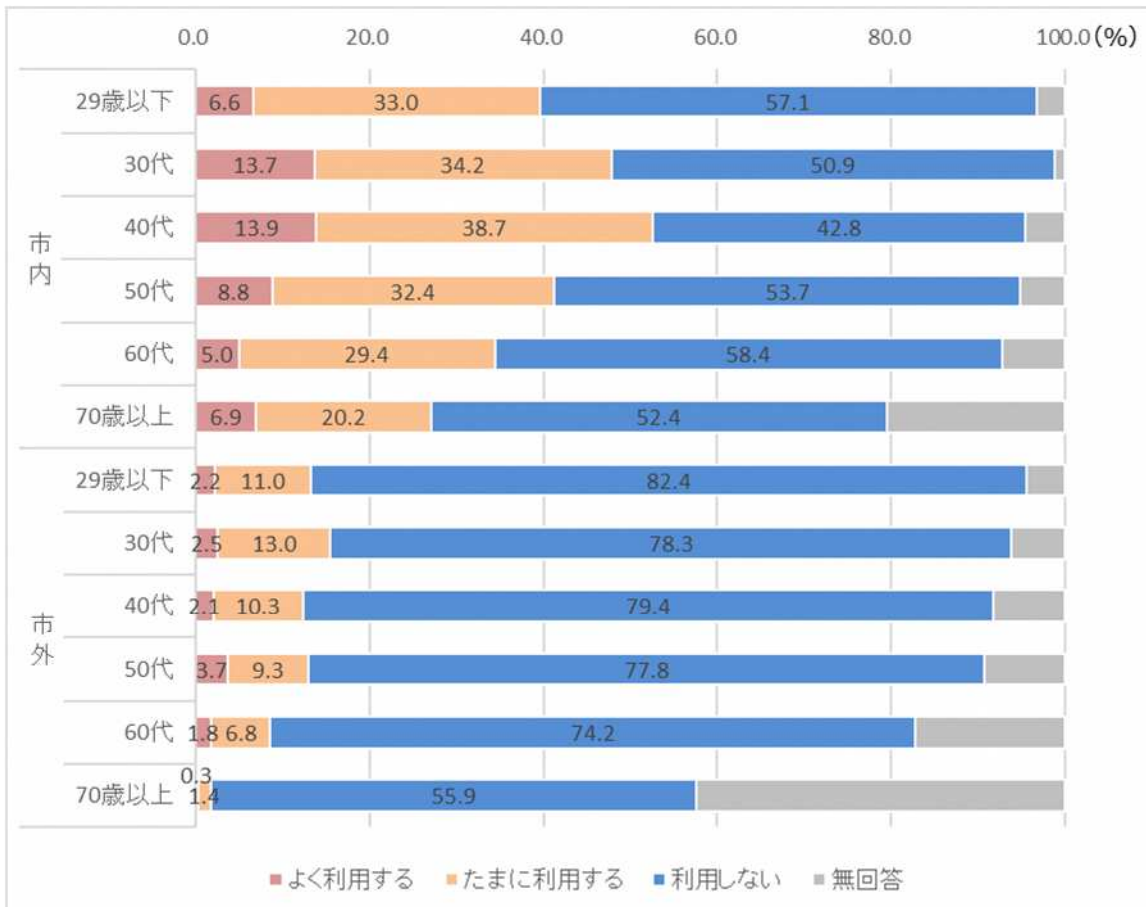
(男女別クロス集計結果)

- ・ 男女により利用状況に大きな違いは見られない。



(年代別クロス集計結果)

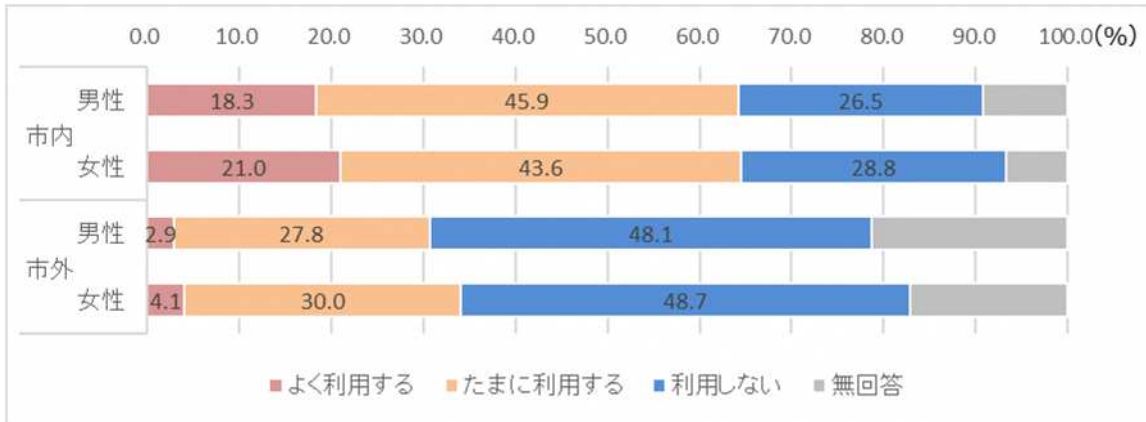
- ・ 市内利用は「40代」を中心とした年代で高くなっている。
- ・ 市外利用は「70代以上」がほとんどないものの、それ以外の年代では大きな違いは見られない。



②公園・緑地

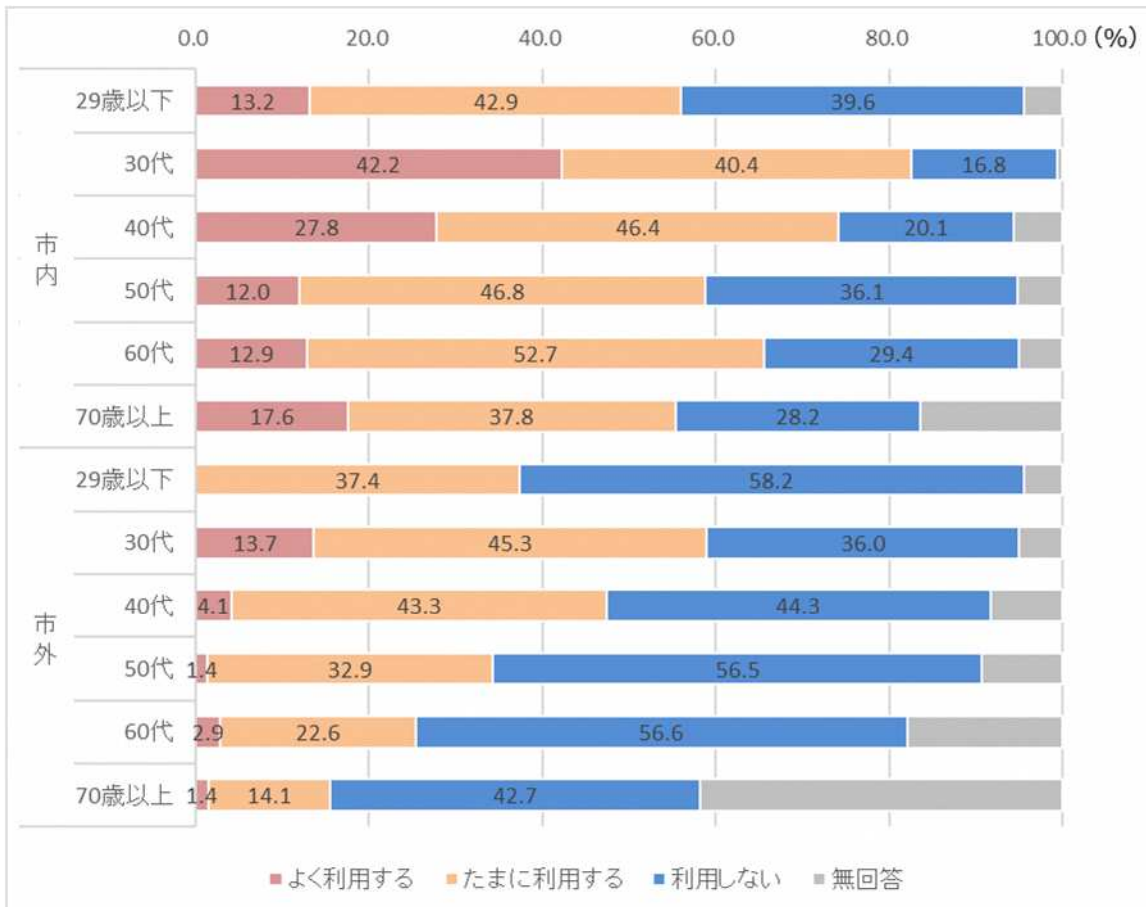
(男女別クロス集計結果)

- 男女により利用状況に大きな違いは見られない。



(年代別クロス集計結果)

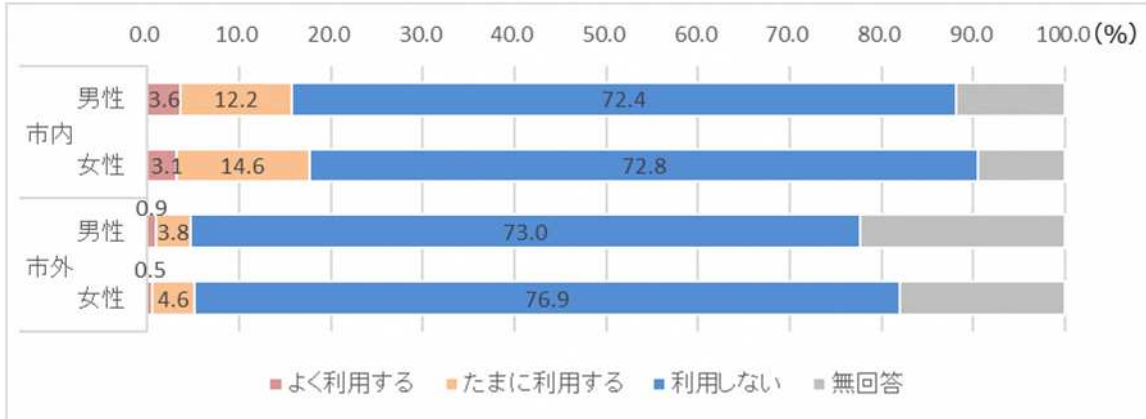
- 市内利用は、「30代」で「よく利用する」が40%を超えて突出して高く、「40代」も30%近い。それ以外の年代は10%代前半にとどまり、頻繁な利用は子育て世代といわれる年代が突出している。
- 市外利用は市内に比べて低いものの、同様な傾向がみられ、30代では「よく利用する」が10%を超える。



③体育館

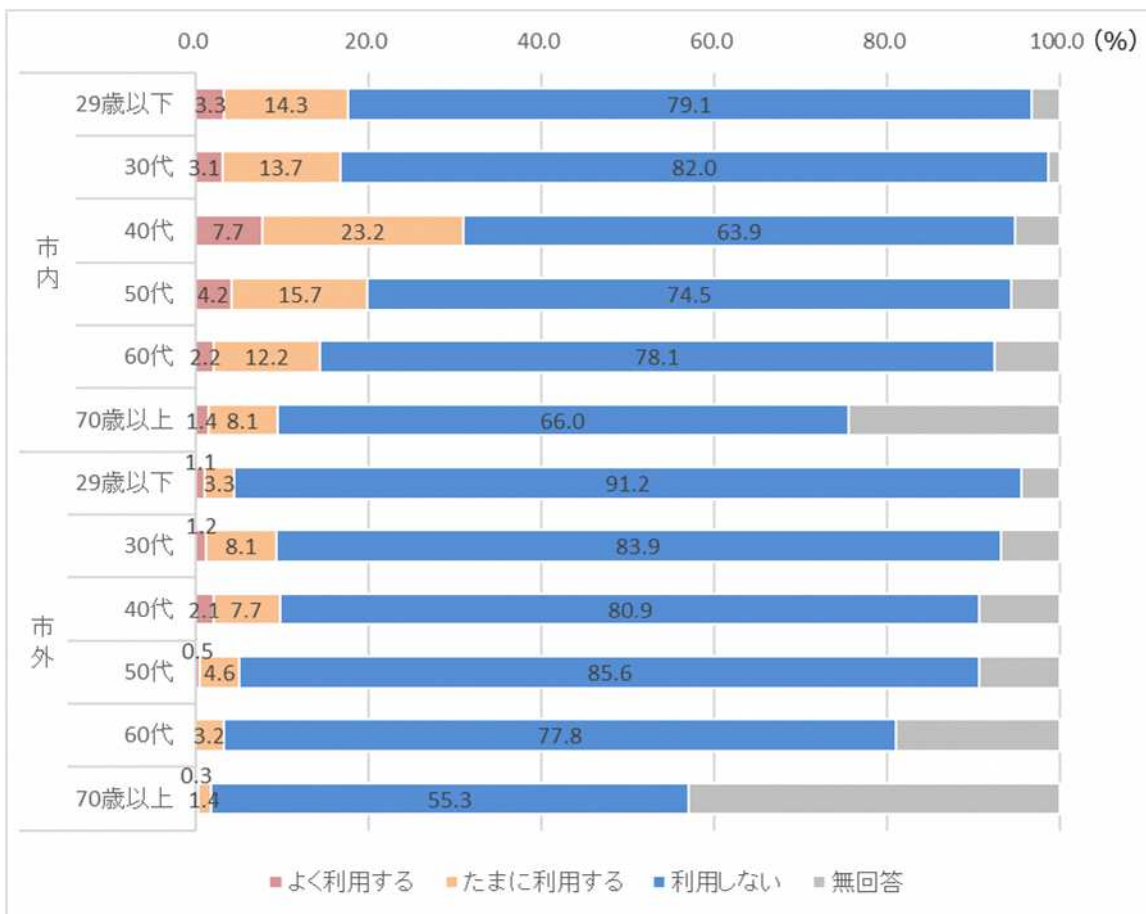
(男女別クロス集計結果)

- ・ 男女により利用状況に大きな違いは見られない。



(年代別クロス集計結果)

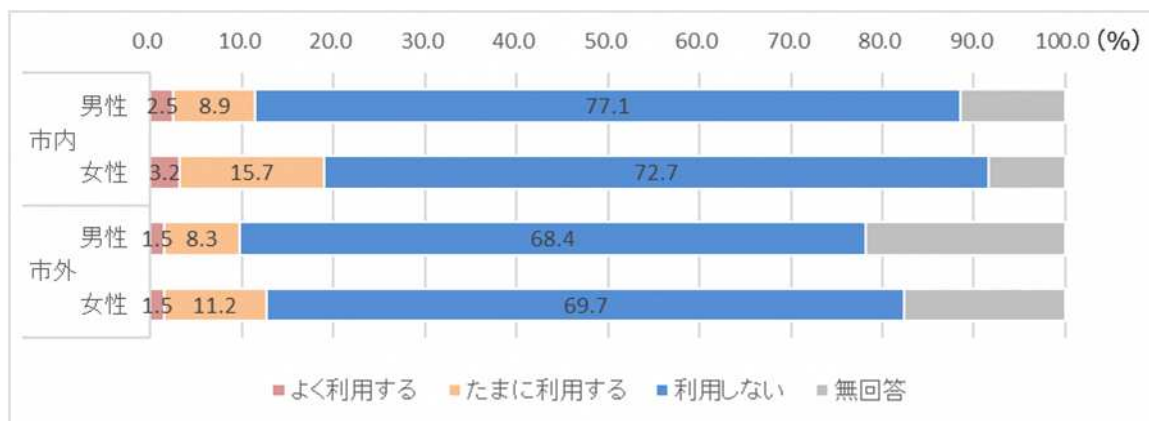
- ・ 市内利用は「40代」が高くなっている。
- ・ 市外利用は「60代」や「70代以上」がほとんどないものの、年代による違いは見られない。



④プール

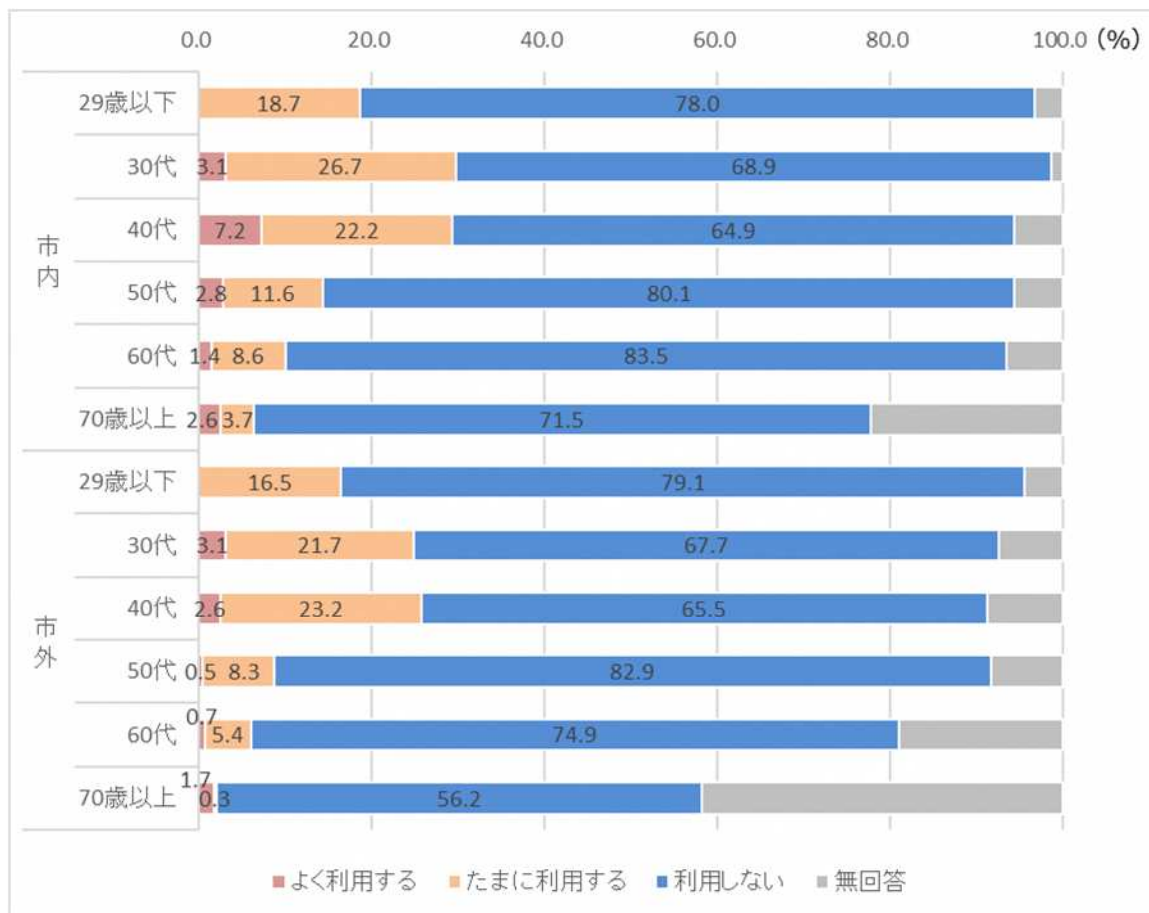
(男女別クロス集計結果)

- ・ 市内利用は「女性」がやや多いものの、市外利用に男女による大きな違いは見られない。



(年代別クロス集計結果)

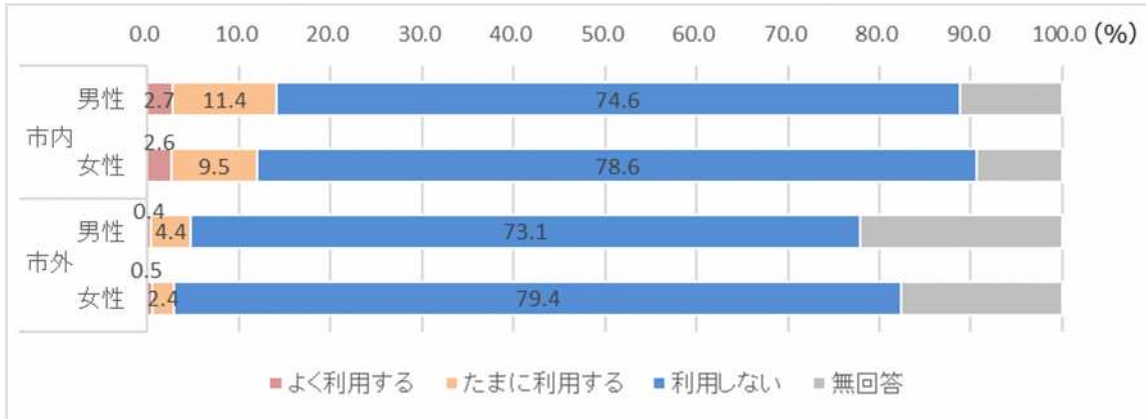
- ・ 「30代」及び「40代」では市内、市外を問わず他の年代と比べて高くなっており、利用する年代に偏りのあることがわかる。



⑤運動場

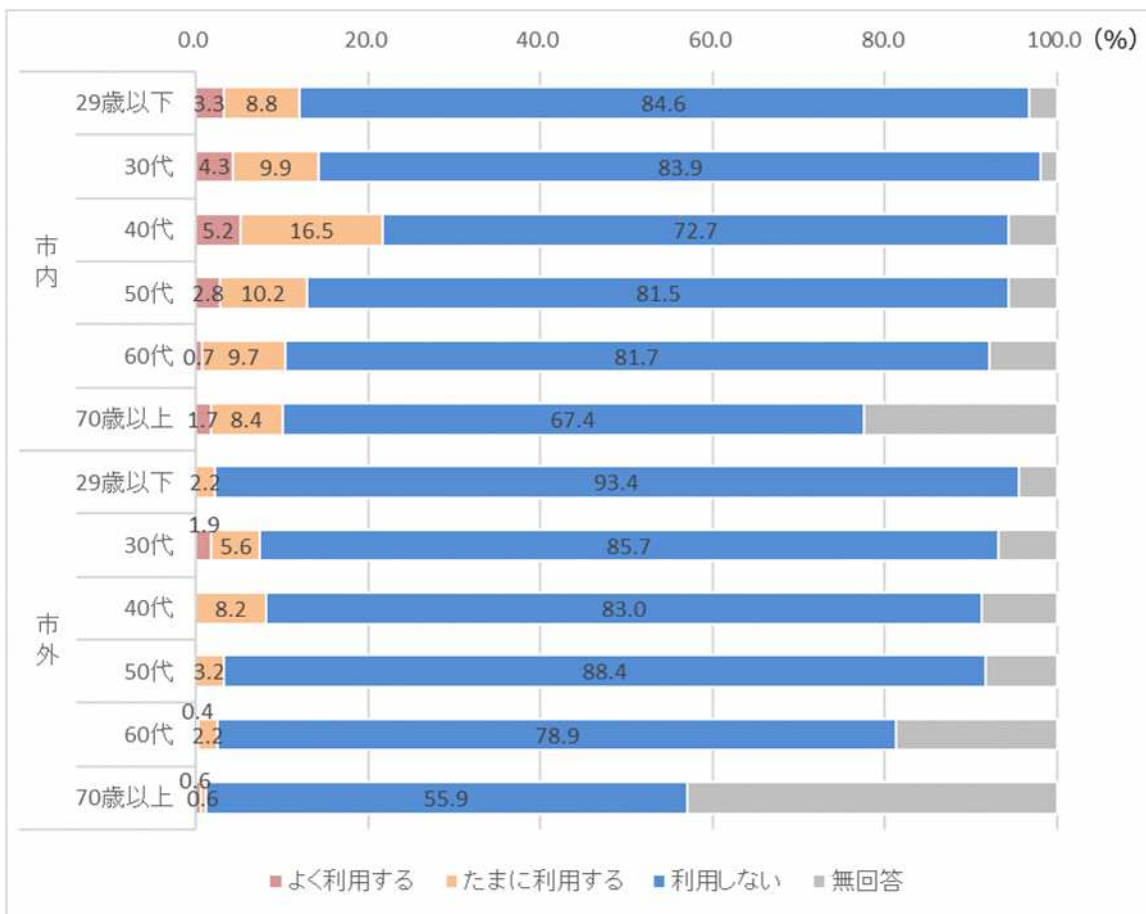
(男女別クロス集計結果)

- ・ 男女により利用状況に大きな違いは見られない。



(年代別クロス集計結果)

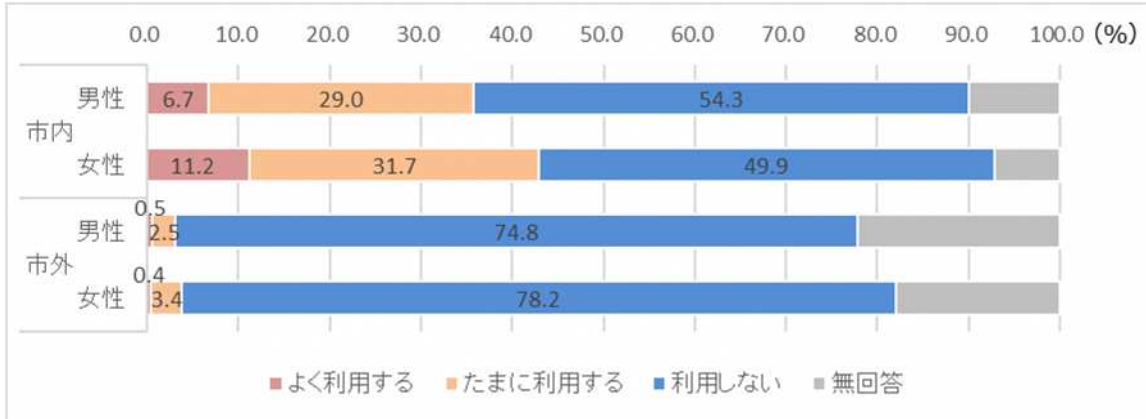
- ・ 市内利用について「40代」が他の年代と比べてやや高くなっているものの、プールのように市外利用はされておらず、基本的には市内利用の施設である。



⑥市民館

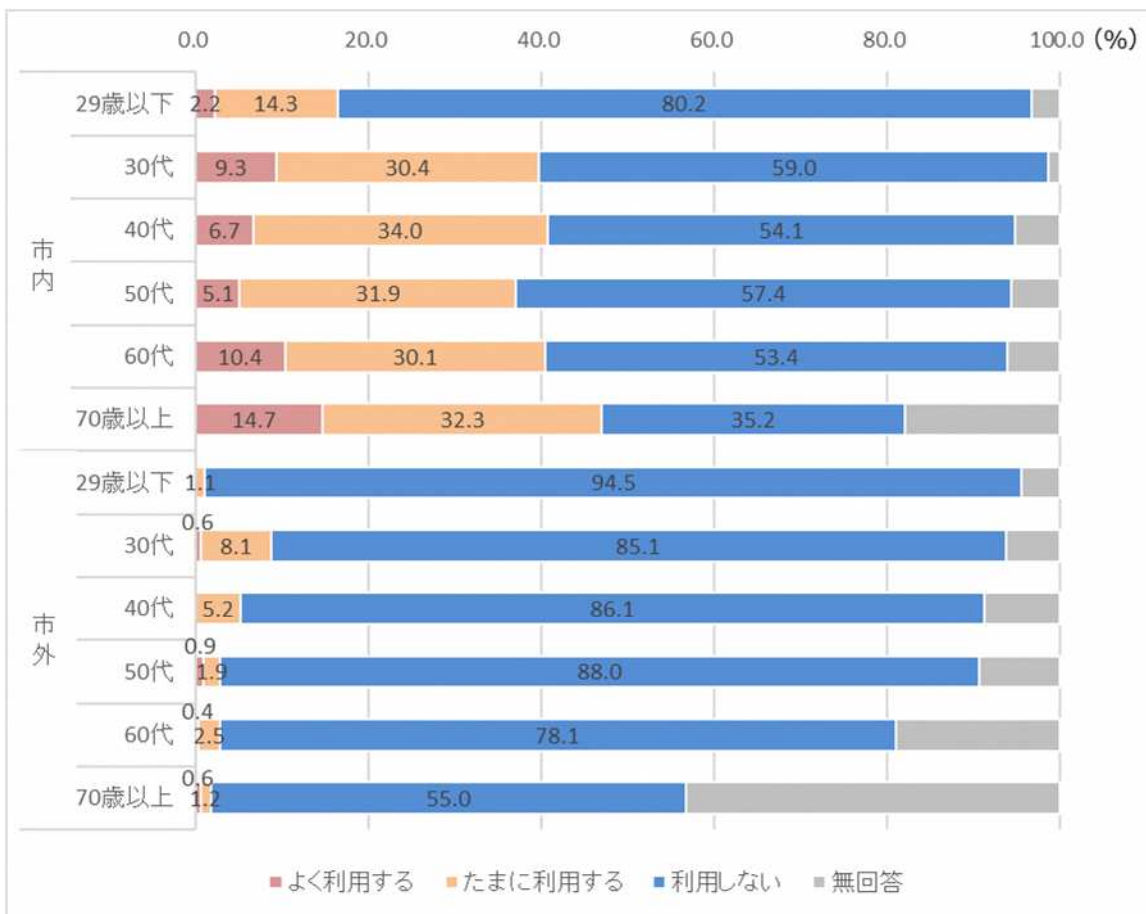
(男女別クロス集計結果)

- 男女により利用状況に大きな違いは見られない。



(年代別クロス集計結果)

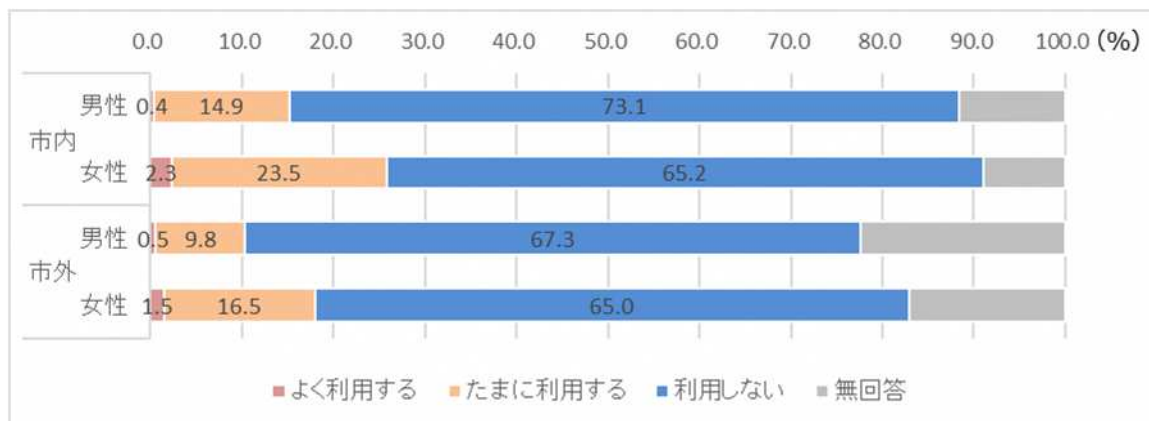
- いずれの年代も市外利用はほとんどなく、市内利用の性格の強い施設である。
- 市内利用は「29歳以下」で利用が大幅に少ない。他の年代では4割程度が利用している。



⑦舞台・ホール

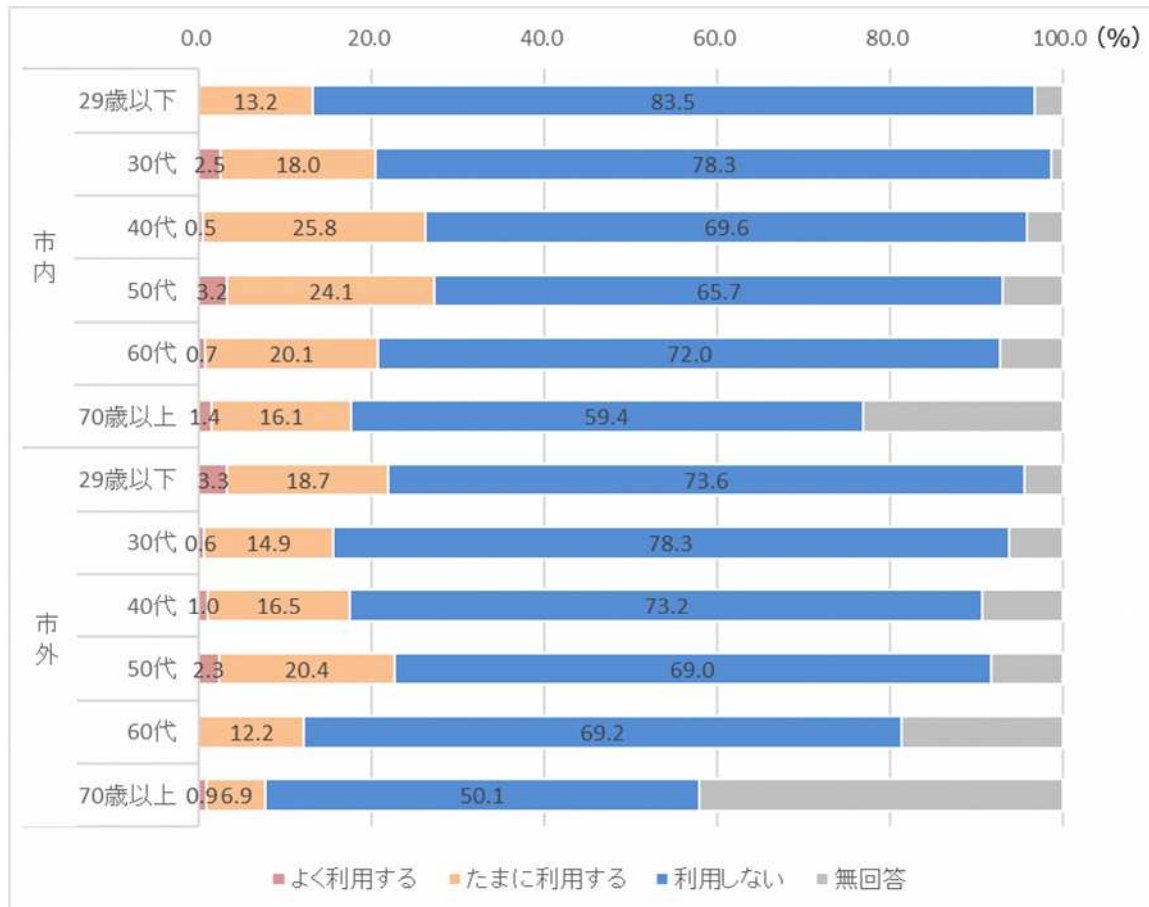
(男女別クロス集計結果)

- ・ 女性の利用が高く、市内、市外を問わず利用している傾向がうかがえる。



(年代別クロス集計結果)

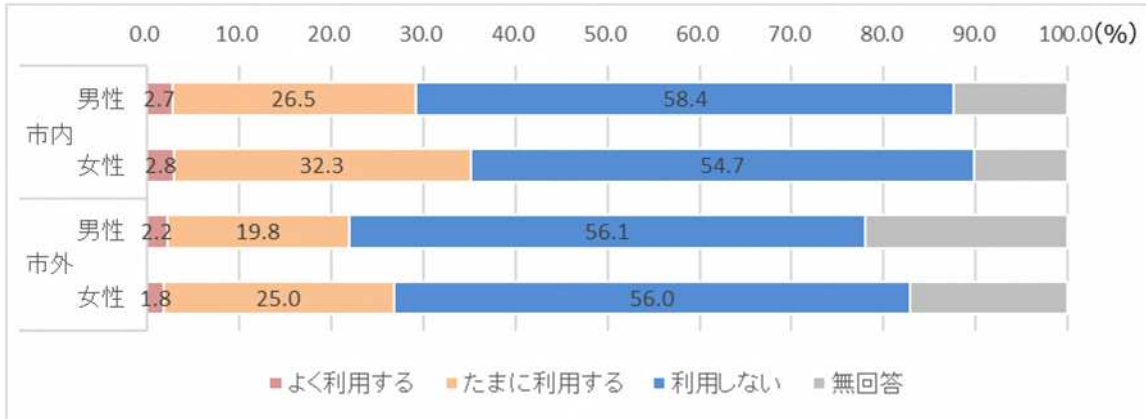
- ・ 市内利用は「40代」及び「50代」でやや高いものの、年代による大きな違いは見られない。
- ・ ただし、「29歳以下」は市内利用が他の年代と比較して低く、一方、市外利用が市内を上回っている。若い年代の利用が市外に流出しており、公演内容によって市外の施設を利用していると思われる。



⑧博物館・ギャラリー

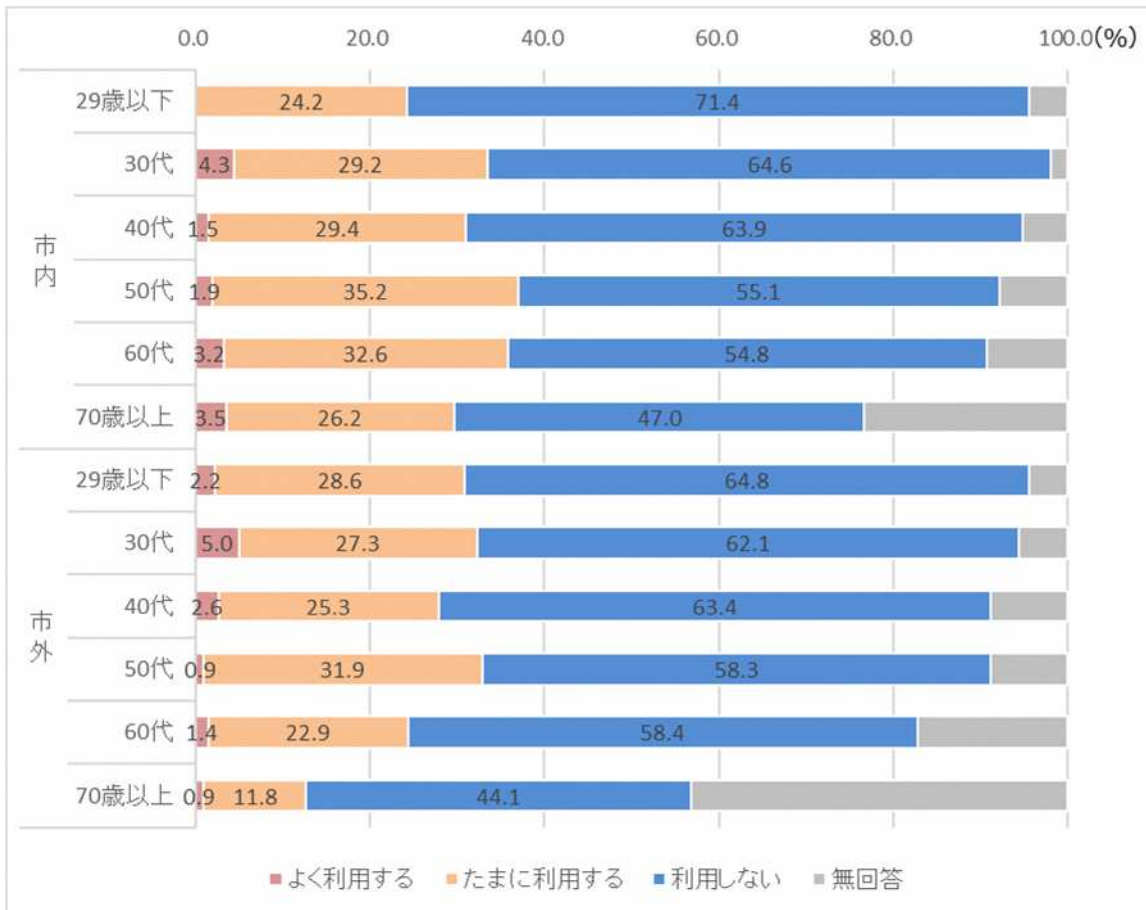
(男女別クロス集計結果)

- ・ 男女により利用状況に大きな違いは見られない。



(年代別クロス集計結果)

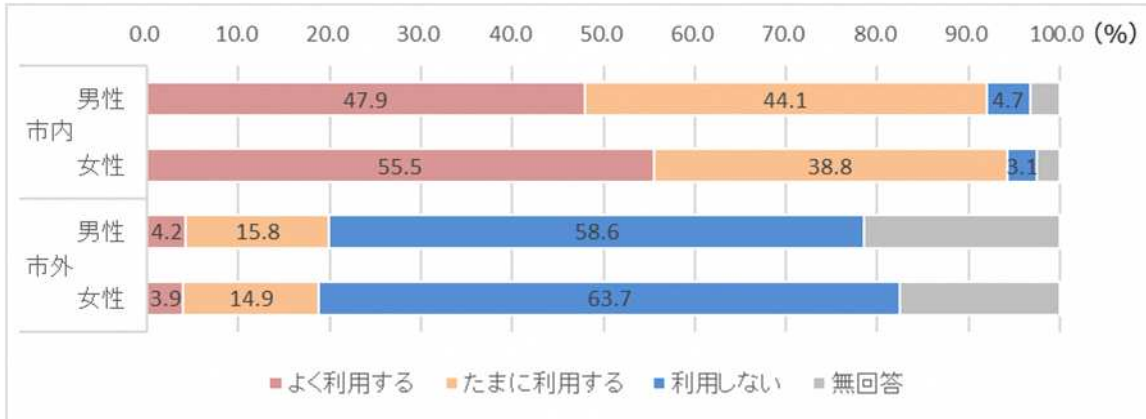
- ・ 「29歳以下」から「60代」まで市内、市外を問わず利用されており、年代による大きな違いは見られない。
- ・ 「29歳以下」では舞台・ホールと同様に市外利用が市内を上回る。



⑨病院・診療所

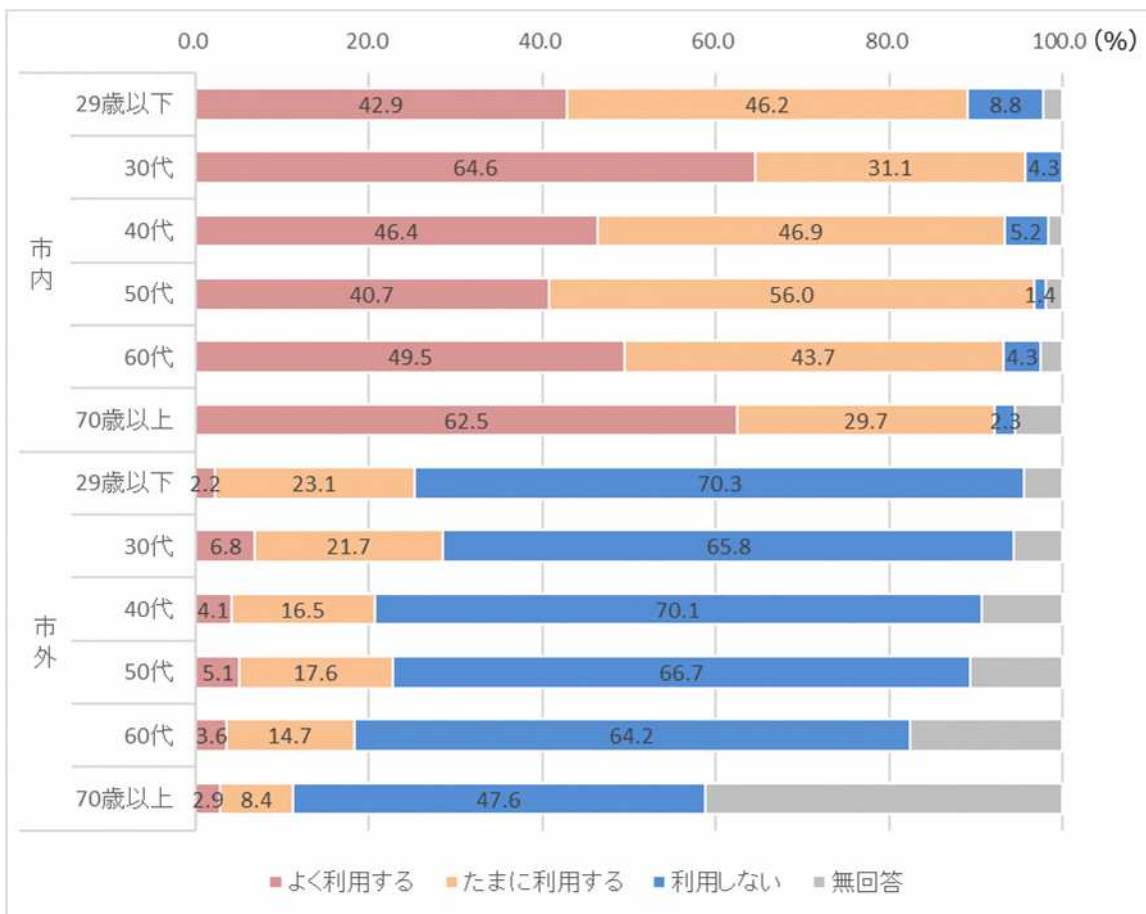
(男女別クロス集計結果)

- ・ 男女により利用状況に大きな違いは見られない。



(年代別クロス集計結果)

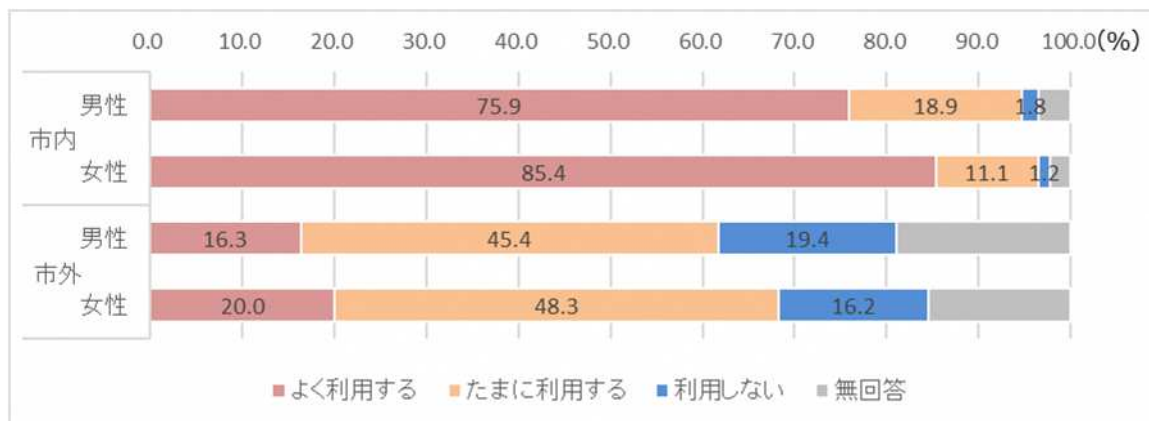
- ・ 市内利用は「70代以上」と「30代」で「よく利用する」割合が高く、60%を超えた。
- ・ 市外利用は「30代」を中心に、若い世代がやや高くなる傾向がうかがえる。



⑩スーパー・ショッピングセンター

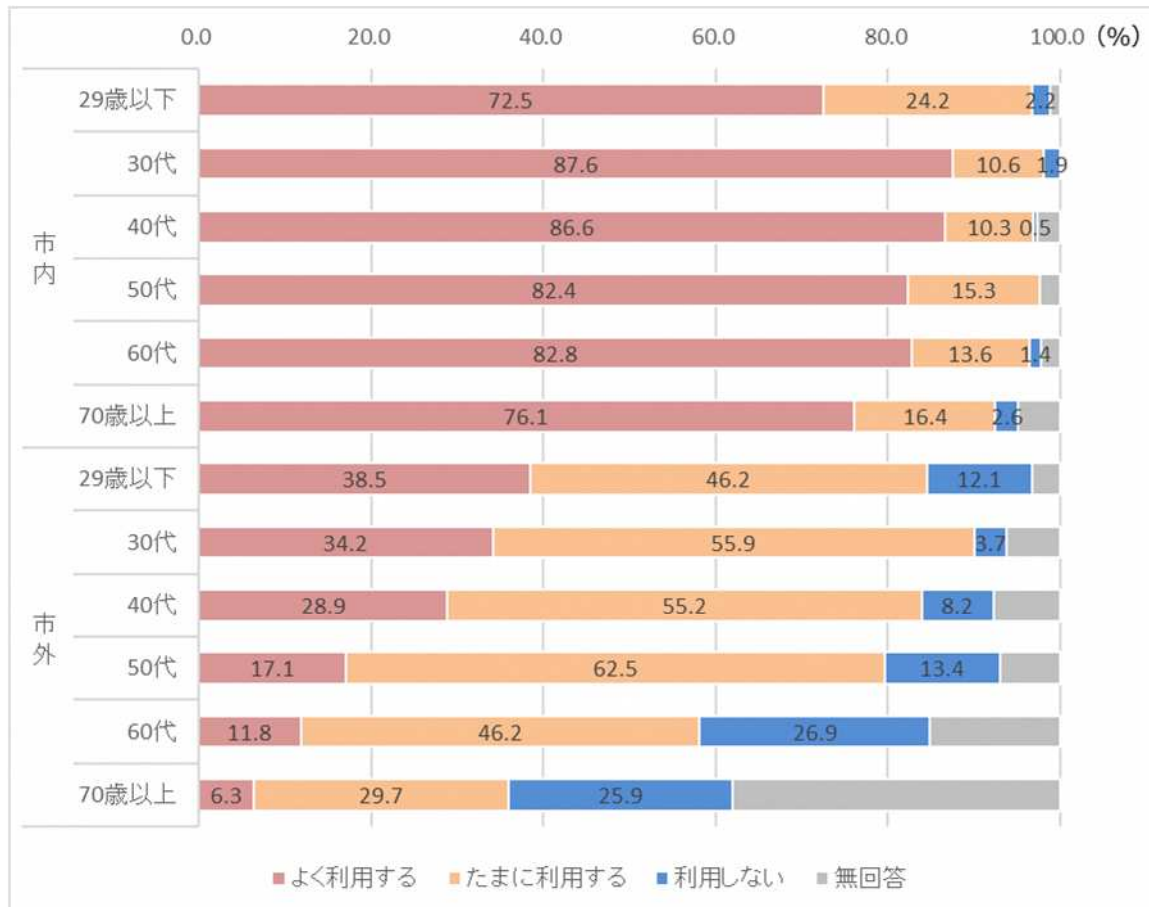
(男女別クロス集計結果)

- ・ 市内、市外を問わず女性が男性をやや上回っており、利用している傾向がうかがえる。



(年代別クロス集計結果)

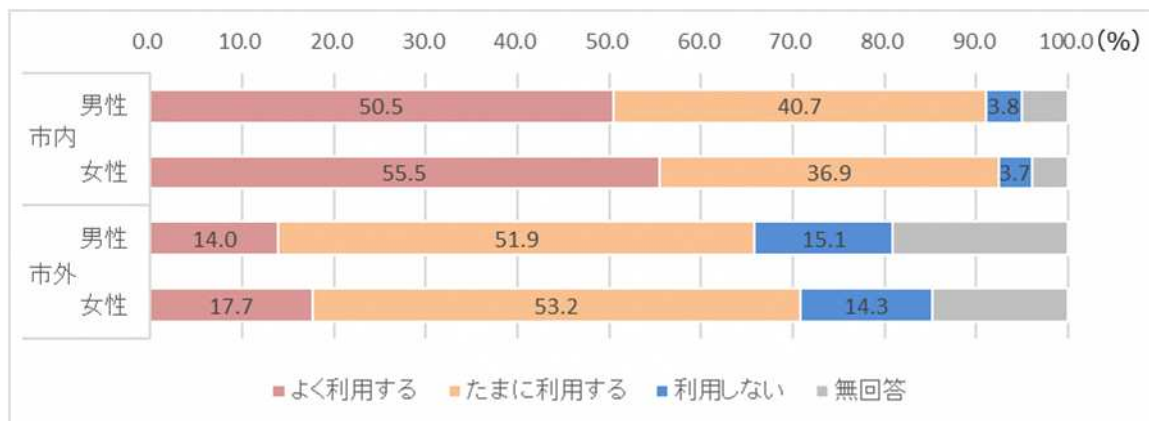
- ・ 市内利用は「30代」から「60代」にかけて「よく利用する」割合が高く、80%を超えた。
- ・ 市外利用は「よく利用する」が「29歳以下」で40%近くなり、年代が若いほど高くなる傾向が見られた。



⑪飲食店

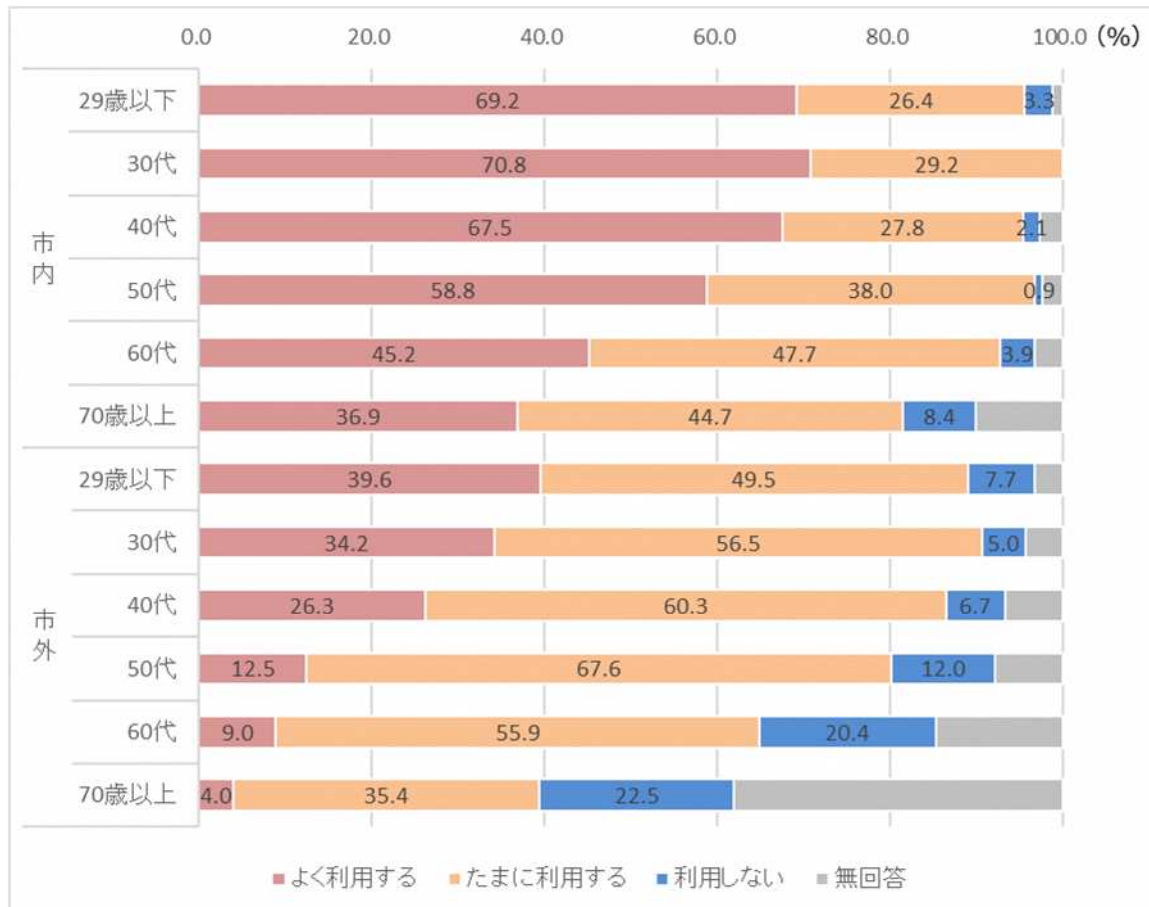
(男女別クロス集計結果)

- ・ 市内、市外を問わず女性がやや高くなった。



(年代別クロス集計結果)

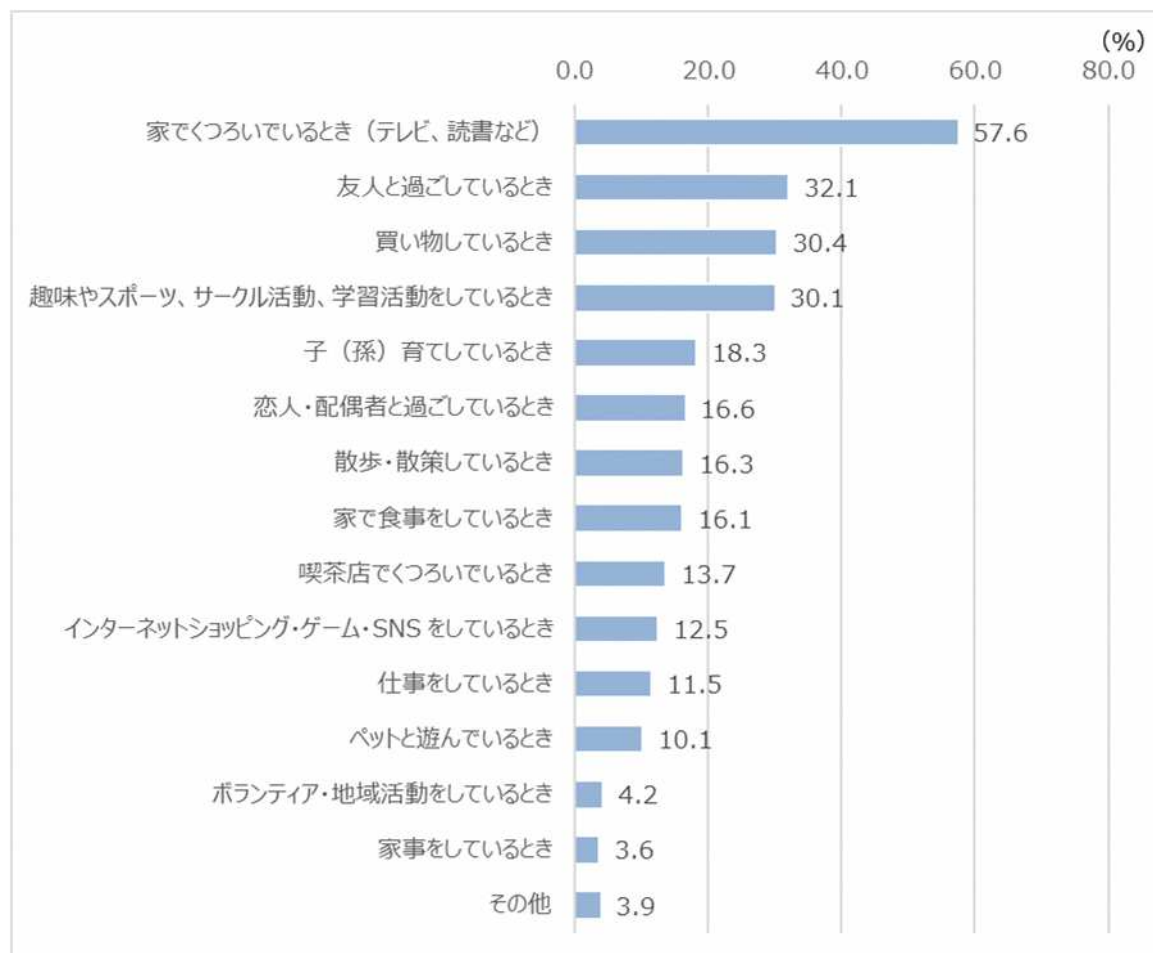
- ・ 市内、市外ともにすべての年代で「よく利用する」割合は高いものの、「スーパー・ショッピングセンター」と比較して、年配者の利用は低くなる。
- ・ 市内利用は「よく利用する」が「29歳以下」から「40代」にかけて約70%と高く、また、市外は「29歳以下」が約40%で年代が若いほど高くなる傾向がある。



7) 日頃楽しいと感じること

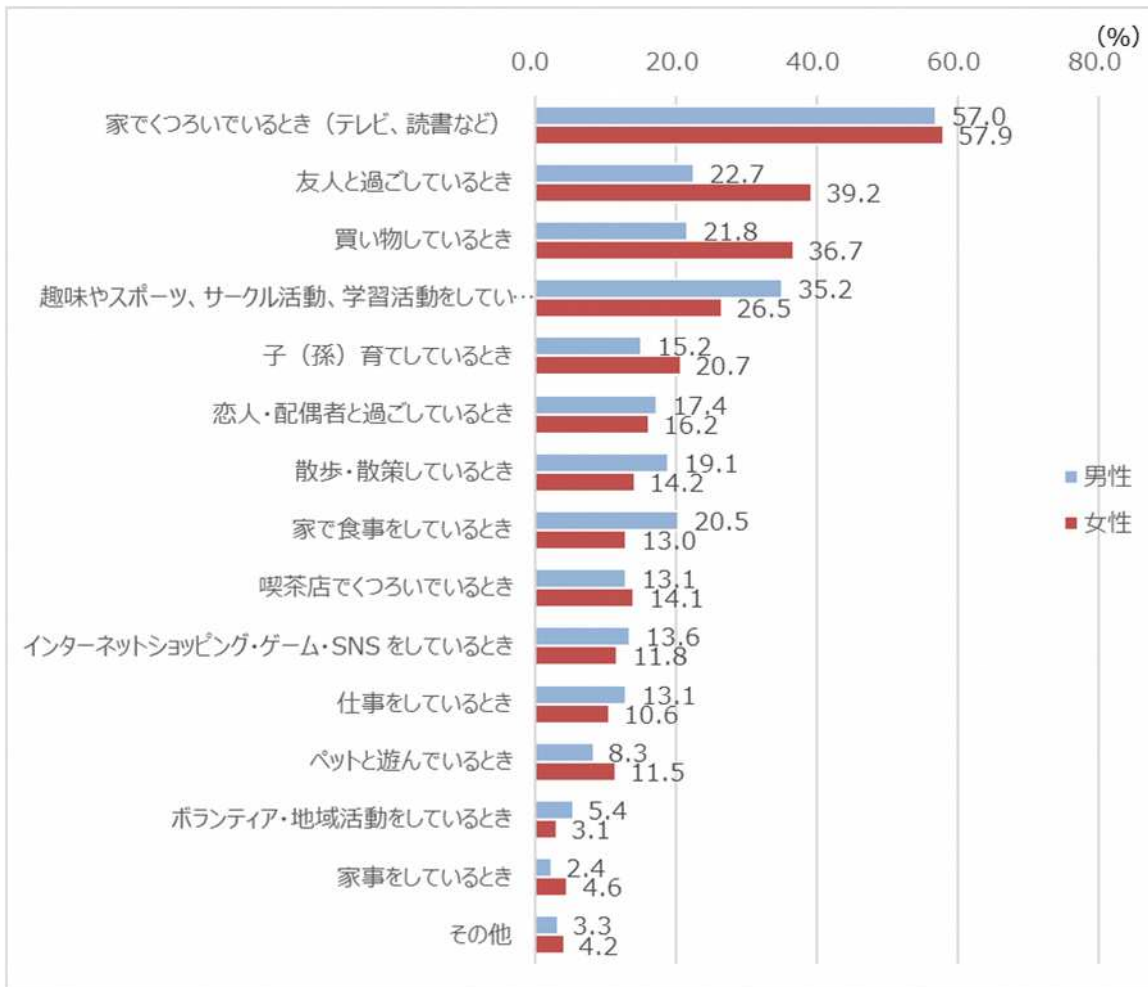
- ・ 「家でくつろいでいるとき」が約58%で最も高く、他と比較して突出している。
- ・ 「友人と過ごしているとき」や「買い物しているとき」、「趣味やスポーツ、サークル活動、学習活動をしているとき」が約3割となり高い。

問 日頃楽しいと感じること（3つまで選択）



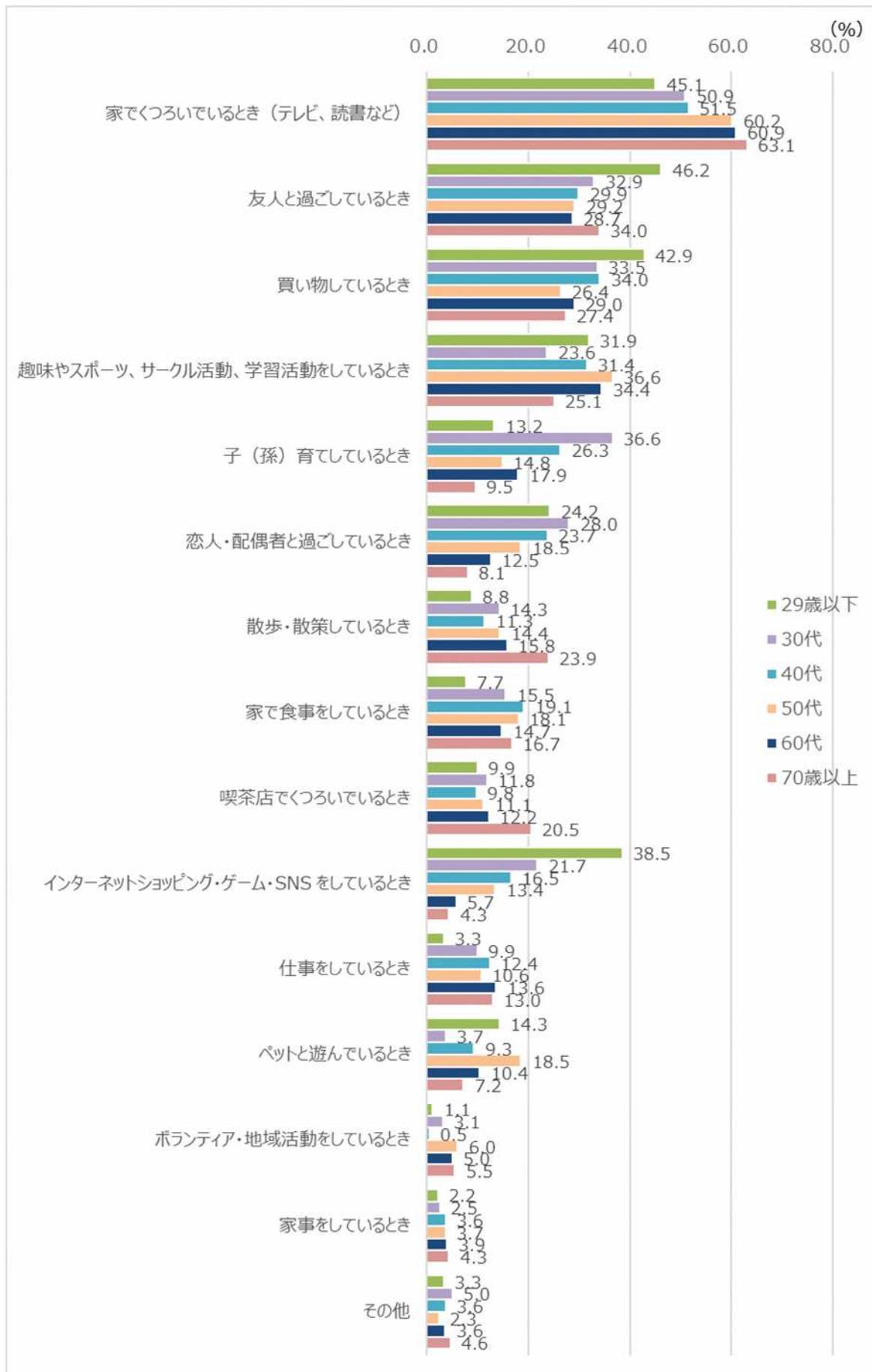
(男女別クロス集計結果)

- ・ 「家でくつろいでいるとき」は男女を問わず最も高く、他と比較して突出している。
- ・ 2 番目以降で男女に大きな違いが見られ、男性は「趣味やスポーツ、サークル活動、学習活動をしているとき」、女性は「友人と過ごしているとき」や「買い物しているとき」であり、それぞれ女性、男性を 10 ポイントあまり上回っている。



(年代別クロス集計結果)

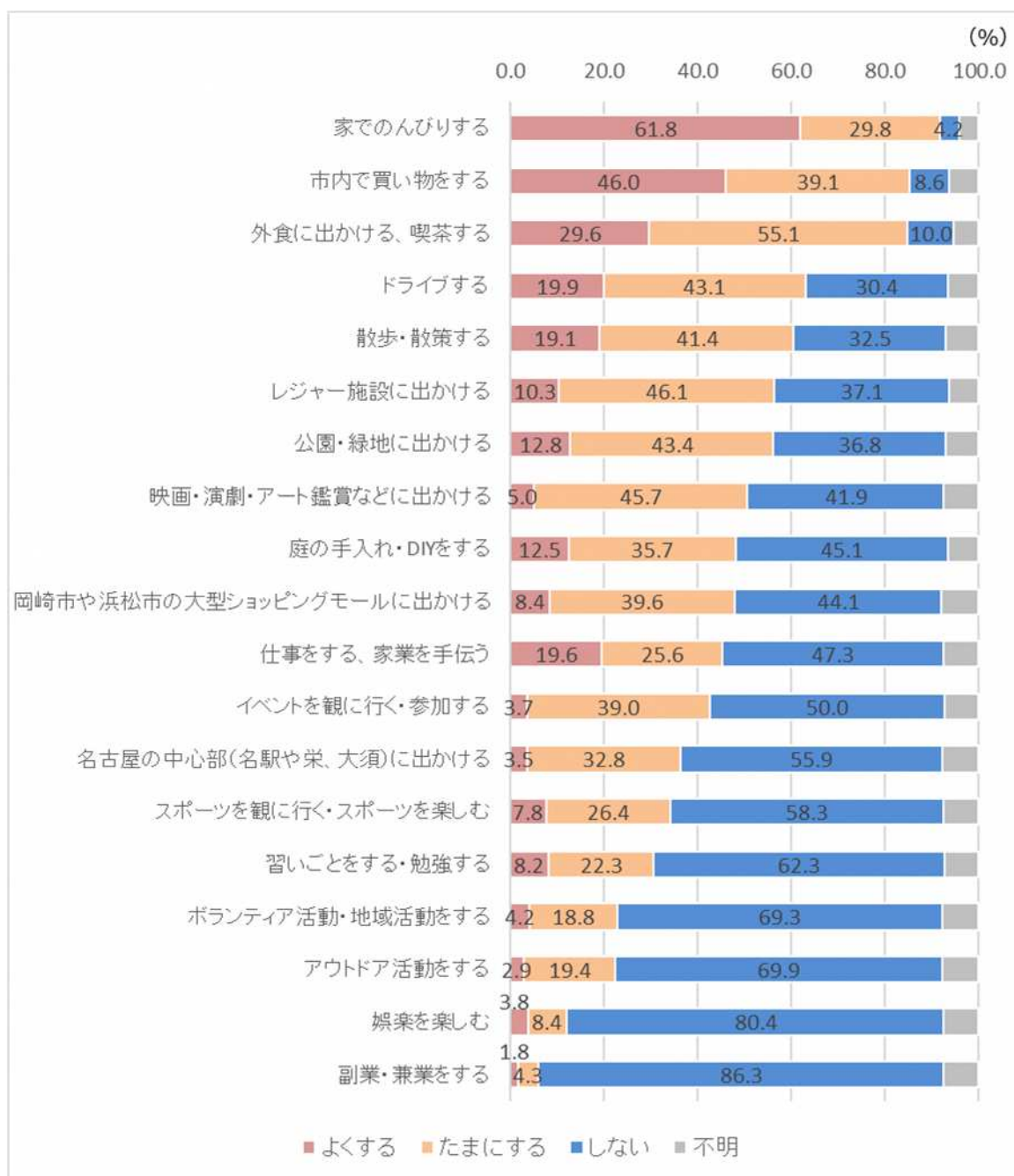
- ・ 「家でくつろいでいるとき」は年代を問わず最も高い項目のひとつであるが、特に「50代」よりも上の年代で高い。
- ・ 「29歳以下」は傾向が異なり、「友人と過ごしているとき」や「買い物しているとき」に加えて、「インターネットショッピング・ゲーム・SNS をしているとき」が他の年代と比較して突出して高い。
- ・ 「30代」では「子 (孫) 育てしているとき」が他の年代と比較して高くなった。また、「恋人・配偶者と過ごしているとき」も高い。



8) 休日の過ごし方（「よくする」と「たまにする」の合計）

- ・ 「家でのんびりする」、「市内で買い物をする」、「外食に出かける、喫茶する」の3項目の割合が突出して高く、8割を超えている。特に、「家でのんびりする」を「よくする」人は約62%、「市内で買い物をする」は約46%であり、多くの市民が日常的にする行動となっている。
- ・ この他に5割を超えたものは、「ドライブする」、「散歩・散策する」、「レジャー施設に出かける」、「公園・緑地に出かける」、「映画・演劇・アート鑑賞などに出かける」である。
- ・ 活動状況を見ると、多くの市民がゆったり、のんびりと過ごしていることがうかがえる。

問 休日の過ごし方（長期休暇を除く）



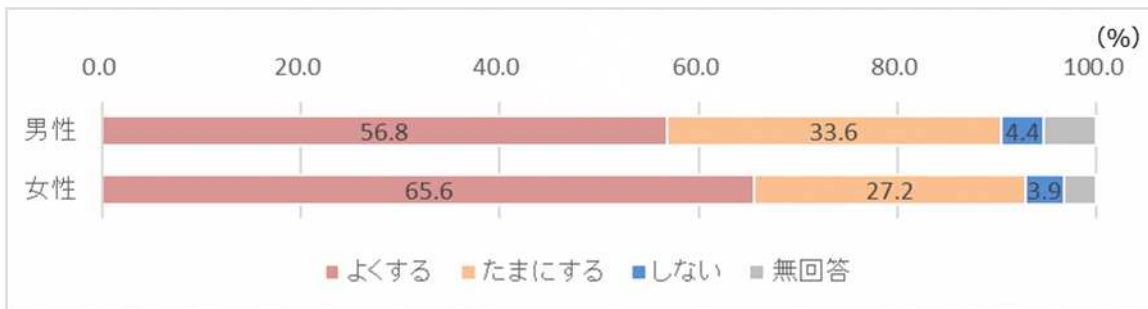
◆項目別クロス集計

「よくする」及び「たまにする」を合わせた割合の上位 10 項目と属性による傾向が見られた項目について整理した。

家でのんびりする

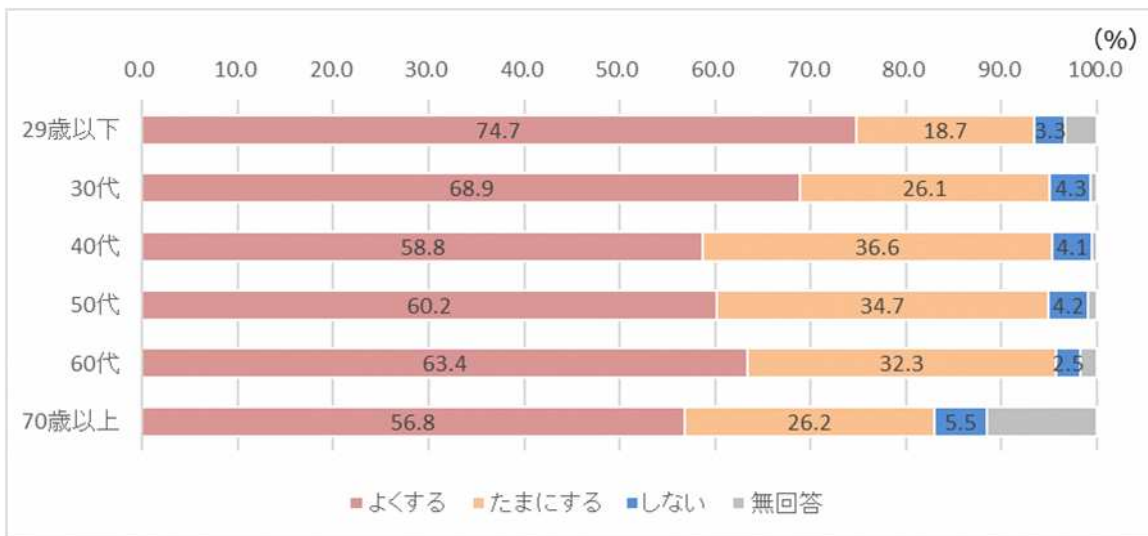
(男女別クロス集計結果)

- ・ 女性がやや高いものの、傾向に大きな違いは見られない。



(年代別クロス集計結果)

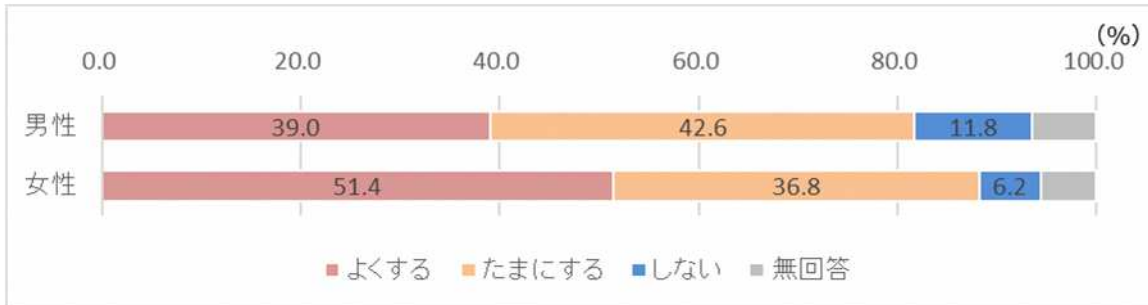
- ・ 「よくする」のみを取り上げると、「29 歳以下」と「30 代」で高い。



市内で買い物をする

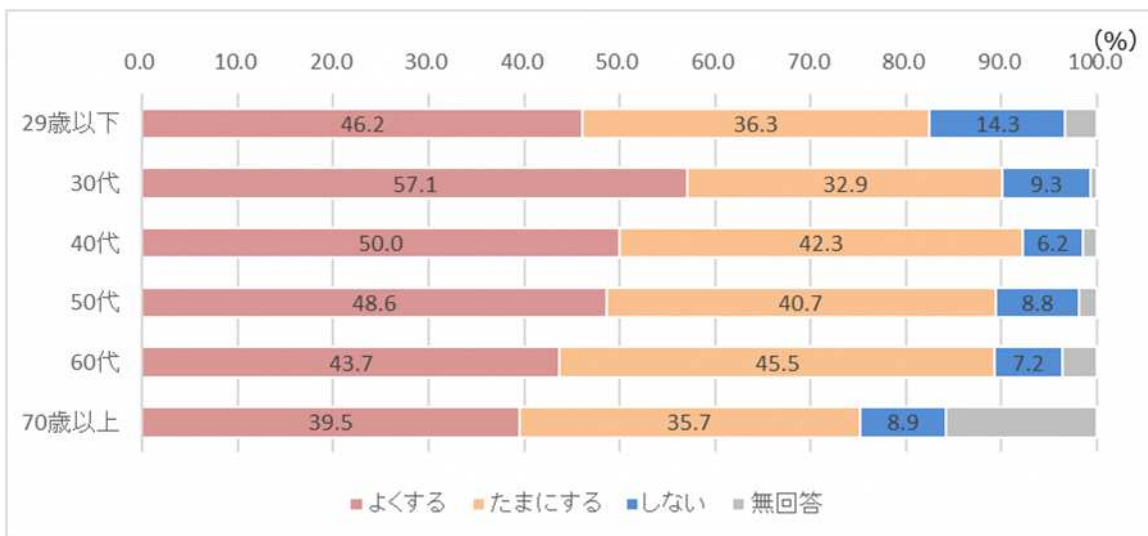
(男女別クロス集計結果)

- ・ 「よくする」について、女性が50%を超え、男性を10ポイント以上上回る。



(年代別クロス集計結果)

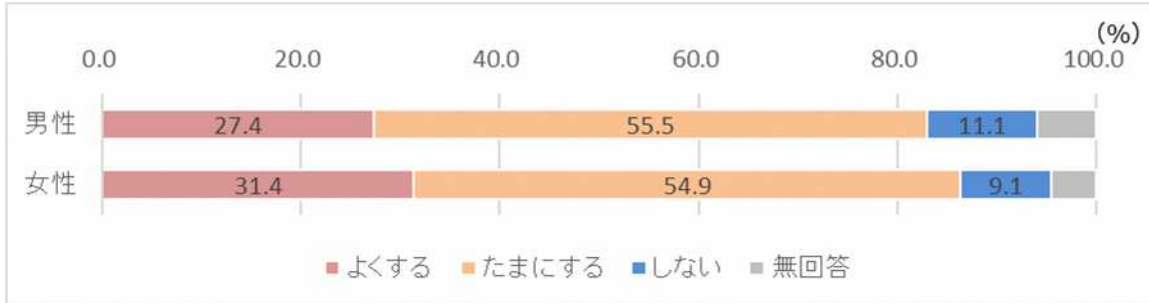
- ・ 「よくする」のみを取り上げると、「30代」が最も高く、「40代」とともに50%を上回る。



外出に出かける、喫茶する

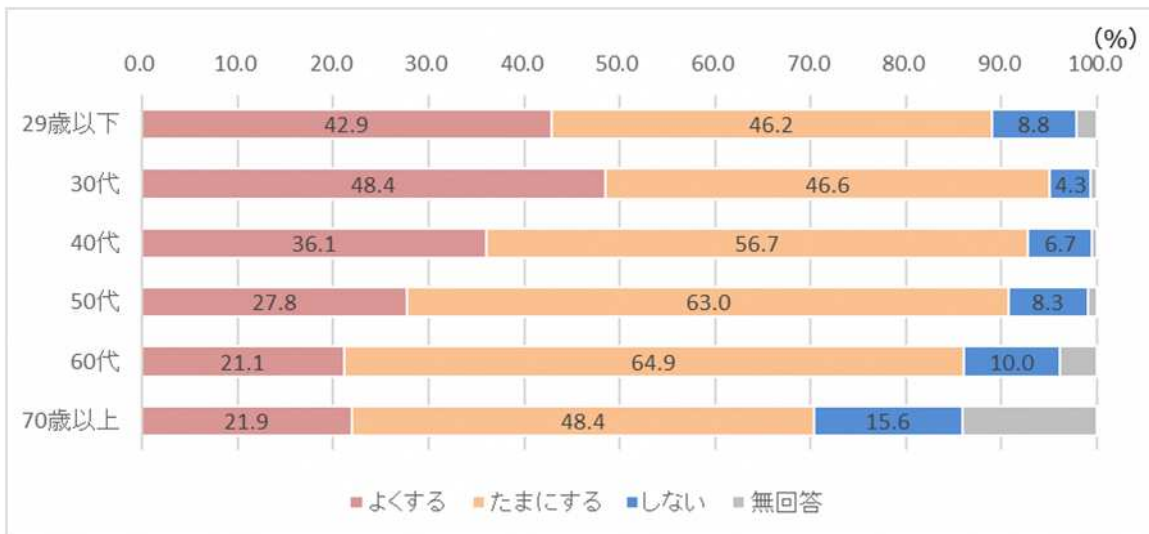
(男女別クロス集計結果)

- ・ 女性がやや高いものの、傾向に大きな違いは見られない。



(年代別クロス集計結果)

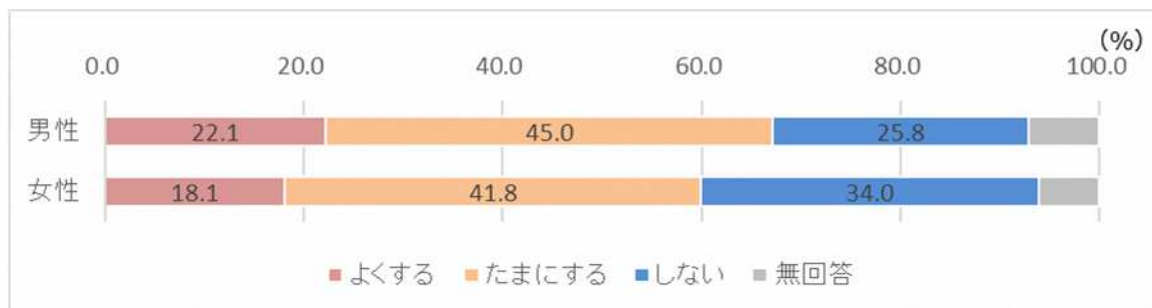
- ・ 「よくする」のみを取り上げると、「30代」が50%近くで最も高く、「29歳以下」も40%を超えた。
- ・ 一方、「60歳」及び「70代以上」は20%程度にとどまり、年代による違いが30ポイントあまりと非常に大きい。



ドライブする

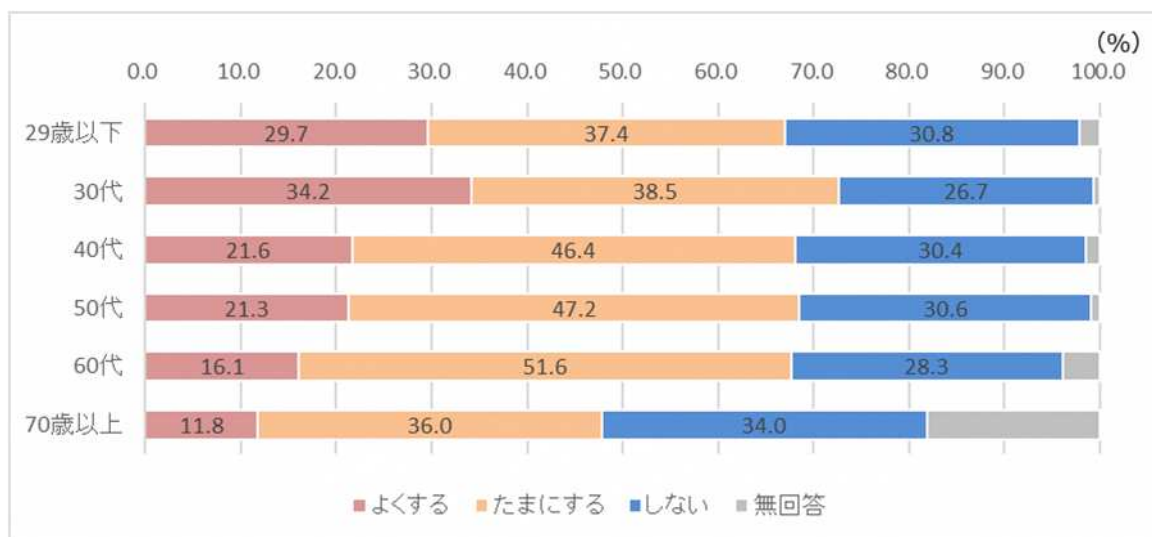
(男女別クロス集計結果)

- ・ 男性がやや高いものの、傾向に大きな違いは見られない。



(年代別クロス集計結果)

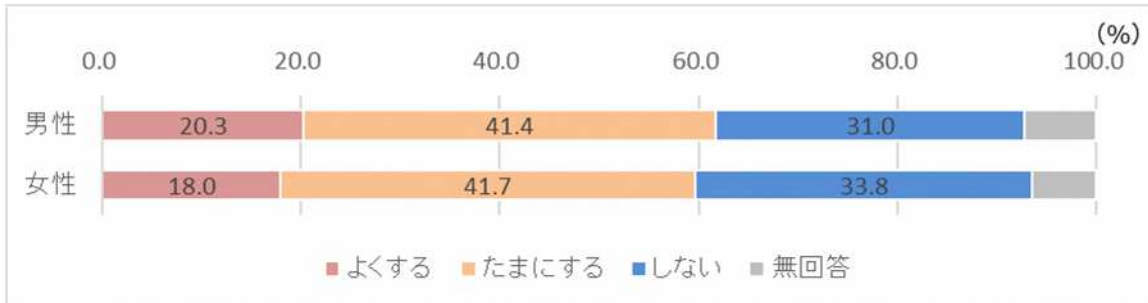
- ・ 「よくする」のみを取り上げると、「30代」が30%を超えて最も高く、「29歳以下」も30%あまりとなった。
- ・ 一方、「60歳」及び「70代以上」は10%代にとどまり、年代による違いが大きい。



散歩・散策する

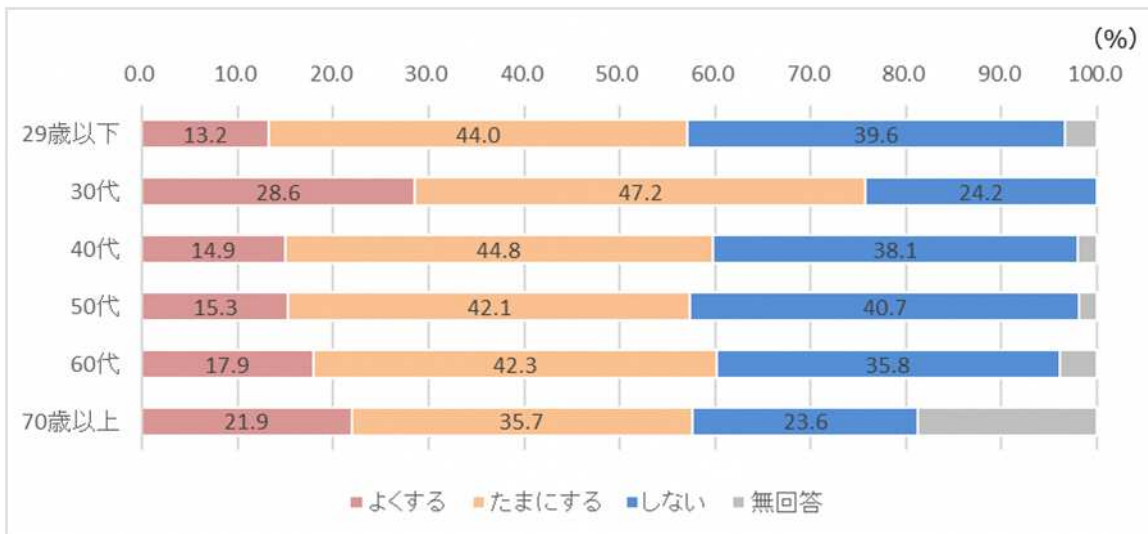
(男女別クロス集計結果)

- ・ 男女による違いはほとんど見られない。



(年代別クロス集計結果)

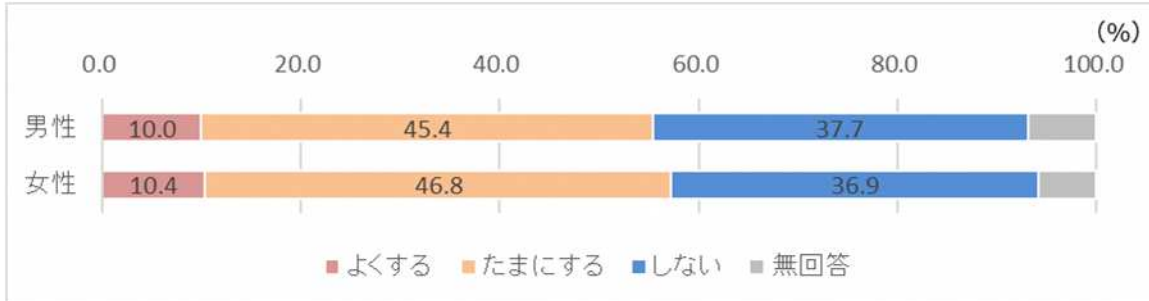
- ・ 「よくする」のみを取り上げると、「30代」のみが突出して高い。
- ・ その前後の世代である「29歳以下」及び「40代」が最も低くなるが、年代が高いほど割合も高くなる傾向もうかがえる。ただし、「たまにする」を合わせると、「30代」以外は傾向に違いが見られない。



レジャー施設に出かける

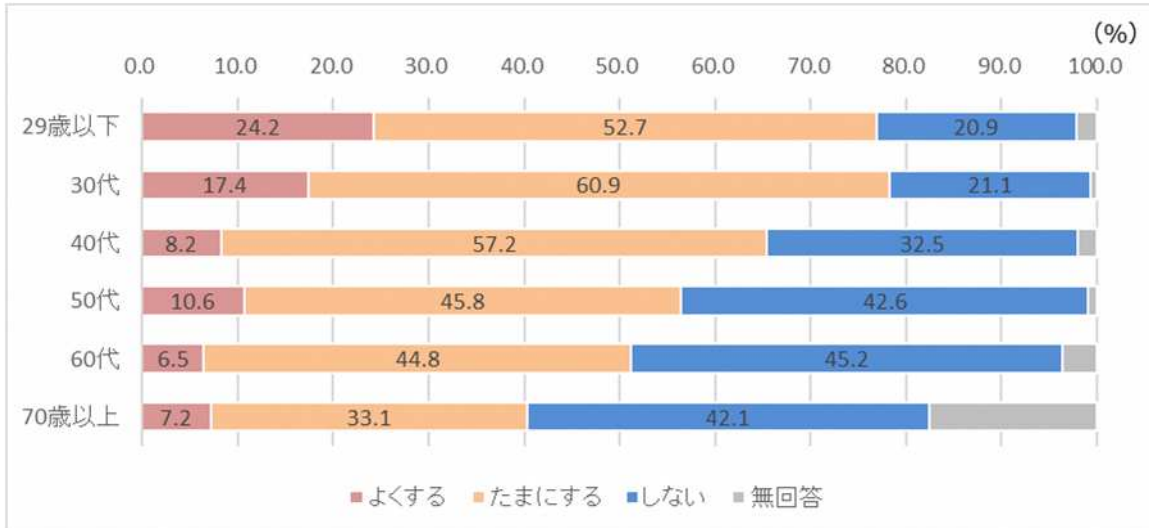
(男女別クロス集計結果)

- ・ 男女による違いはほとんど見られない。



(年代別クロス集計結果)

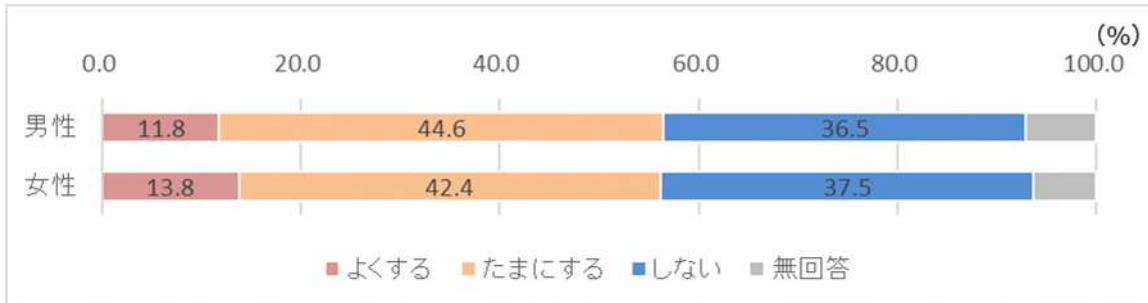
- ・ 「よくする」のみを取り上げると、「29歳以下」が20%を超えて突出して高く、他の年代を大きく上回る。
- ・ 「よくする」と「たまにする」を合わせた割合は、「29歳以下」及び「30代」が70%を超えて高く、年代が高まるにつれて大きく下がっていく。そのため、頻度は高くないものの、若い年代に特化した過ごし方であることがうかがえる。



公園・緑地に出かける

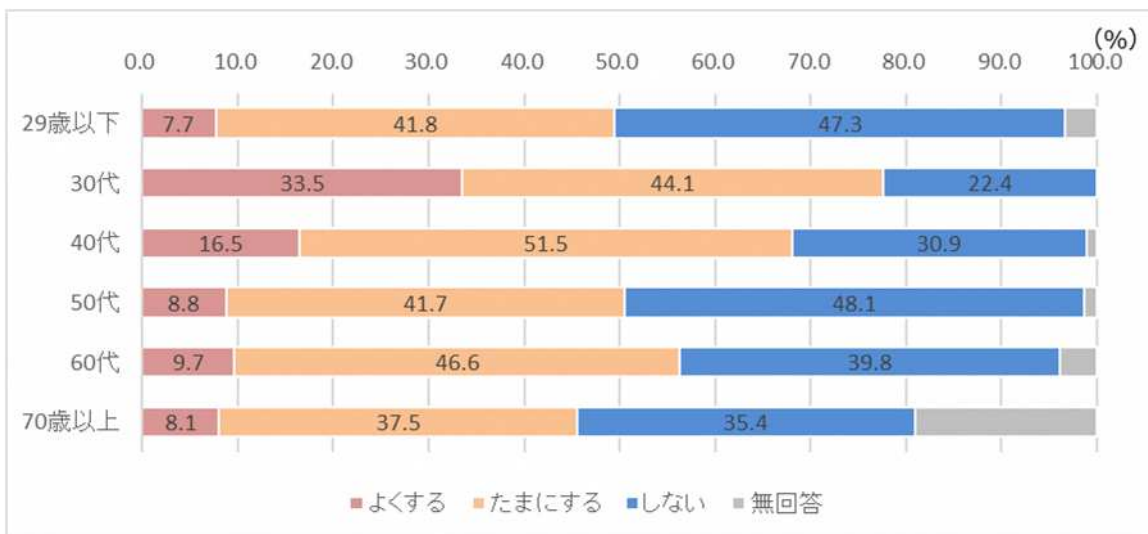
(男女別クロス集計結果)

- 男女による違いはほとんど見られない。



(年代別クロス集計結果)

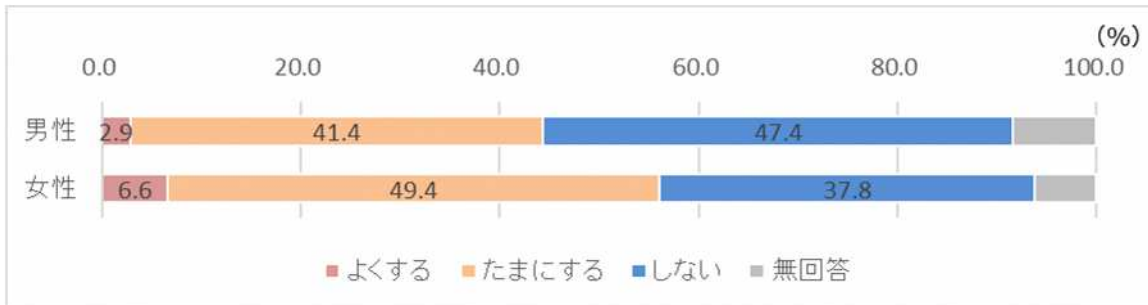
- 「よくする」のみを取り上げると、「30代」のみが突出して高い。
- 「よくする」と「たまにする」を合わせた割合は、「30代」及び「40代」のみが高くなり、いわゆるファミリー層に特化した過ごし方であることがうかがえる。



映画・演劇・アート鑑賞などに出かける

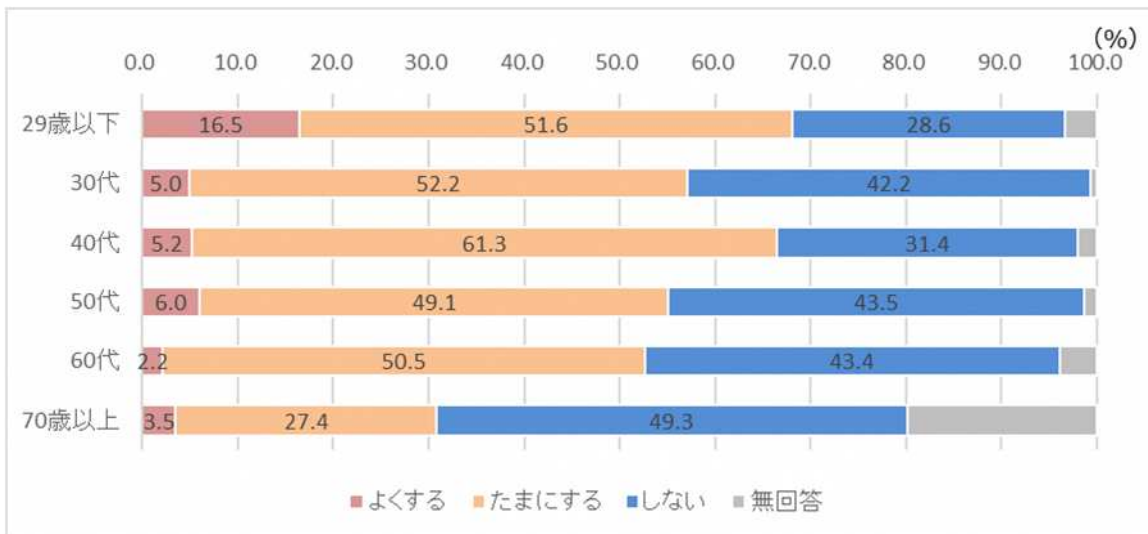
(男女別クロス集計結果)

- ・ 「よくする」と「たまにする」を合わせた割合は女性が 56.0%となり、男性を 10 ポイント以上上回る。



(年代別クロス集計結果)

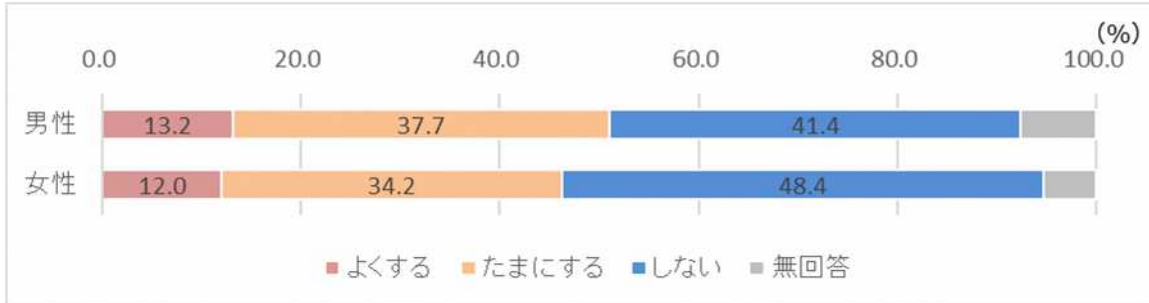
- ・ 「よくする」のみを取り上げると、「29 歳以下」のみが突出して高い。ただし、この年代は「舞台・ホール」で市外流出しており、市外で過ごしていることがうかがえる。
- ・ 「よくする」と「たまにする」を合わせた割合は、「29 歳以下」とともに「40 代」が高くなる。



庭の手入れ・DIY をする

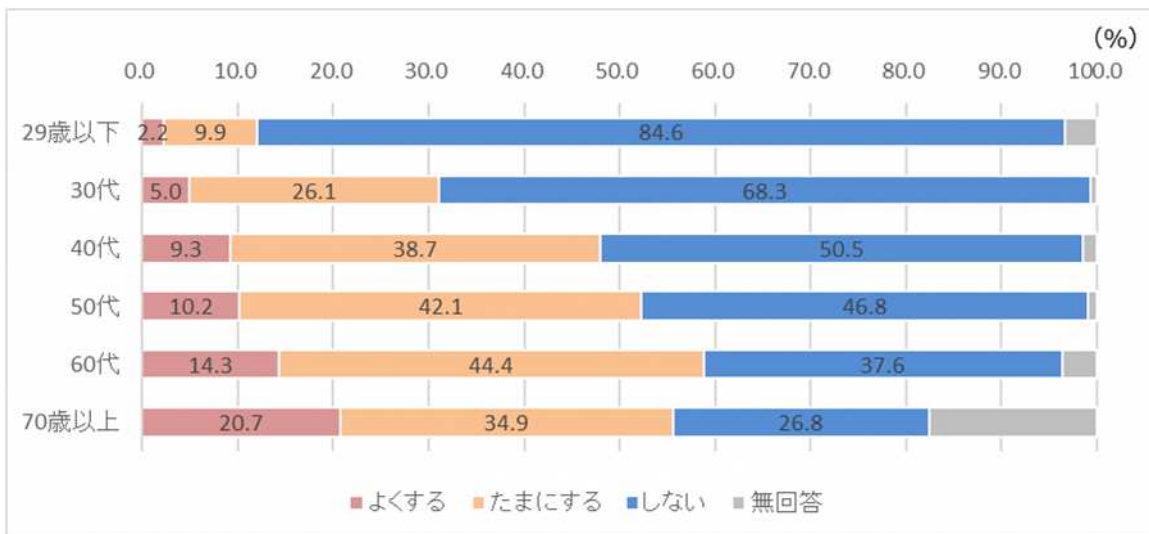
(男女別クロス集計結果)

- ・ 男性がやや高いものの、傾向に大きな違いは見られない。



(年代別クロス集計結果)

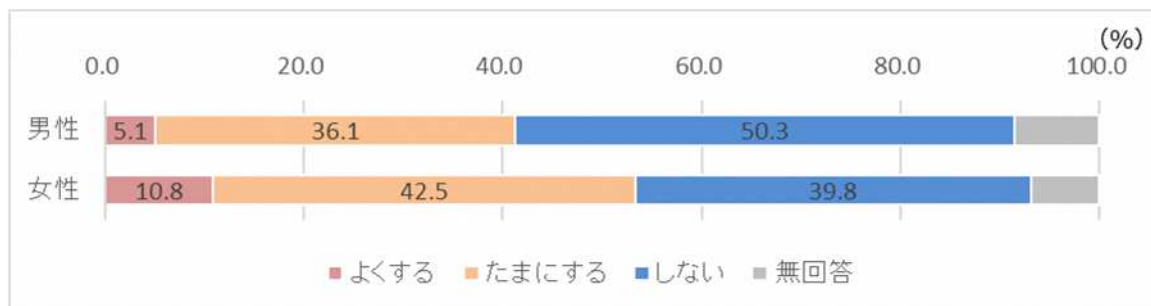
- ・ 「よくする」のみを取り上げると、「70代以上」が20%を超えて最も高くなり、年代が高いほど高くなる傾向が見られる。
- ・ 「よくする」と「たまにする」を合わせた割合は「29歳以下」及び「30代」は非常に低く、「40代以上」の過ごし方であることがうかがえる。



岡崎市や浜松市の大型ショッピングモールに出かける

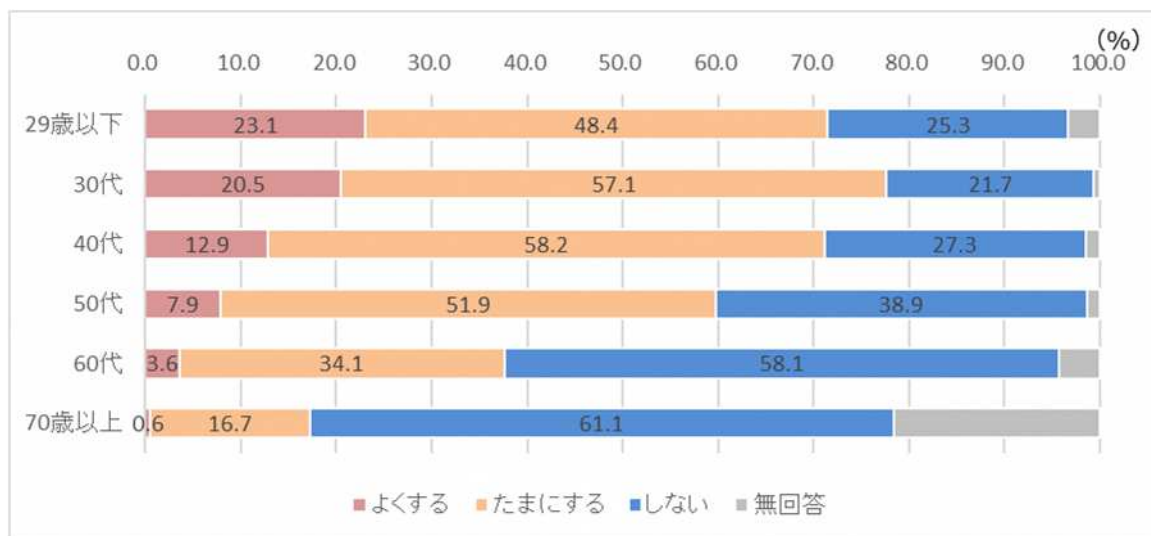
(男女別クロス集計結果)

- ・ 女性がやや高く、「よくする」と「たまにする」を合わせた割合は、10ポイント以上上回る。



(年代別クロス集計結果)

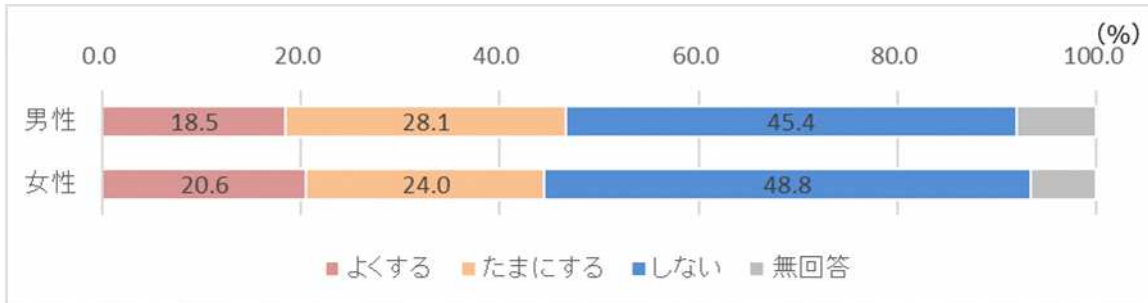
- ・ 「よくする」のみを取り上げると、「29歳以下」及び「30代」が20%を超えて最も高くなり、年代が低いほど高くなる傾向が見られる。
- ・ 「よくする」と「たまにする」を合わせると、「30代」を中心に「40代」よりも若い年代が突出しており、若い年代の過ごし方であることがうかがえる。



仕事をする、家業を手伝う

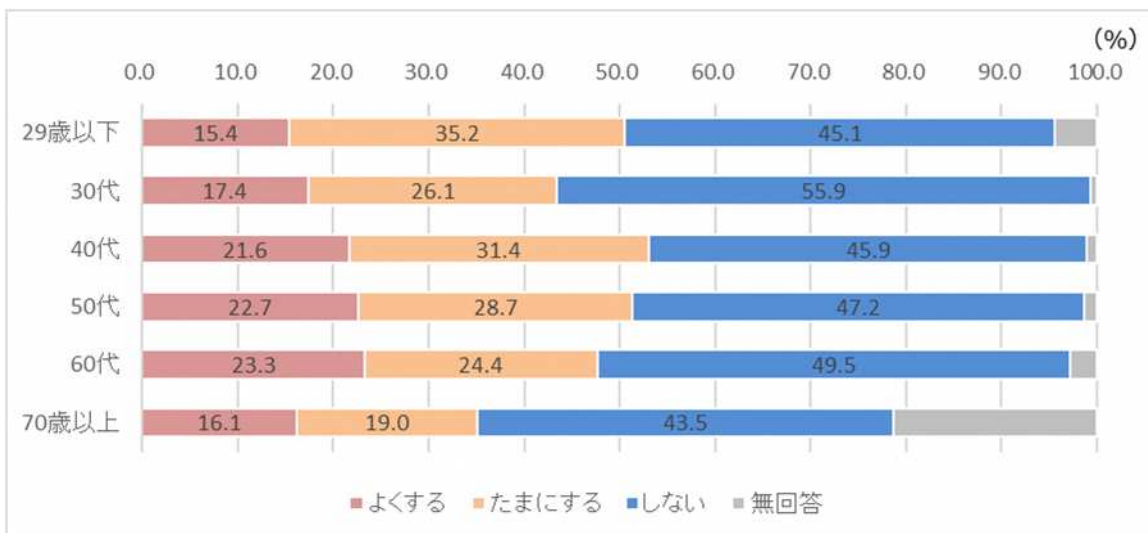
(男女別クロス集計結果)

- 男女による違いはほとんど見られない。



(年代別クロス集計結果)

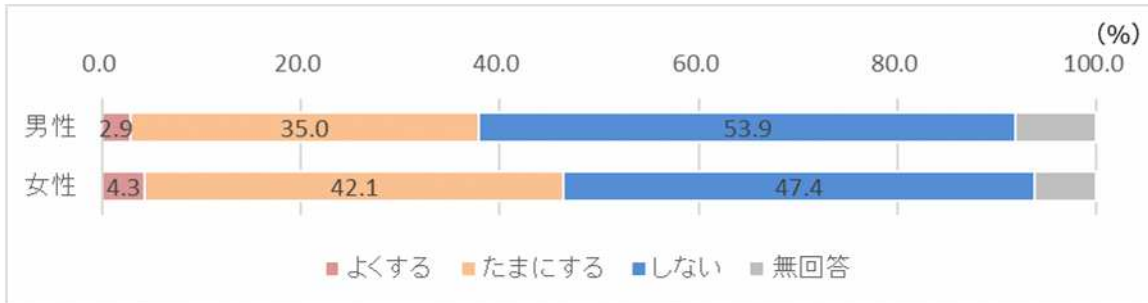
- 「よくする」のみを取り上げると、「70代以上」を除いて年代が高くなるにつれて高まる傾向があり、「40代」から「60代」が20%を超える。
- 「よくする」と「たまにする」を合わせると、「70代以上」及び「30代」が低くなる傾向がうかがえる。うち「30代」については、「散歩・散策する」や「レジャー施設に出かける」、「公園・緑地に出かける」、「岡崎市や浜松市の大型ショッピングモールに出かける」など、他の項目で高い割合が出ており、当該項目の実施に対して相対的に影響したと考えられる。



イベントを観に行く・参加する

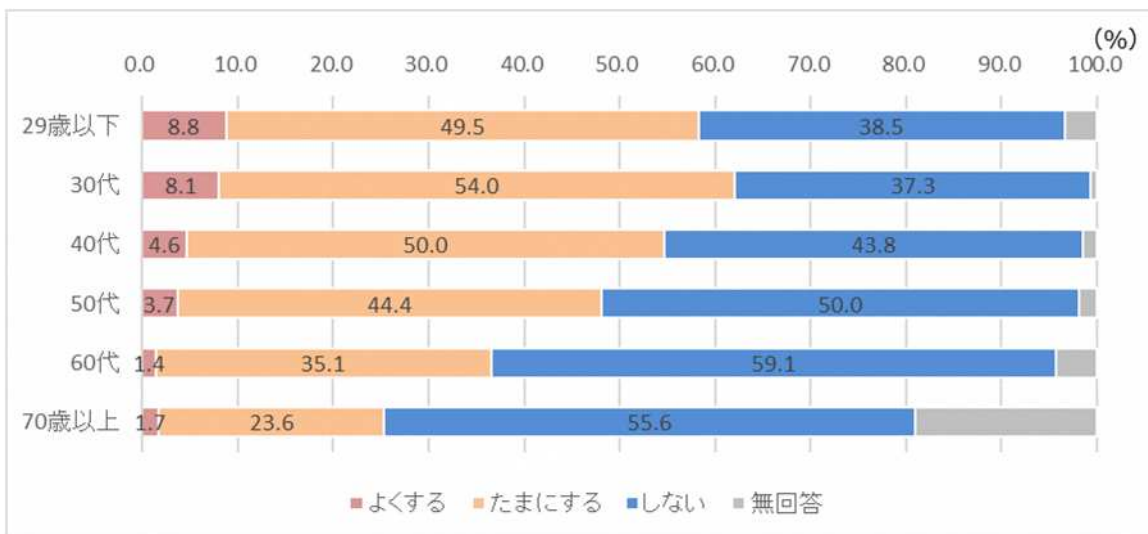
(男女別クロス集計結果)

- ・ 女性がやや高いものの、傾向に大きな違いは見られない。



(年代別クロス集計結果)

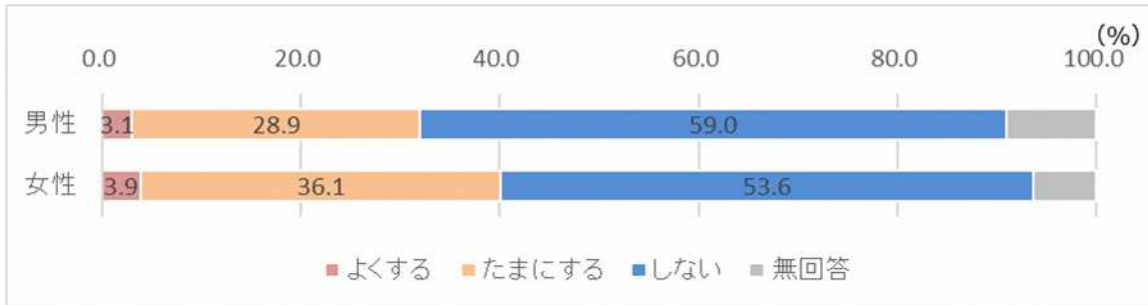
- ・ 「よくする」のみを取り上げると、いずれも 10%以下となり低い。
- ・ 「よくする」と「たまにする」を合わせると、「30代」を中心に若い年代ほど高くなる傾向が見られ、概ね 50代までの過ごし方であることがうかがえる。



名古屋の中心部（名駅や栄、大須）に出かける

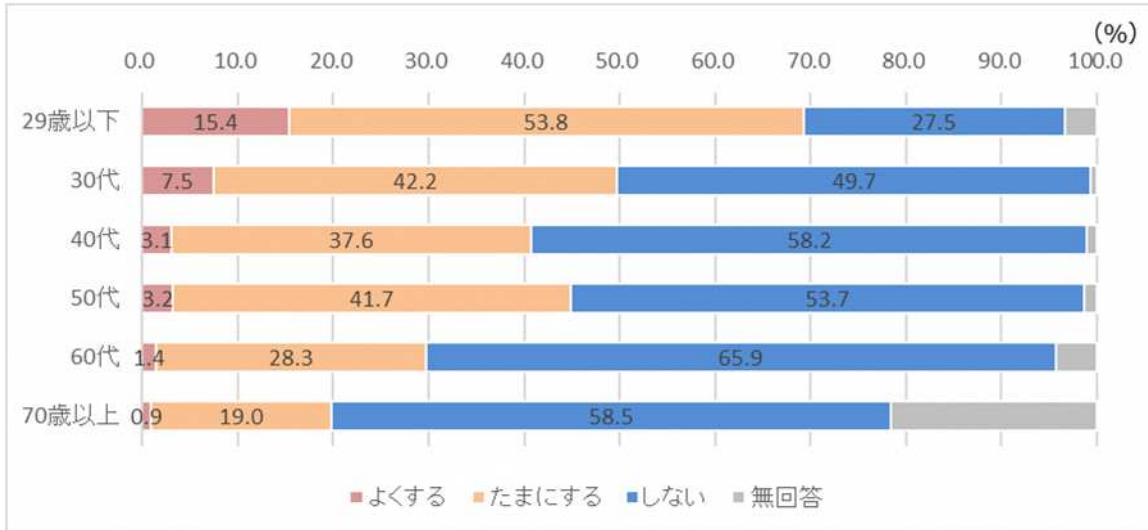
（男女別クロス集計結果）

- ・ 女性がやや高いものの、傾向に大きな違いは見られない。



（年代別クロス集計結果）

- ・ 「よくする」のみを取り上げると、「29歳以下」が15%を超えて突出して高い。
- ・ 「よくする」と「たまにする」を合わせると、「20歳以下」が大きく突出しており、「60代」の2倍以上になる。「30代」から「50代」も50%を超えるものの、この年代は「岡崎市や浜松市の大型ショッピングモールに出かける」に比べると低く、とりわけ若い年代に特化した過ごし方であるといえる。



9) 豊橋市で生活して良いと思うところ、嫌だと思うところ

- ・ 良いと思うところについて、「自然の恵み・緑の豊かさ」が約 37%で最も多く、嫌だと思うは 0.8%で極めて少ない。
- ・ 良いと思うところでは、「近くの友人の有無」が約 30%、「買い物の便利さ」が約 27%、「災害の心配」が約 26%と高くなっている。一方、嫌だと思うところで「災害の心配」は約 20%、「買い物の便利さ」は約 16%と高くなり、市民の評価が分かれている。
- ・ 嫌だと思うところでは、「地域の活気」が約 32%、「これからの発展性」が約 21%、「素敵な店の多さ・好きな店の有無」が約 21%とあり、これらはいずれも良いと思う割合が 5%未満と低い。
- ・ まちの活力を悲観的に評価している。また、買い物環境は便利であるものの、魅力に乏しいと評価しているとみることが出来る。

問 豊橋市で生活して良いと思うところ、嫌だと思うところ（3つまで選択）



◆項目別クロス集計

「良いと思うところ」上位 10 項目と属性による傾向が見られた項目について整理した。

自然の恵み・緑の豊かさ

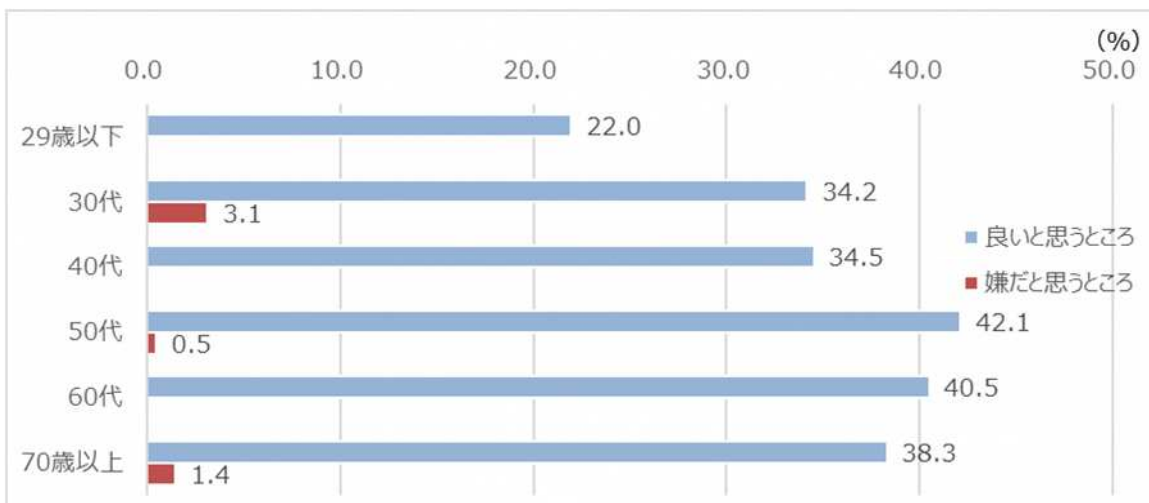
(男女別クロス集計結果)

- ・ 男女による違いはほとんど見られない。



(年代別クロス集計結果)

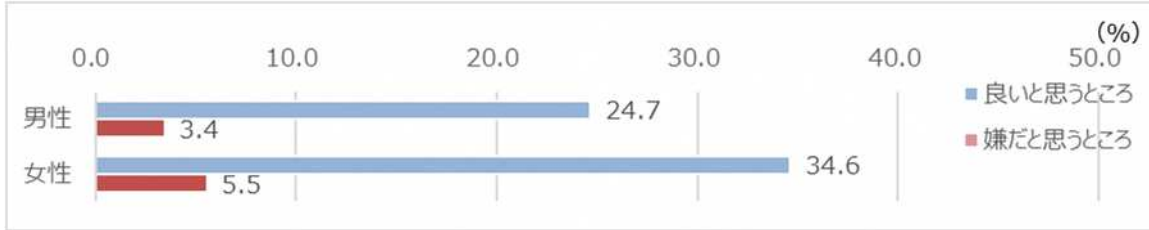
- ・ 「良いと思う」が高いのは、「50代」よりも上の年代で、特に「50代」及び「60代」は40%を超える。一方、「29歳以下」は20%あまりとなり、20ポイントもの差異が見られる。
- ・ 「嫌だと思ふ」については、いずれの年代もほとんどない。



近くの友人の有無

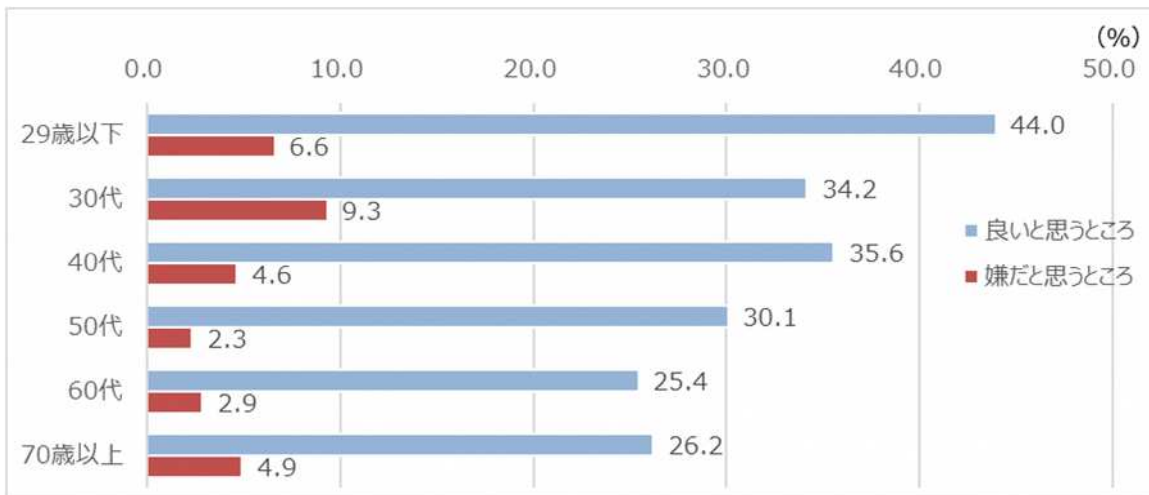
(男女別クロス集計結果)

- ・ 「良いと思う」において、女性が約 35%で、男性を 10 ポイントあまり上回る。



(年代別クロス集計結果)

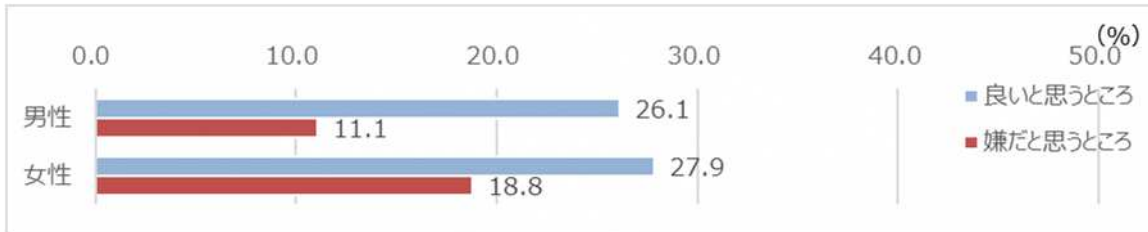
- ・ 「良いと思う」は若い年代ほど高くなる傾向が見られ、「29歳以下」で 40%を超える。一方、「60代」や「70代以上」で 25%あまりとなり、20 ポイントもの差異が見られる。
- ・ 「嫌だと思ふ」については、いずれの年代も 10%を下回る。



買い物の便利さ

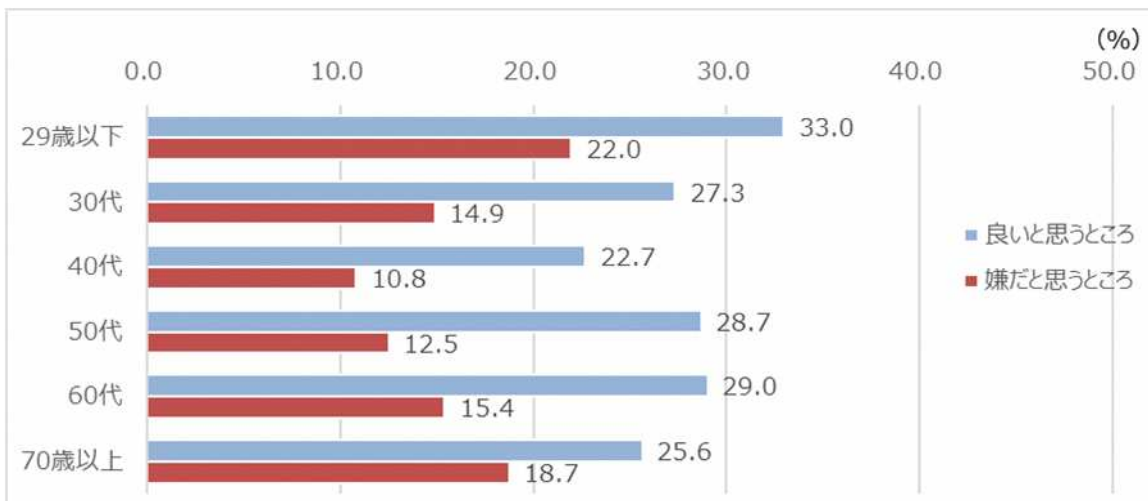
(男女別クロス集計結果)

- ・ 「良いと思う」において、男女による違いは見られないものの、「嫌だと思う」では、女性が20%近くなり、男性をやや上回っており、女性が買い物に物足りなさを感じていることがうかがえる。



(年代別クロス集計結果)

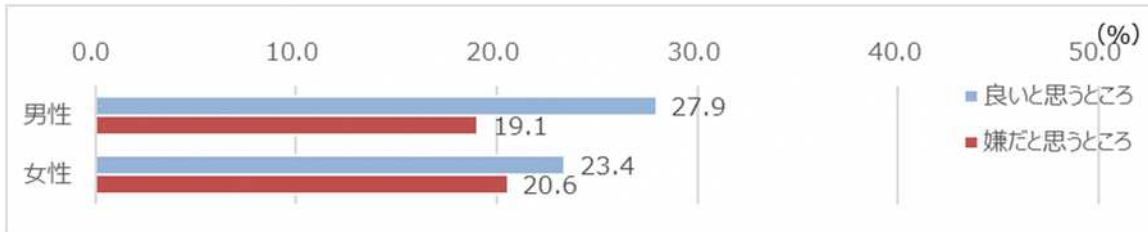
- ・ 「良いと思う」は「29歳以下」が30%を超えて最も高く、「40代」が20%あまりで最も低くなる。
- ・ 「嫌だと思う」も「29歳以下」が最も高くなった。「29歳以下」では評価が割れていることがうかがえる。なお、「70代以上」についても、「29歳以下」ほど割合は高くないものの、評価が割れている。



災害の心配

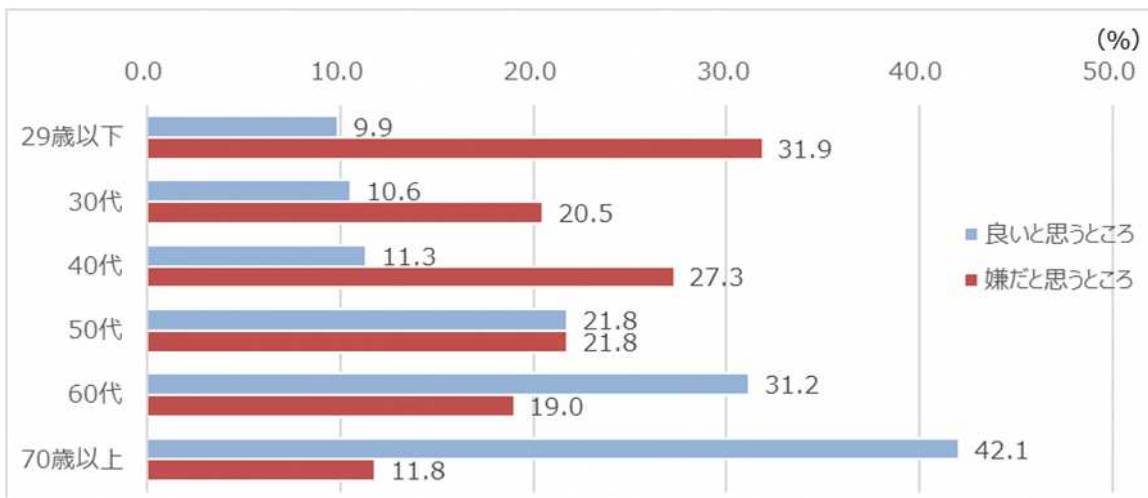
(男女別クロス集計結果)

- ・ 「良いと思う」において、男性が女性をやや上回る。一方、「嫌だと思う」では、男女による違いは見られない。



(年代別クロス集計結果)

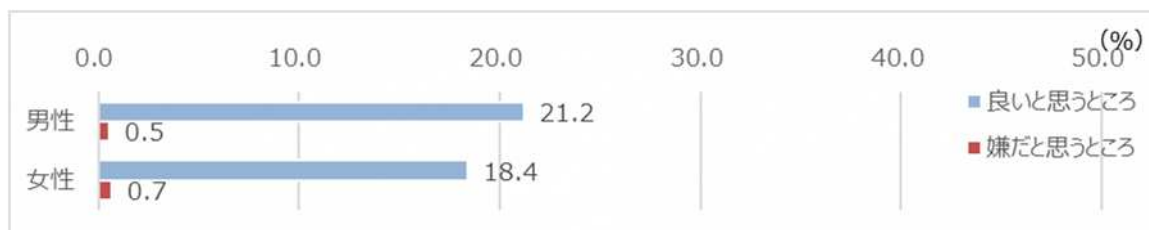
- ・ 年代による違いが非常に大きく表れた。
- ・ 「良いと思う」が上回るのは「60代」より年配の世代で、「50代」になると拮抗し、「40代」よりも若い世代になると「嫌だと思う」が大きく上回る。
- ・ 特に、「70代以上」では「良いと思う」が40%を超えた一方で、「嫌だと思う」が10%あまりとなり、30ポイントあまりの差異も見られた。対して、「29歳以下」では「良いと思う」は約10%しかないが、「嫌だと思う」が30%を超えた。



地域の落ち着き

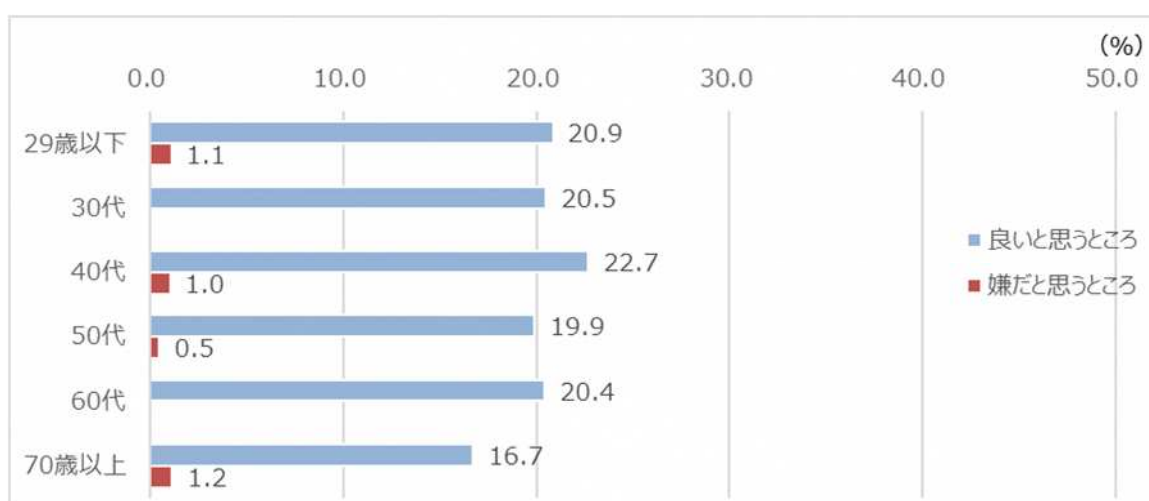
(男女別クロス集計結果)

- 男女による違いはほとんど見られない。



(年代別クロス集計結果)

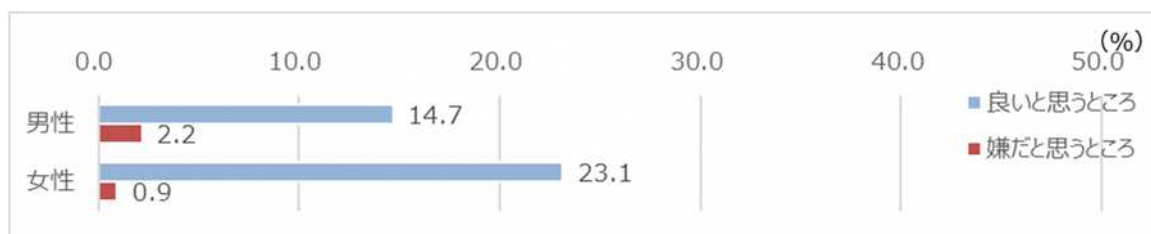
- 年代による違いはほとんど見られない。



おいしい・新鮮な食べ物の入手しやすさ

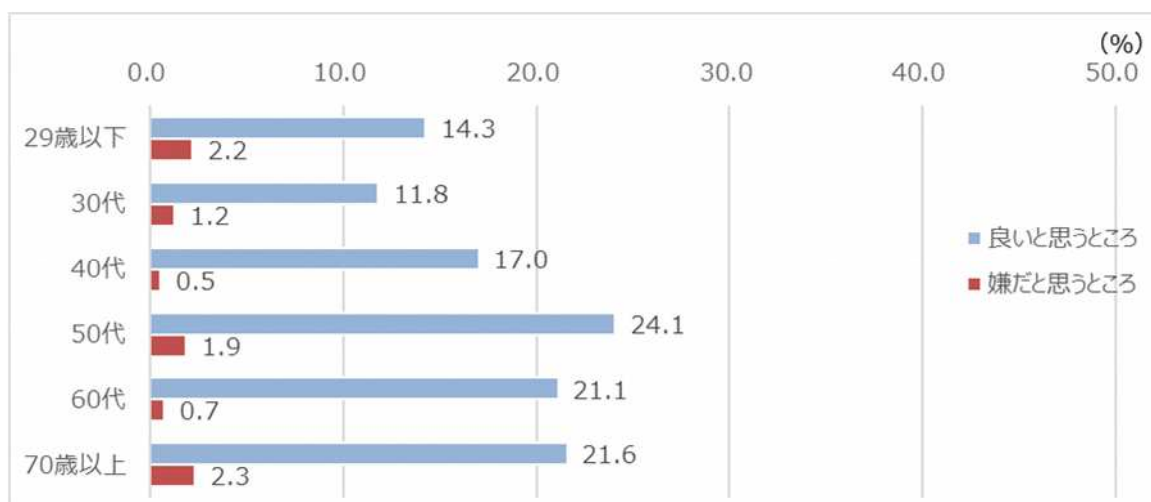
(男女別クロス集計結果)

- ・ 「良いと思う」において、女性が男性をやや上回る。一方、「嫌だと思う」では、男女による違いは見られない。



(年代別クロス集計結果)

- ・ 「良いと思う」は「50代」よりも上の年代がやや高い傾向が見られる。
- ・ 「嫌だと思う」については、いずれの年代もほとんどない。



通勤・通学の便利さ

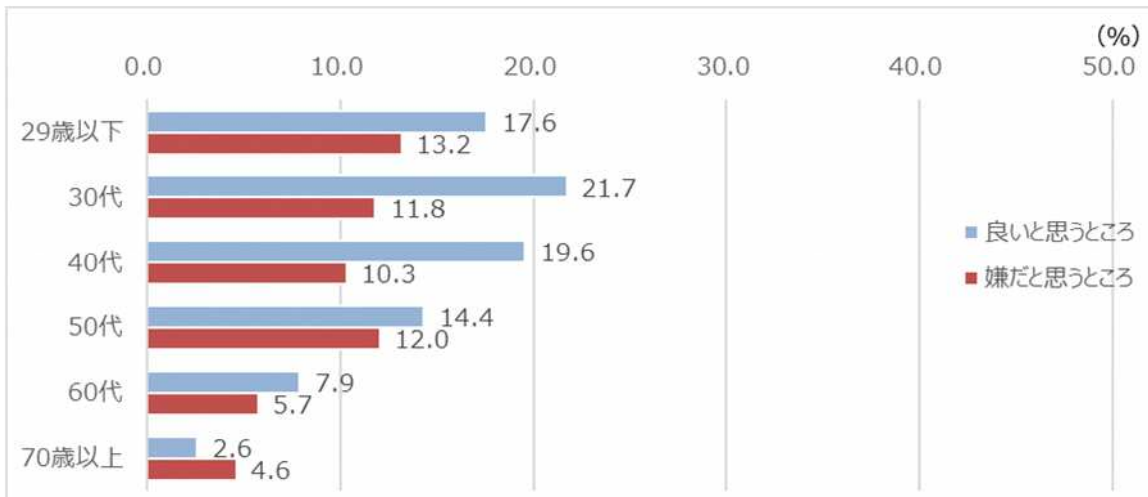
(男女別クロス集計結果)

- ・ 「良いと思う」において、男性が女性をやや上回る。一方、「嫌だと思う」では女性が高いものの、「良いと思う」ほどの開きはない。



(年代別クロス集計結果)

- ・ 「良いと思う」は「30代」を中心に、現役世代の割合が高い。
- ・ 「嫌だと思う」については、「29歳以下」から「50代」かけて10%強となった。そのため、「50代」では「良いと思う」と「嫌だと思う」が拮抗する結果となった。



物価・家賃の安さ

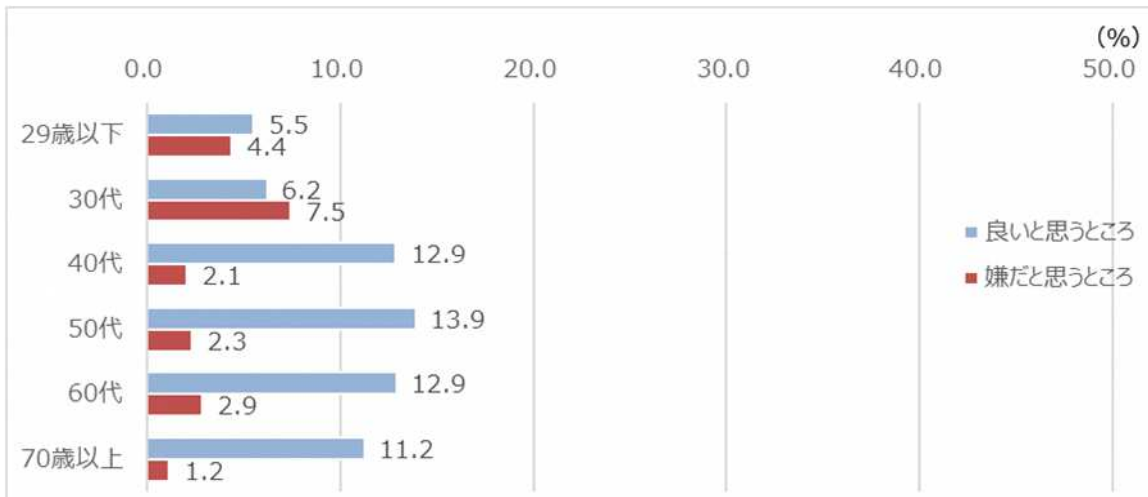
(男女別クロス集計結果)

- ・ 男女による違いはほとんど見られない。



(年代別クロス集計結果)

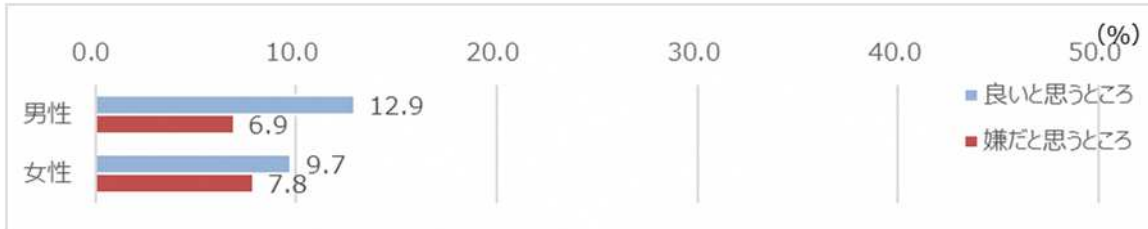
- ・ 「良いと思う」は「40代」以上で10%を超える。一方、「30代」では割合が低いものの、「嫌だ」と思う」が上回る。そのため、「40代」よりも上の年代のみが評価する項目となっている。



治安の良さ・事故の心配

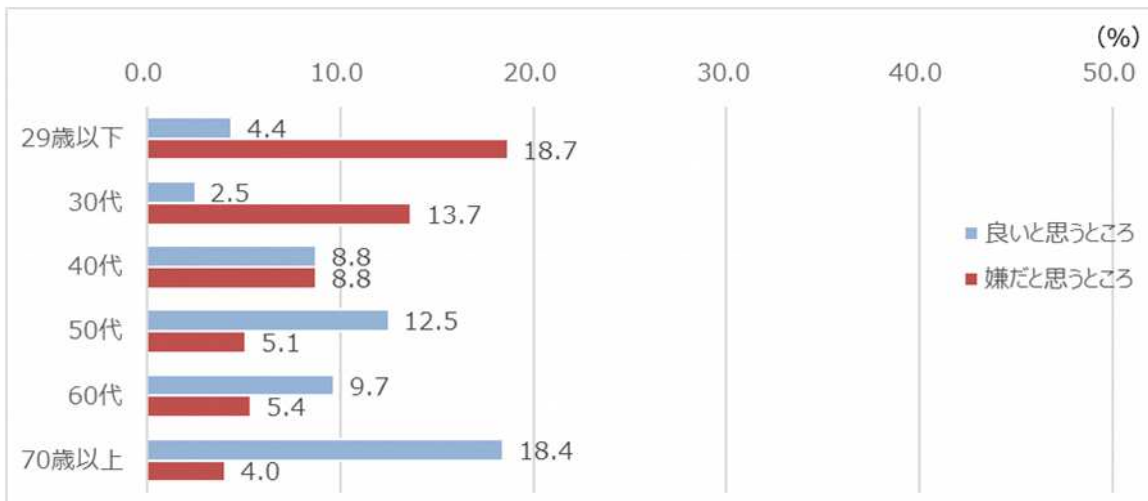
(男女別クロス集計結果)

- ・ 男女による違いはほとんど見られない。



(年代別クロス集計結果)

- ・ 「災害の心配」と同様に、年代による違いが大きく表れた。
- ・ 「良いと思う」が上回るのは「50代」より年配の世代で、「40代」になると拮抗し、「30代」よりも若い世代になると「嫌だと思ふ」が大きく上回る。
- ・ 特に、「70代以上」では「良いと思う」が「嫌だと思ふ」を10ポイント以上上回り、「29歳以下」ではその逆の結果になった。



医療・福祉サービス

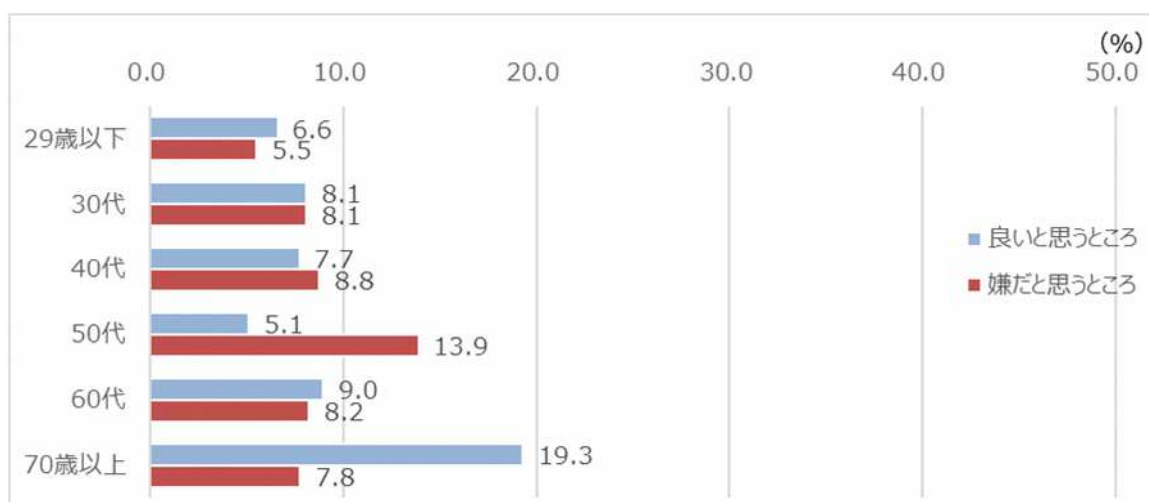
(男女別クロス集計結果)

- ・ 「良いと思う」において、男性が女性をやや上回る。
- ・ 「嫌だと思う」では、男女による違いは見られないが、「女性」において「良いと思う」を上回った。



(年代別クロス集計結果)

- ・ 「50代」と「70代以上」で特徴が見られた。
- ・ 「70代以上」では「良いと思う」が約20%となり、「嫌だと思う」を10ポイント以上上回った。これに対して、「50代」では「嫌だと思う」の方が高くなった。現在の高齢者は医療・福祉を評価している一方で、今後、医療・福祉サービスの利用が増えると見込まれる世代で不安を感じていることが明らかとなった。



素敵な店の多さ・好きな店の有無

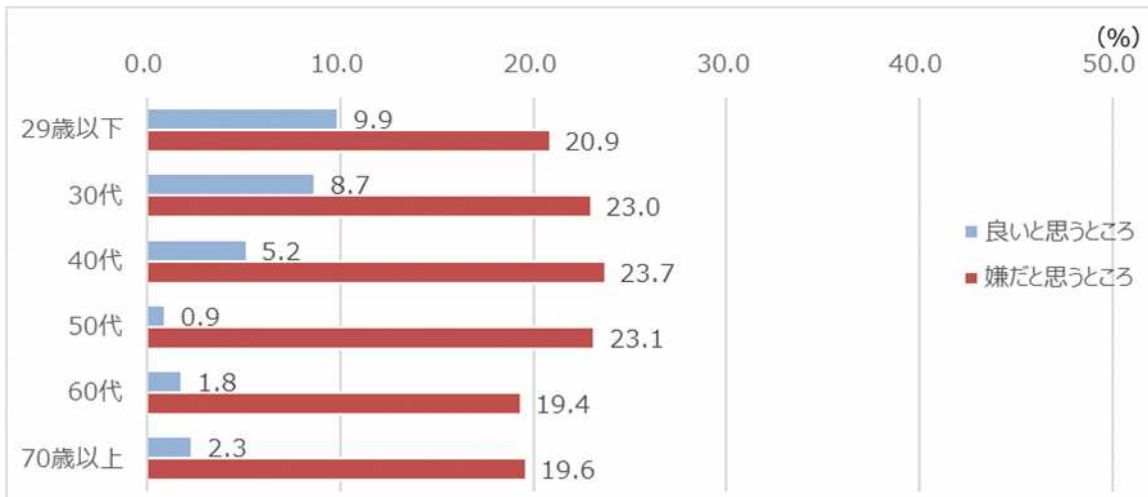
(男女別クロス集計結果)

- ・ 男女による違いはほとんど見られず、ともに「嫌だと思う」が大きく上回る。



(年代別クロス集計結果)

- ・ 「嫌だと思う」は年代による違いがほとんどない。一方、「良いと思う」については「29歳以下」及び「30代」の若い年代がやや高い。



これからの発展性

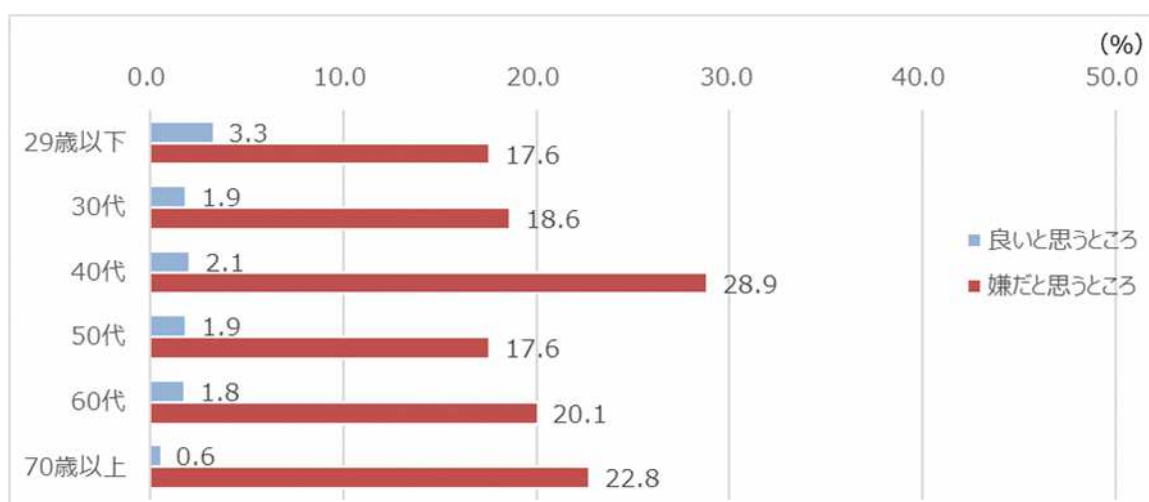
(男女別クロス集計結果)

- ・ 「良いと思う」は男女にともにほとんど見られない。
- ・ 「嫌だと思う」は男性が女性をやや上回る。



(年代別クロス集計結果)

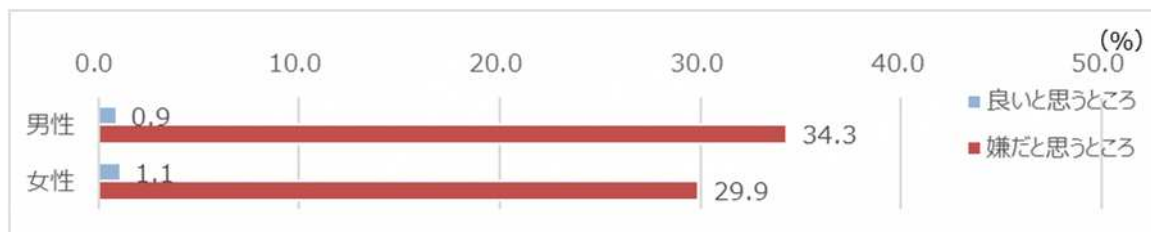
- ・ 「良いと思う」はいずれの年代においても、ほとんど見られない。
- ・ 「嫌だと思う」は「40代」が他の年代と比べてやや高くなった。



地域の活気

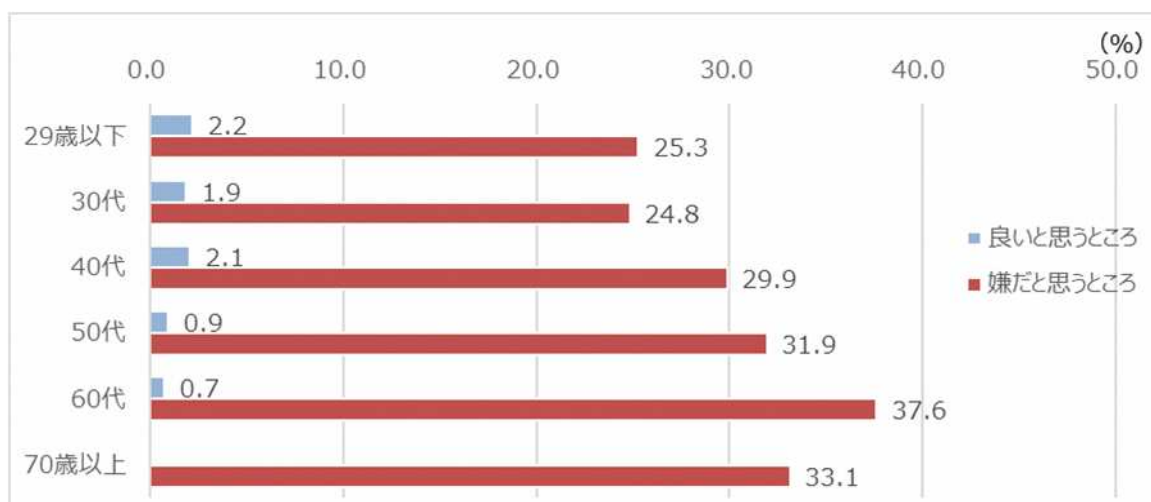
(男女別クロス集計結果)

- ・ 「良いと思う」は男女にともにほとんど見られない。
- ・ 「嫌だと思う」は男性が女性をやや上回る。



(年代別クロス集計結果)

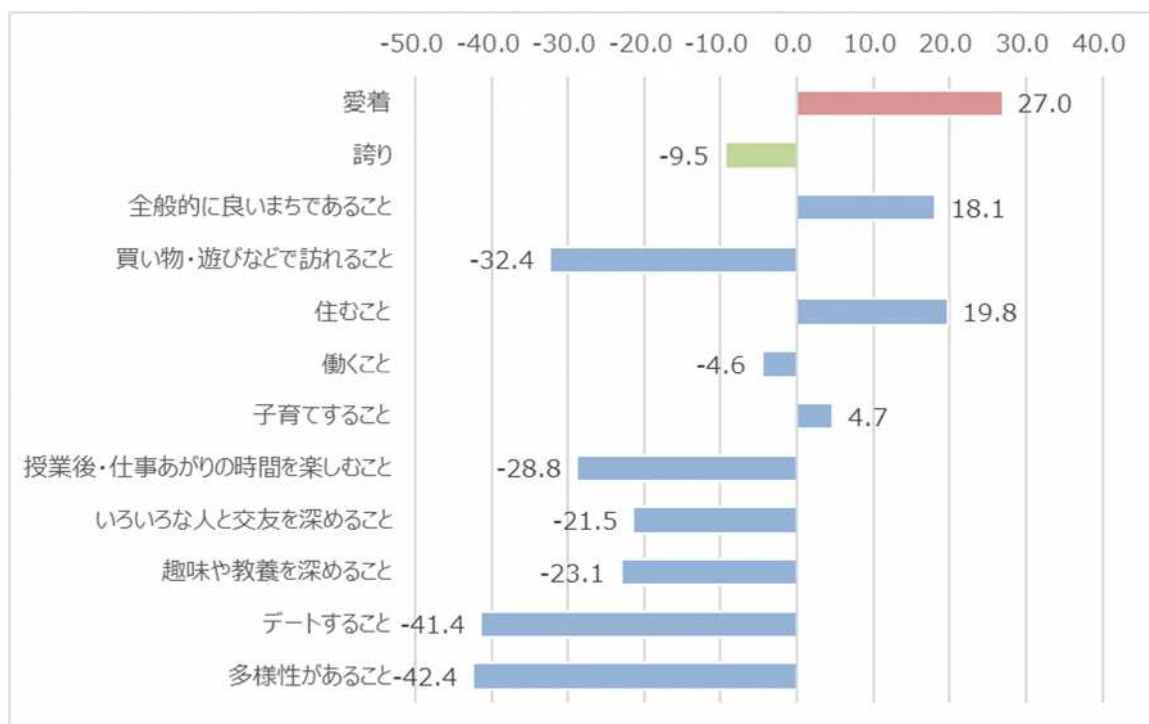
- ・ 「良いと思う」はいずれの年代においても、ほとんど見られない。
- ・ 「嫌だと思う」は「60代」を中心に、年配の年代がやや高くなった。



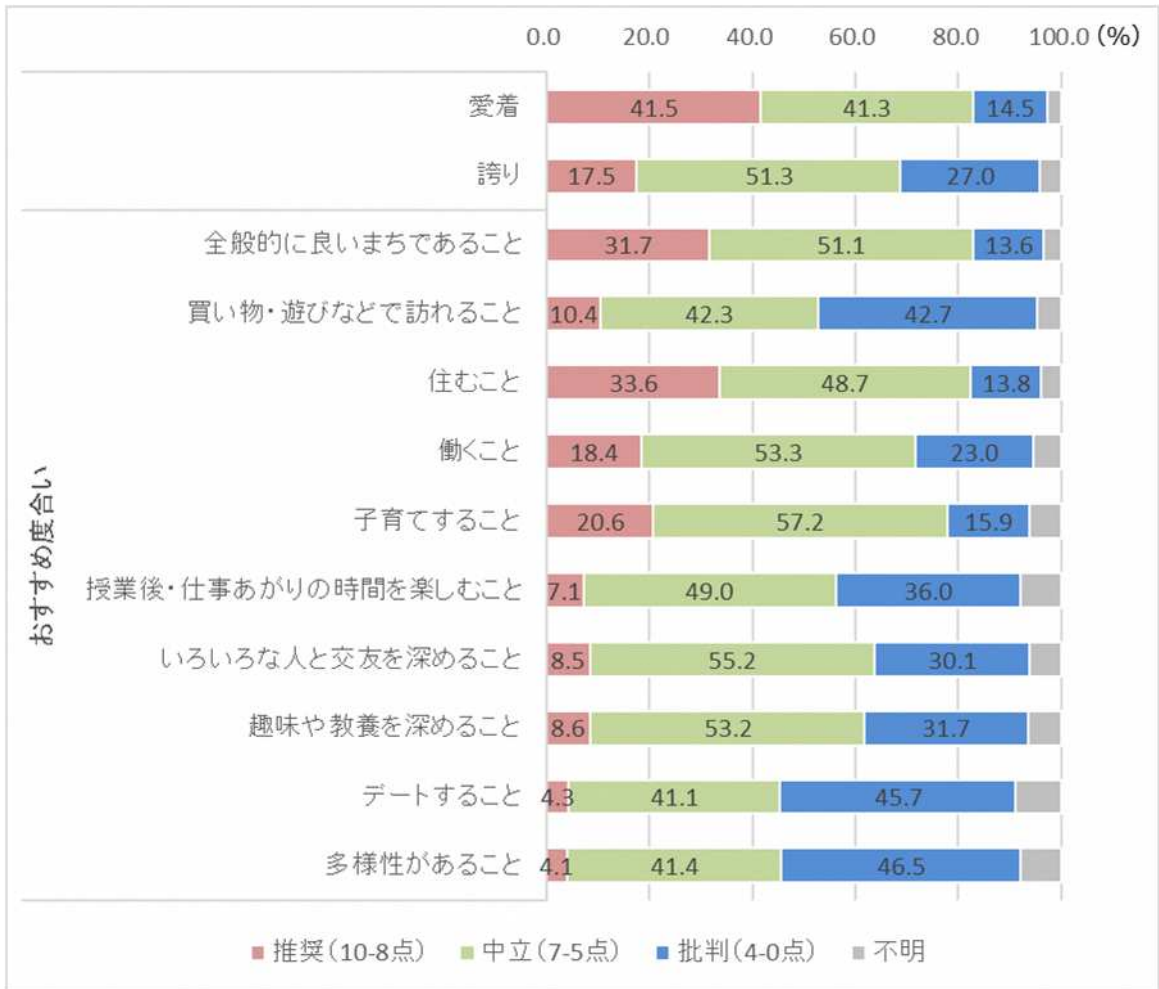
10) 豊橋市に対する愛着や誇り、お勧め度合い

- 豊橋市に対する誇りや愛着、生活の様々な場面（10分野）において豊橋市を友人・知人におすすめできるかについて、10点から0点までの点数を付けてもらい、その結果をNPS※で得点化した。
- 「愛着」は27.0と高い一方、「誇り」は-9.5となった。豊橋市に対して愛着は感じているものの、誇りを感じていない市民が多いことが読み取れる。
- お勧め度合いについて、「全般的に良いまちであること」は18.1と高い。個別分野については、「住むこと」が19.8点と高く、「子育てすること」も4.7でプラスとなり、これら2つがお勧め度合いを引き上げる要因であると考えられる。
- 他の7項目はマイナスとなり、その多くが-20点以下になった一方、「働くこと」は-4.6にとどまった。

問 豊橋市に愛着や誇りを感じるか、市外に住んでいる友人・知人に勧められるか



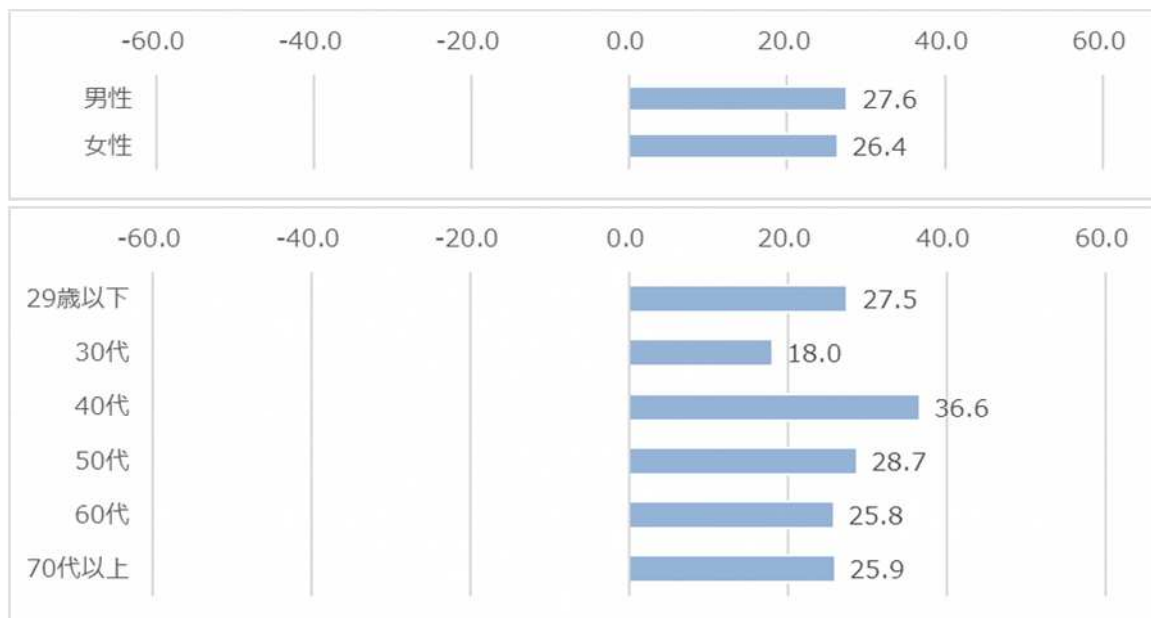
※NPS（ネットプロモータースコア）：10～8点を「推奨」、7～5点を「中立」、4～0点を「批判」とした時の、（推奨の割合）から（批判の割合）を差し引き得点化したもの。



◆項目別クロス集計

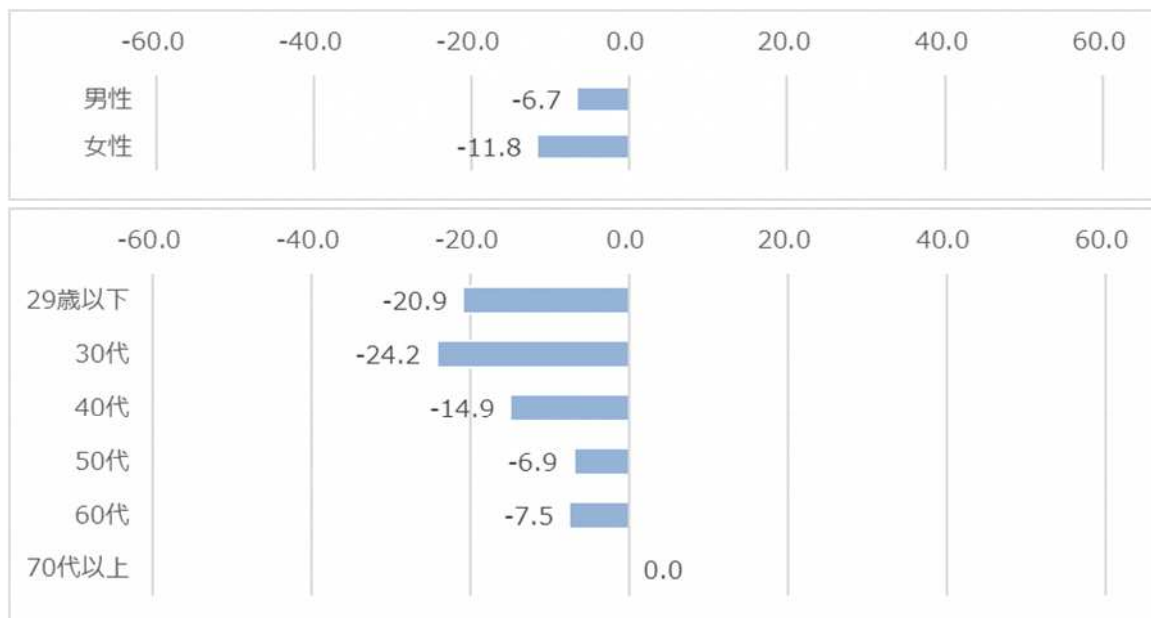
愛着

- ・ 愛着は「40代」が最も高い一方、「30代」が最も低くなった。



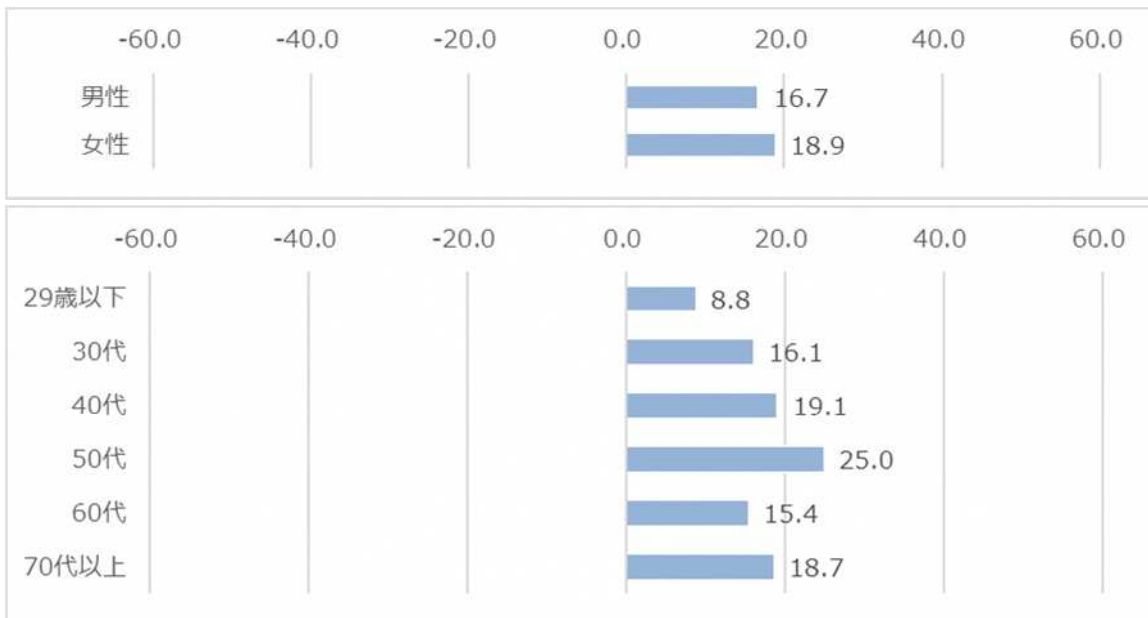
誇り

- ・ 誇りは「30代」と「29歳以下」で低く、NPSを低下させる要因となっている。
- ・ 「愛着」の高かった「40代」も「誇り」は高くない。



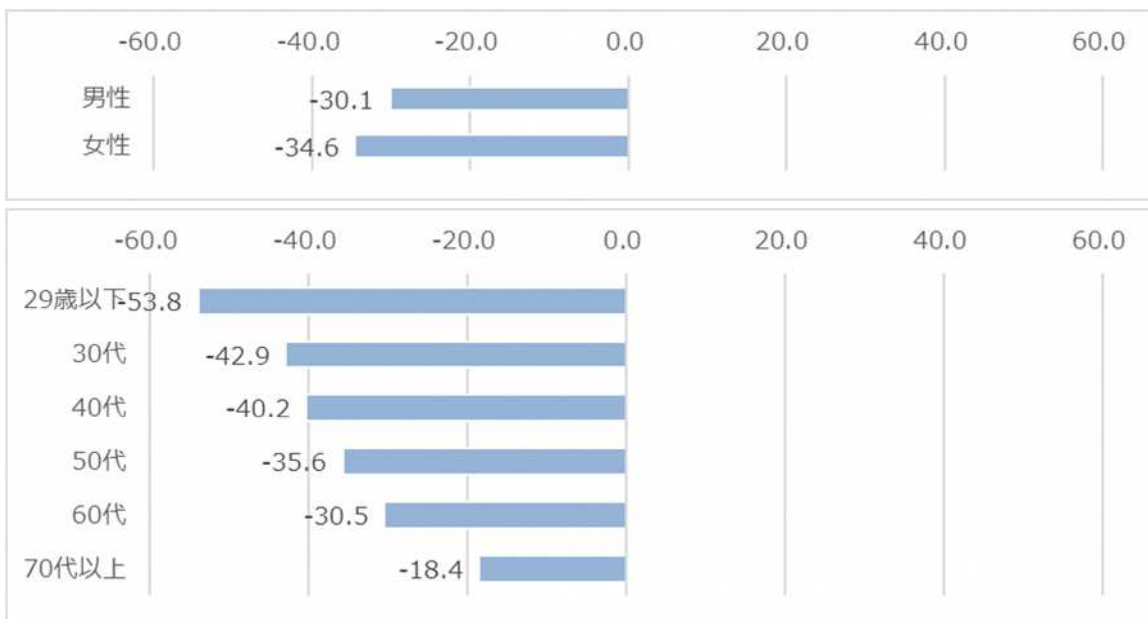
全般的に良いまちであること

- ・ 「50代」が最も高く、「29歳以下」が最も低くなった。
- ・ 「愛着」「誇り」「お勧め度合い（本項目）」ともに、「29歳以下」及び「30代」の若い年代の得点が低い。



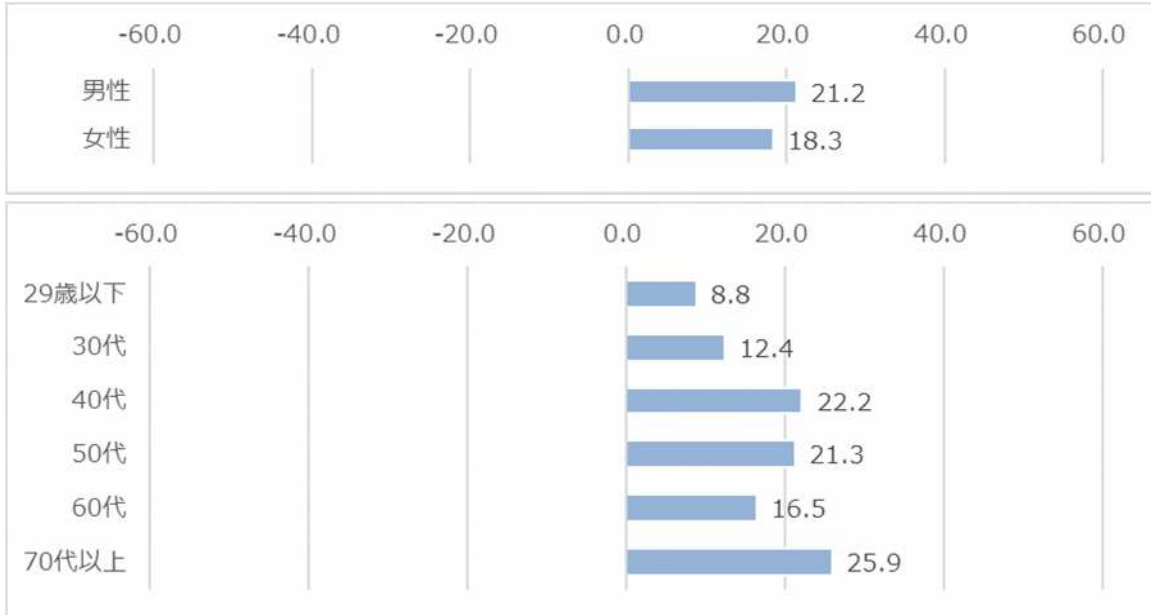
買い物・遊びなどで訪れること

- ・ 若い年代ほどNPSが低く、「29歳以下」は-50点を下回っており、おすすめ度合いを評価する10項目で2番目に低くなっている。



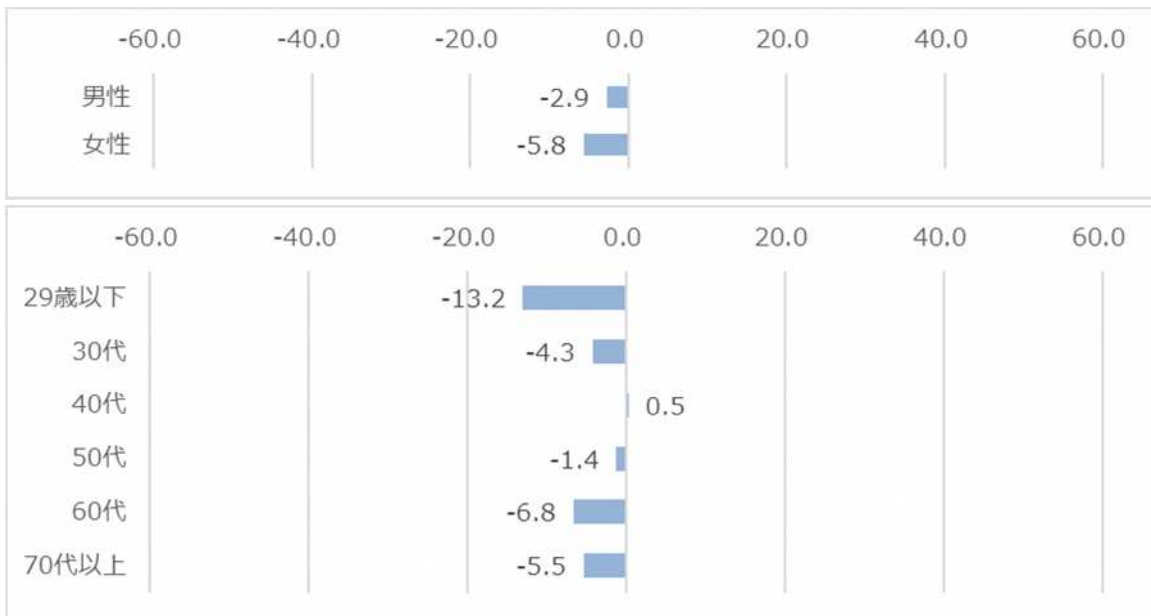
住むこと

- ・ 全てのカテゴリでプラスとなり、「70代以上」が最も高くなった。
- ・ 「29歳以下」及び「30代」のNPSが低く、「住むこと」についても他の年代ほどお勧めできないことがうかがえる。



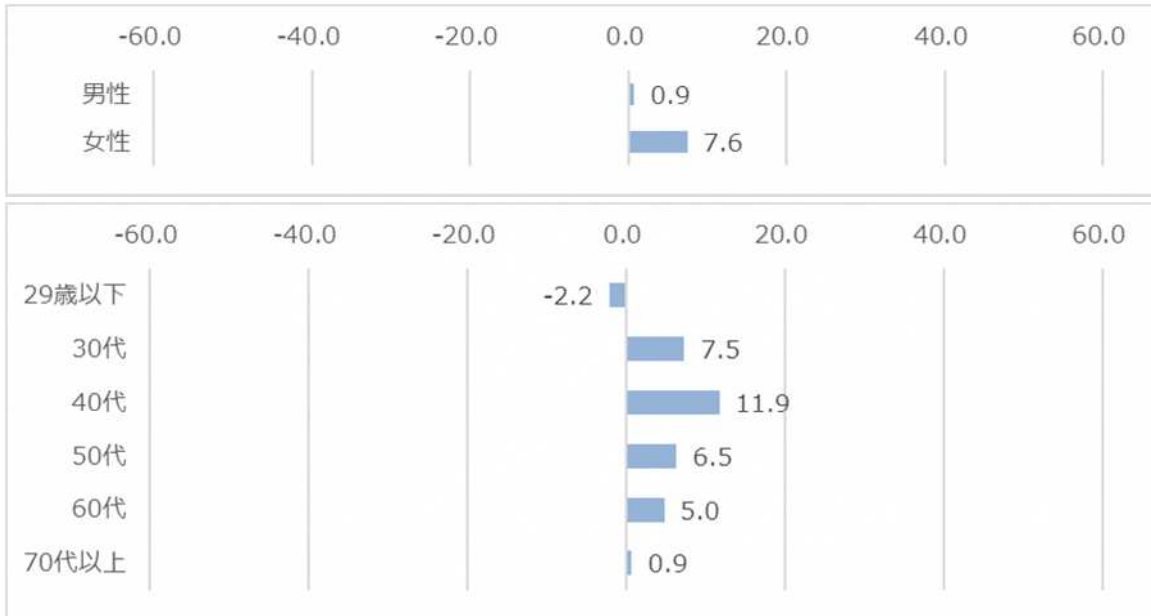
働くこと

- ・ 「40代」を除き、全体的にマイナスとなった。特に、「29歳以下」は唯一マイナスが2桁であり、職種や職場など満足できていない状況にあることが推測される。



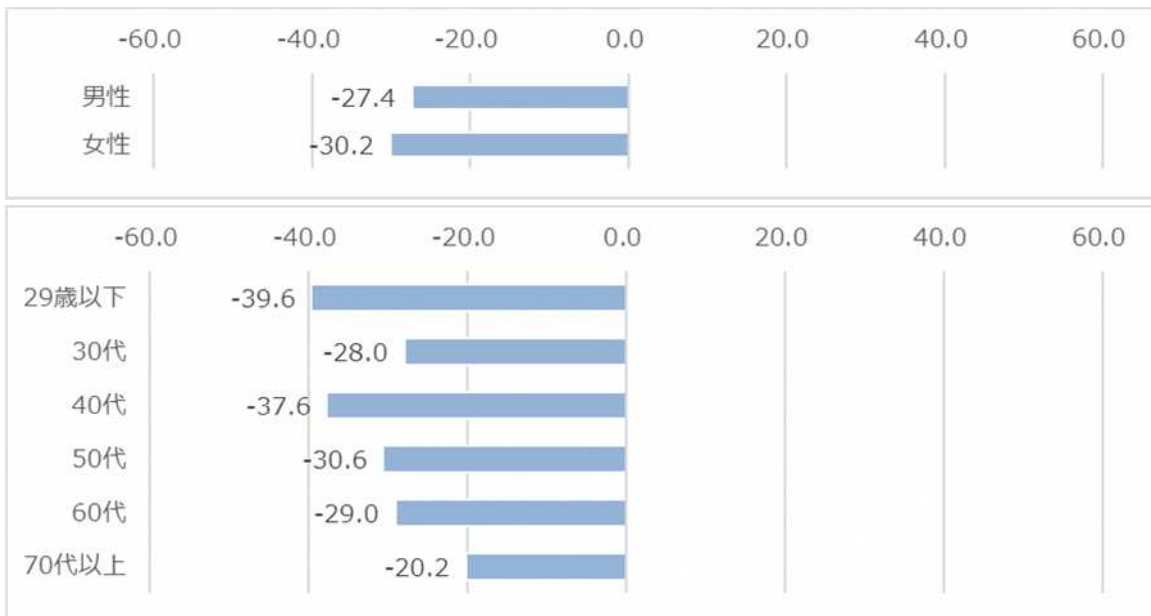
子育てすること

- ・ 「女性」が「男性」に比べてNPSが高い。また、「40代」を中心にプラスになっており、子育てとの関わりの深い人からの評価が高くなっていると考えられる。



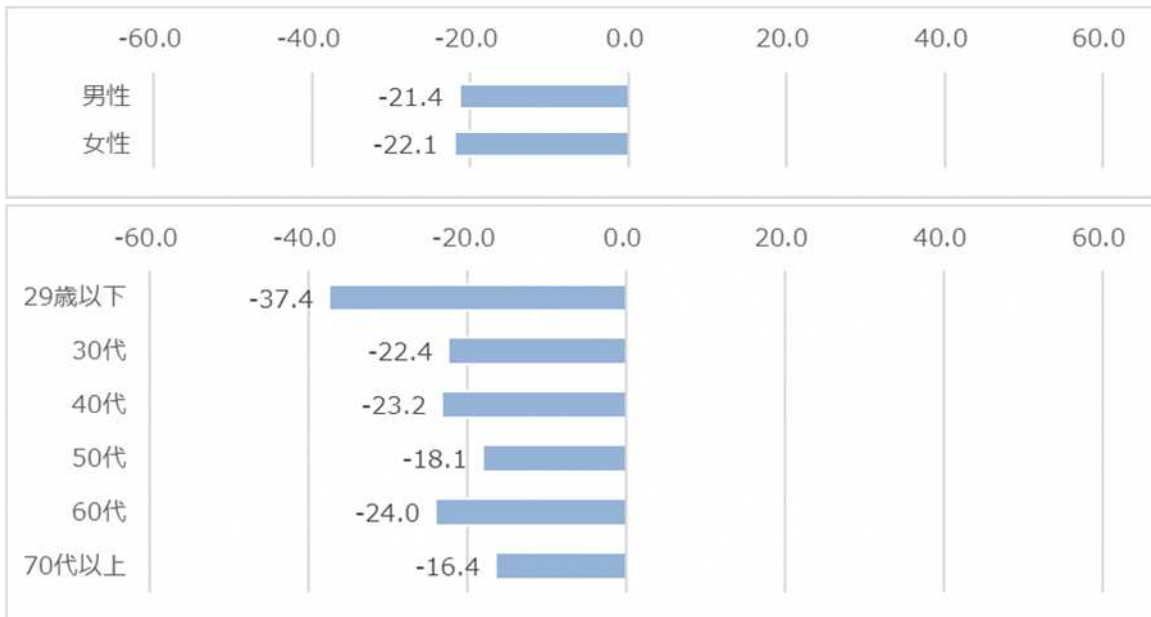
授業後・仕事あがりの時間を楽しむこと

- ・ 「29歳以下」及び「40代」のNPSが最も低くなった。
- ・ 「30代」のNPSは相対的に高くなっているが、「日頃楽しいと感じること」が家族中心の選択をしており、志向がやや異なることが影響していると考えられる。



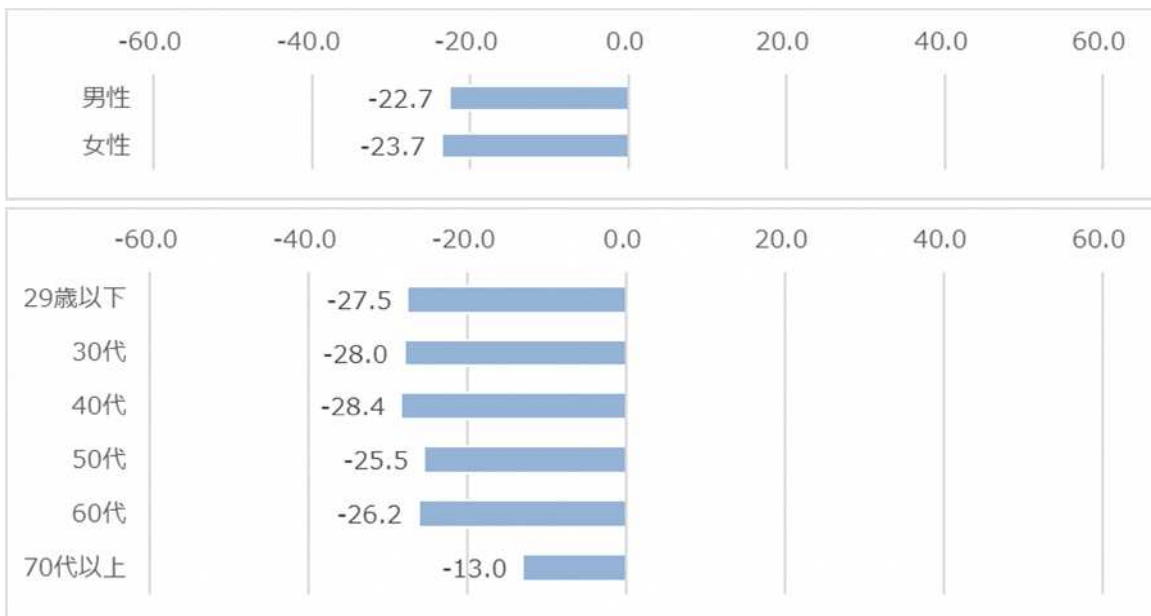
いろいろな人と交友を深めること

- ・ 「29歳以下」のNPSが他の年代と比較して突出して低い。



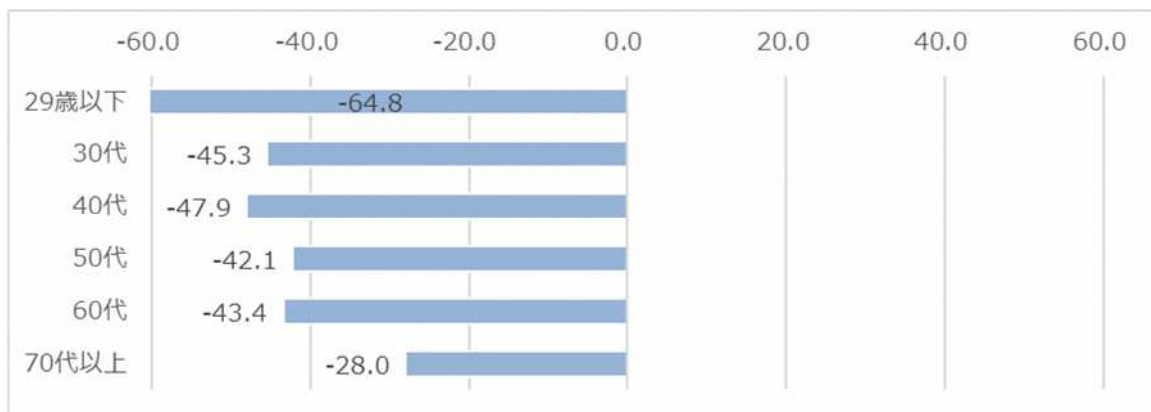
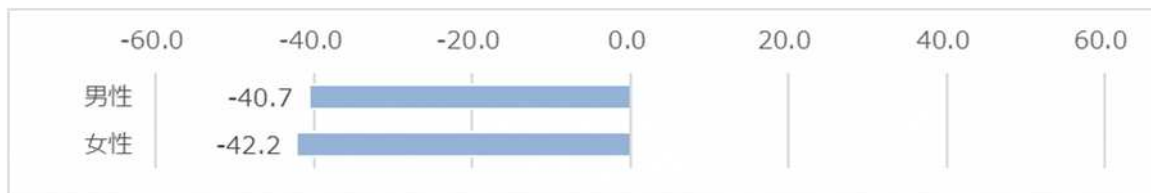
趣味や教養を深めること

- ・ 「70代以上」のNPSが他の年代と比較してやや高いことを除いて、性別・年代による違いはほとんど見られない。



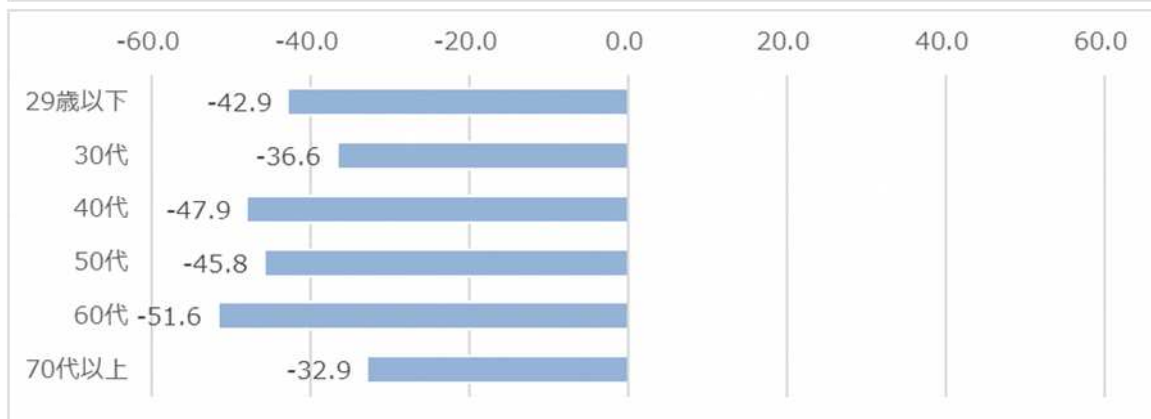
デートすること

- ・ 若い年代ほど NPS が低く、「29 歳以下」は-60 点を下回っており、他の年代でも 70 代以上を除き-40 よりも低くなっている。



多様性があること

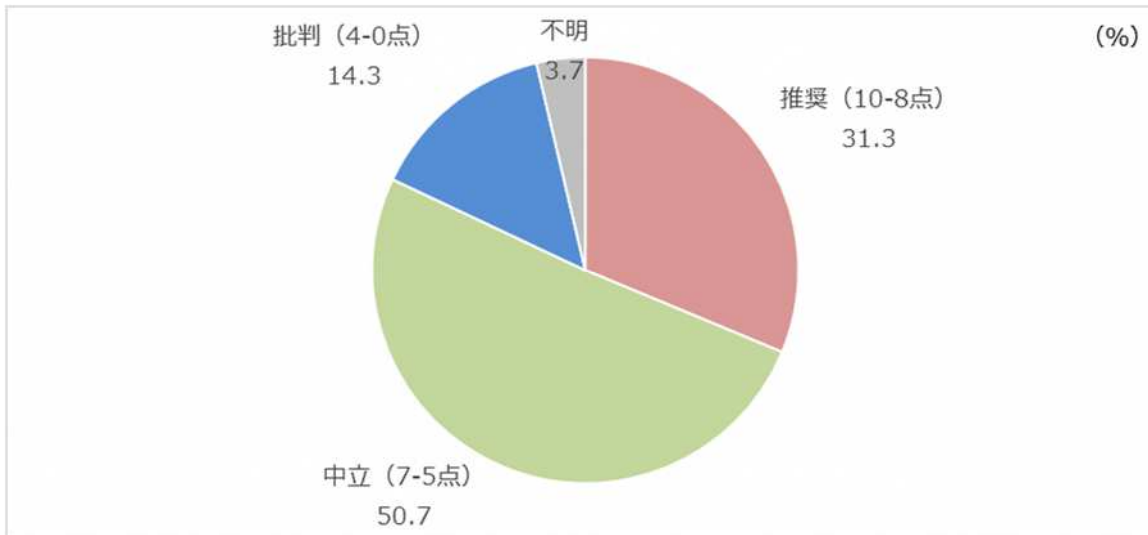
- ・ すべての年代で低くなっており、特に「60代」が低い。



11) 豊橋市のイメージ

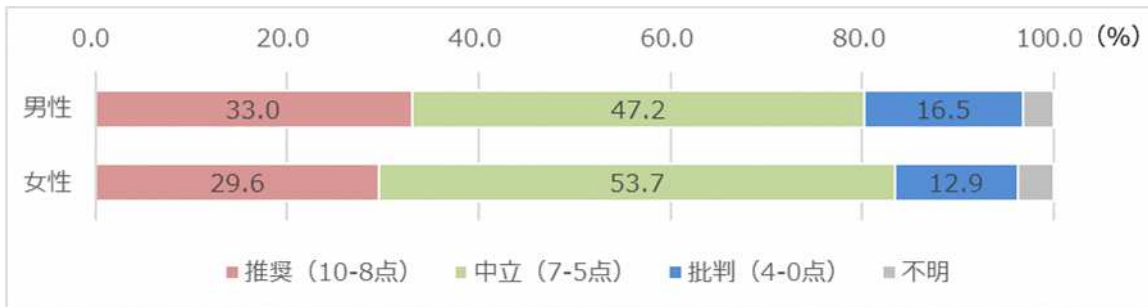
- ・ 豊橋市を友人・知人におすすめできるかについて、10点から0点までの点数を付けてもらい、推奨（10-8点）、中立（7-5点）、批判（4-0点）として振り分けた。
- ・ 推奨が約31%、批判が約14%となり、イメージをよいと考える市民が多い。

問 豊橋市のイメージの良さ



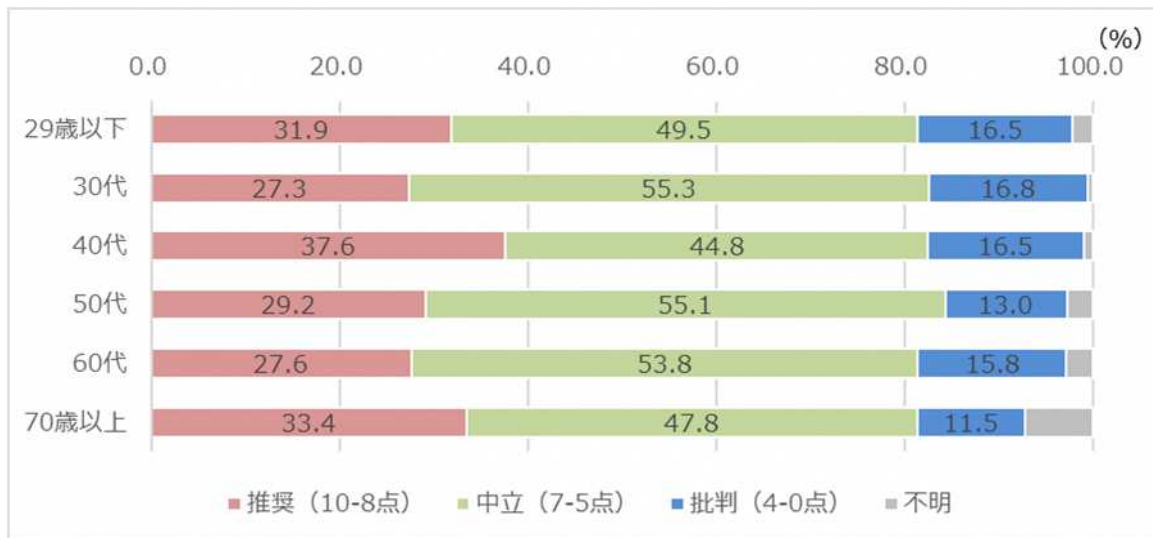
(男女別クロス集計結果)

- ・ 男性の方が女性よりも推奨、批判ともにわずかに多くなっている。



(年代別クロス集計結果)

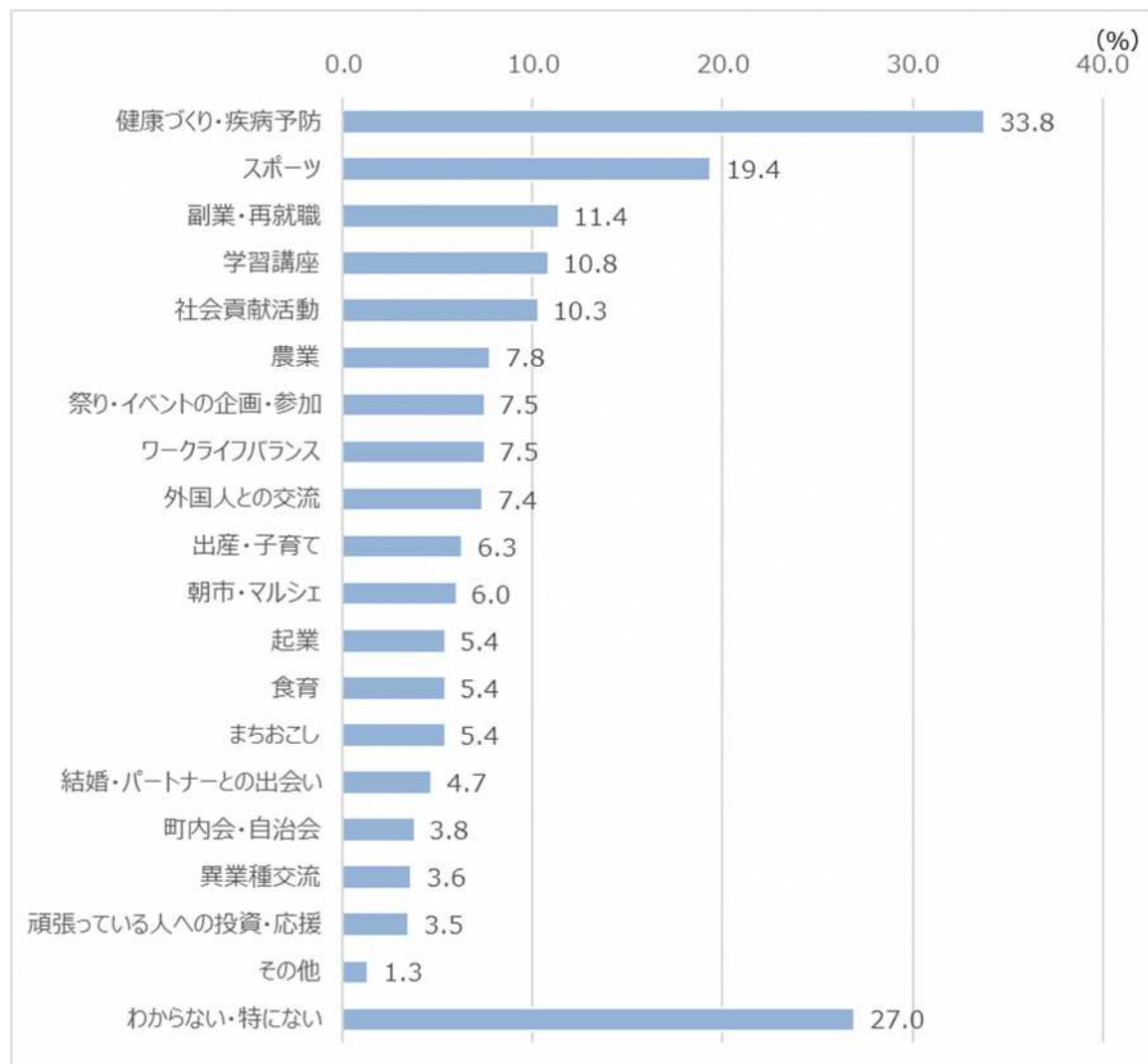
- ・ 「批判」の割合は年代による違いはほとんど見られない一方、「推奨」の割合は「40代」がやや高くなった。
- ・ 「愛着」や「誇り」、「お勧め度合い」の低い「29歳以下」及び「30代」は特別低いわけではなく、イメージを悪いとはとらえていない。



12) 今後やってみたいこと・興味のあること

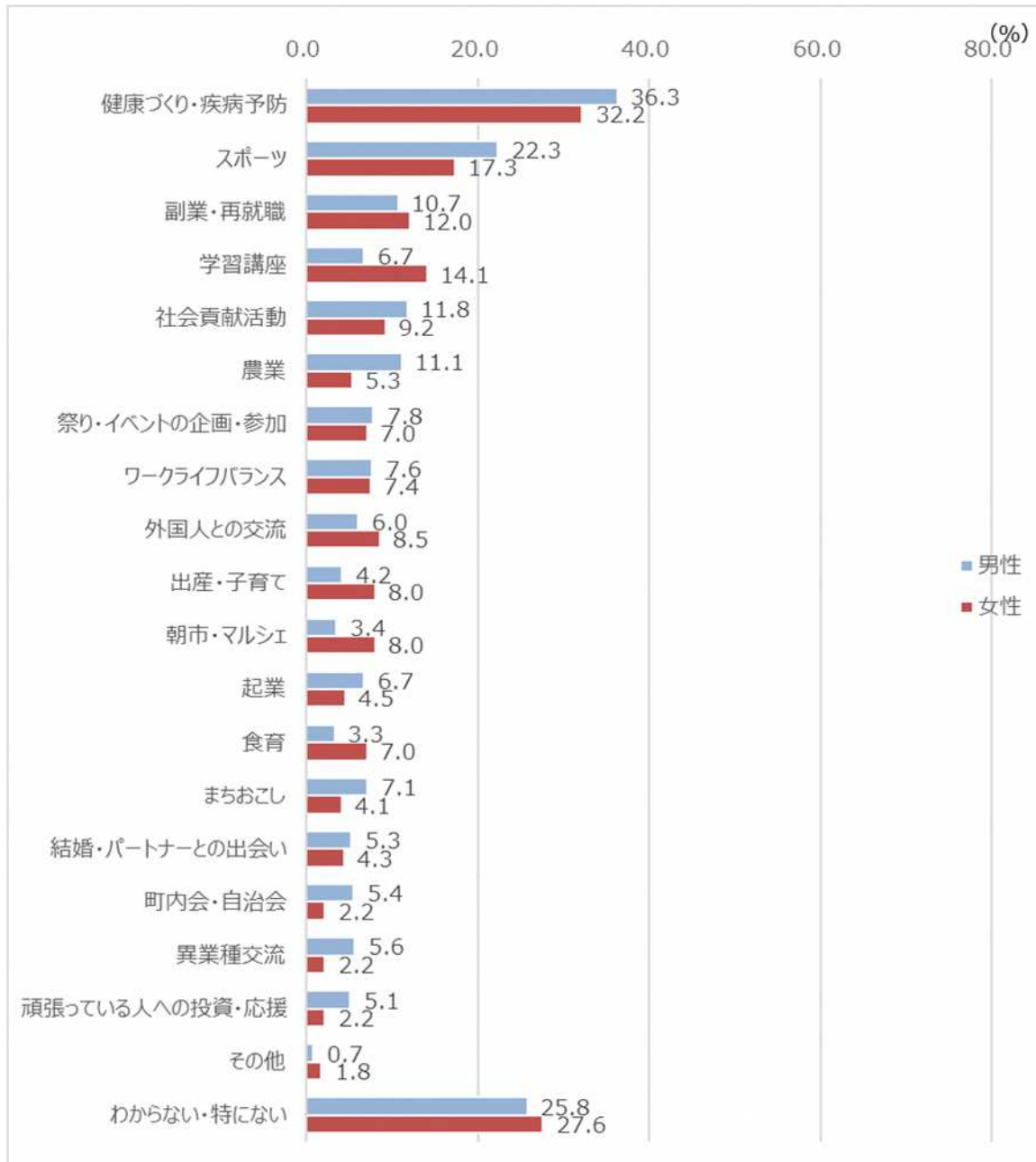
- ・ 「健康づくり・疾病予防」が約34%で最も多く、次いで「スポーツ」が約19%となり、健康に対する関心の高さがうかがえる。
- ・ この他、10%以上となったのは、「副業・再就職」、「学習講座」、「社会貢献活動」であった。

問 今後やってみたいこと・興味のあること（当てはまるものすべて）



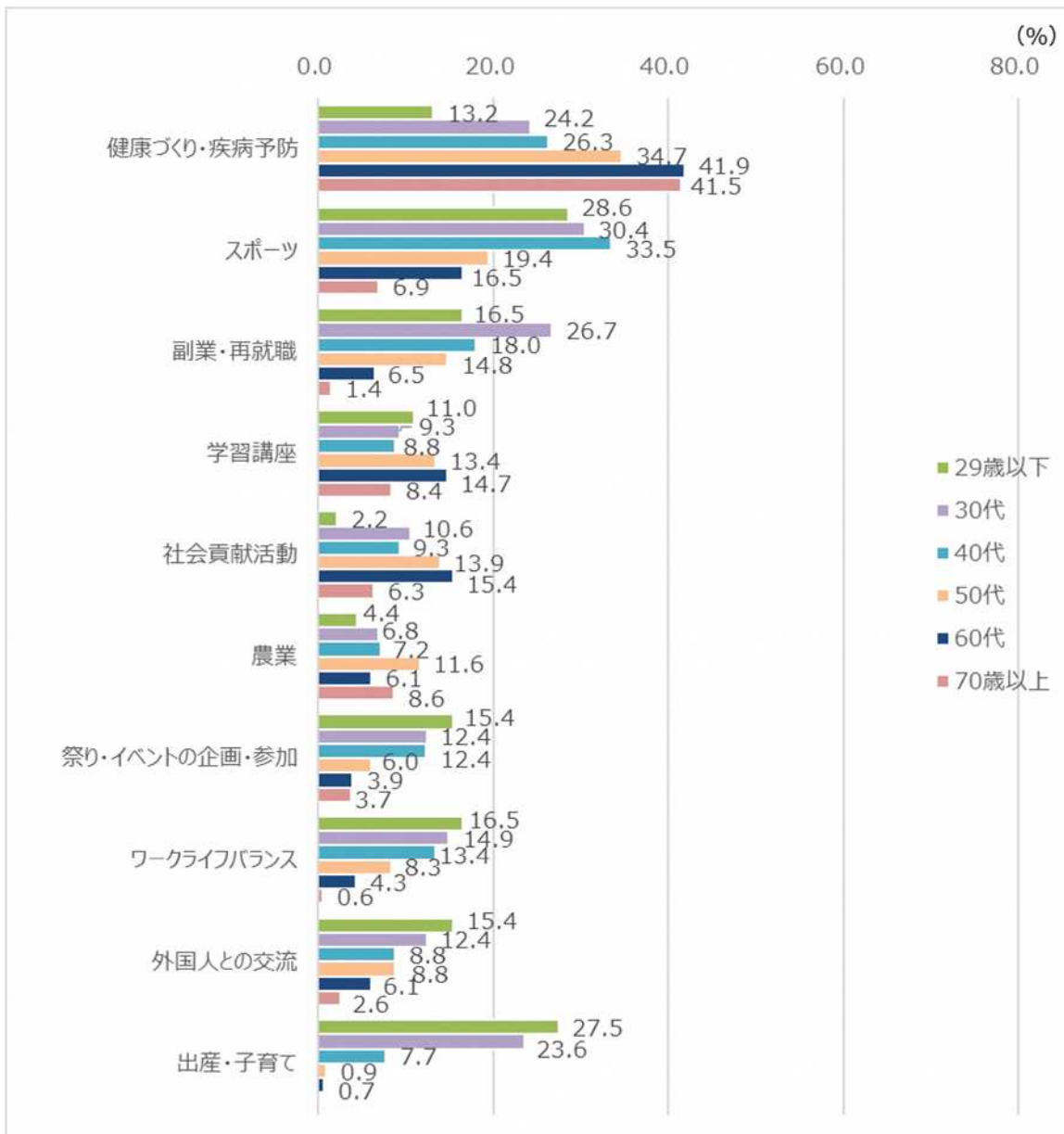
(男女別クロス集計結果)

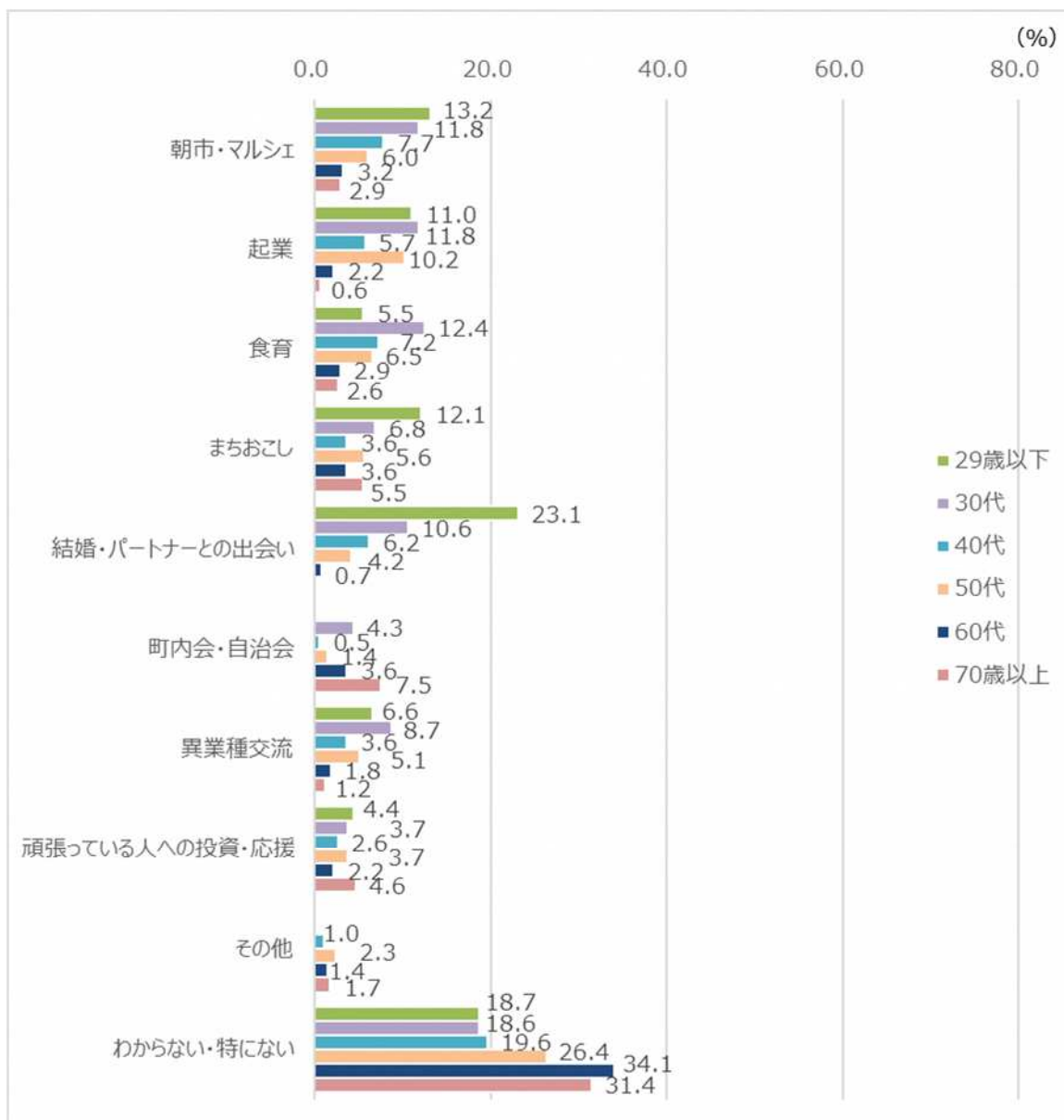
- ・ 「健康づくり・疾病予防」及び「スポーツ」は男性がやや高くなった。
- ・ 一方、女性は「学習講座」が3番目に高くなったが、男性の関心は低い。



(年代別クロス集計結果)

- ・ 上位2項目について、「健康づくり・疾病予防」は「60代」や「70代以上」が40%を超えたことをはじめ年配者の関心が高い。一方、「スポーツ」は「40代」や「30代」が30%を超えたことをはじめ、若い年代ほど関心が高くなっている。
- ・ 「副業・再就職」は「30代」で高くなったが、「学習講座」や「社会貢献活動」は年配層でやや高くなったものの、年代による大きな違いは見られない。
- ・ 「29歳以下」及び「30代」では「出産・子育て」が20%を超え、また、「29歳以下」では「結婚・パートナーとの出会い」も20%を超えており、若い年代において結婚や出産、子育てに関心高いことがうかがえる。
- ・ この他、「29歳以下」はじめ若い年代に関心の高い項目が多く、「祭り・イベント」や「ワークライフバランス」、「外国人との交流」、「朝市・マルシェ」、「食育」。「まちおこし」など、関心が多様化していることがうかがえる。

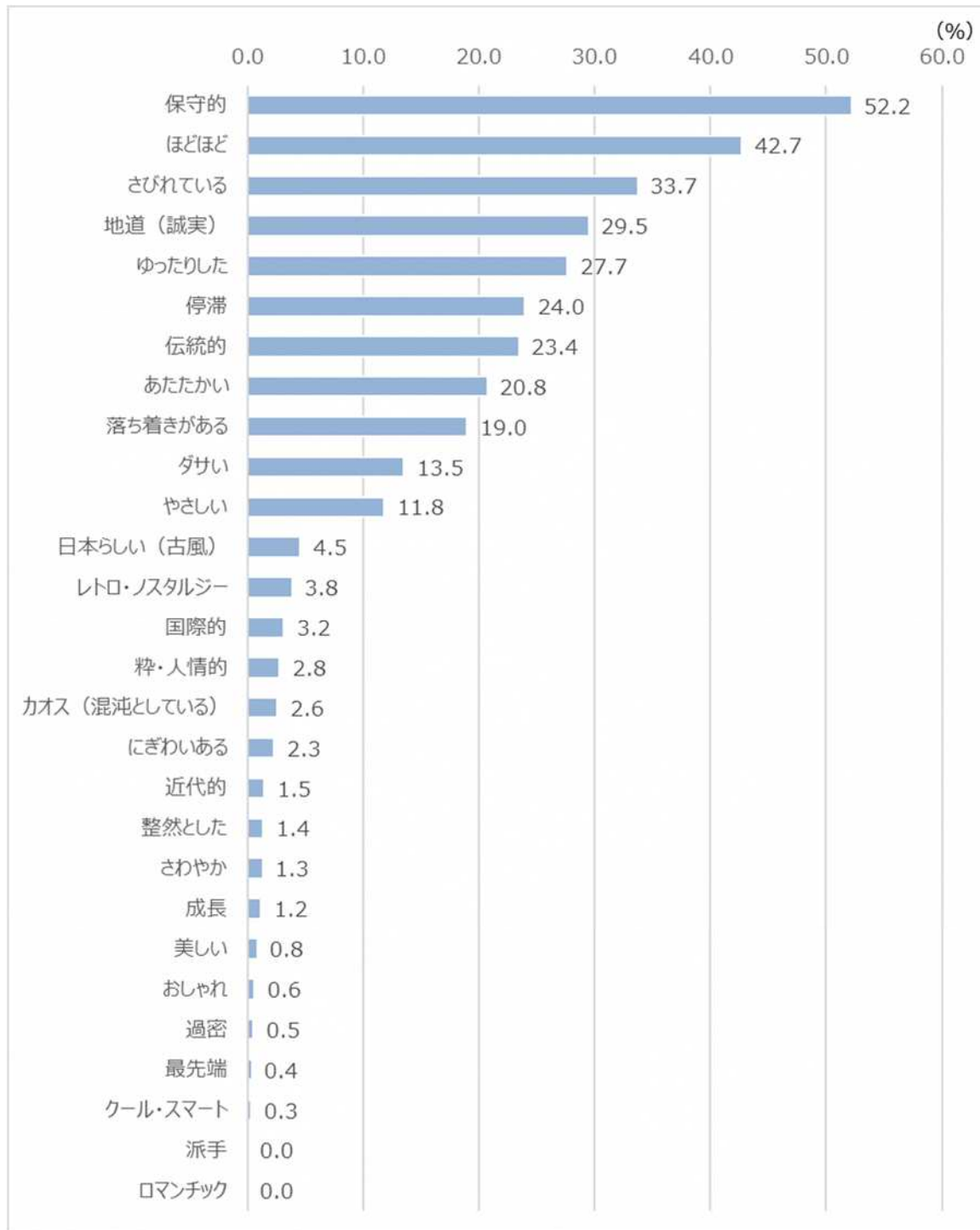




13) 豊橋市にあてはまると思うイメージ

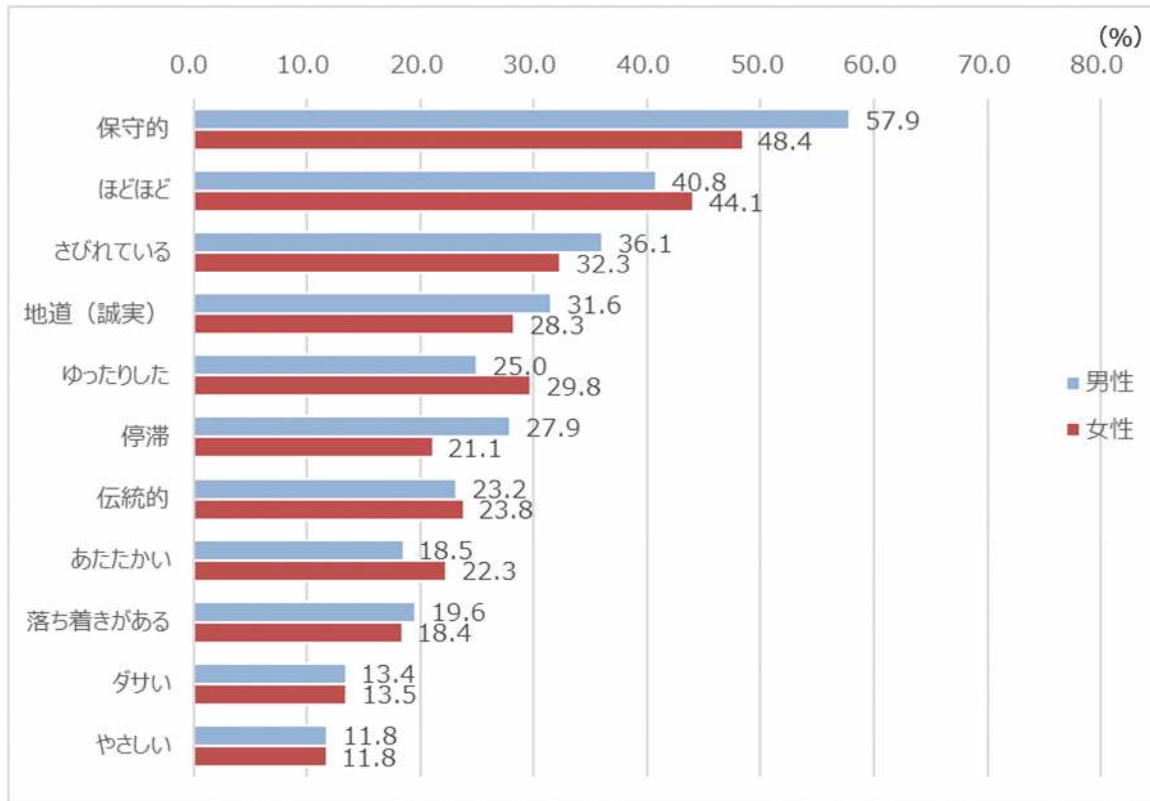
- ・ 上位となったのは、「保守的」が約 52%、「さびれている」が約 34%、「停滞」が約 24%となり、ネガティブなイメージが上位にみられる。
- ・ 一方、「ほどほど」が約 43%、「地道（誠実）」が約 30%、「ゆったりした」が約 28%と、派手さはないものの、落ち着きを連想させる前向きなイメージも選択されている。

問 豊橋市にあてはまると思うイメージ（当てはまるものすべて）



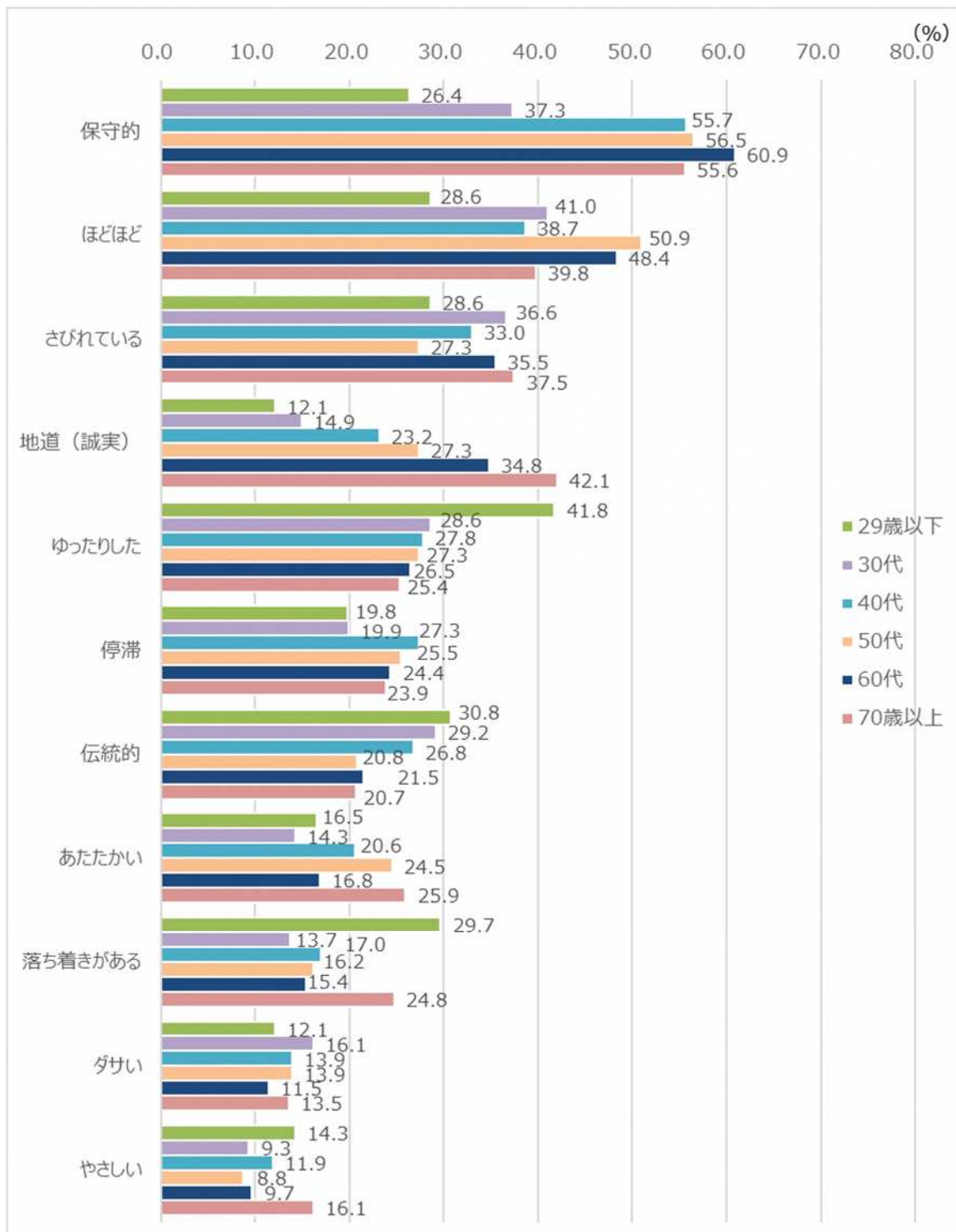
(男女別クロス集計結果)

- ・ 上位となった項目のうち、「保守的」は男女ともに第1位となり、特に男性の割合が高い。この他、「さびれている」や「停滞」などネガティブなイメージは男性が女性を上回っている。
- ・ 一方、女性は「ほどほど」や「ゆったりした」、「あたたかい」などポジティブなイメージは男性をやや上回った。



(年代別クロス集計結果)

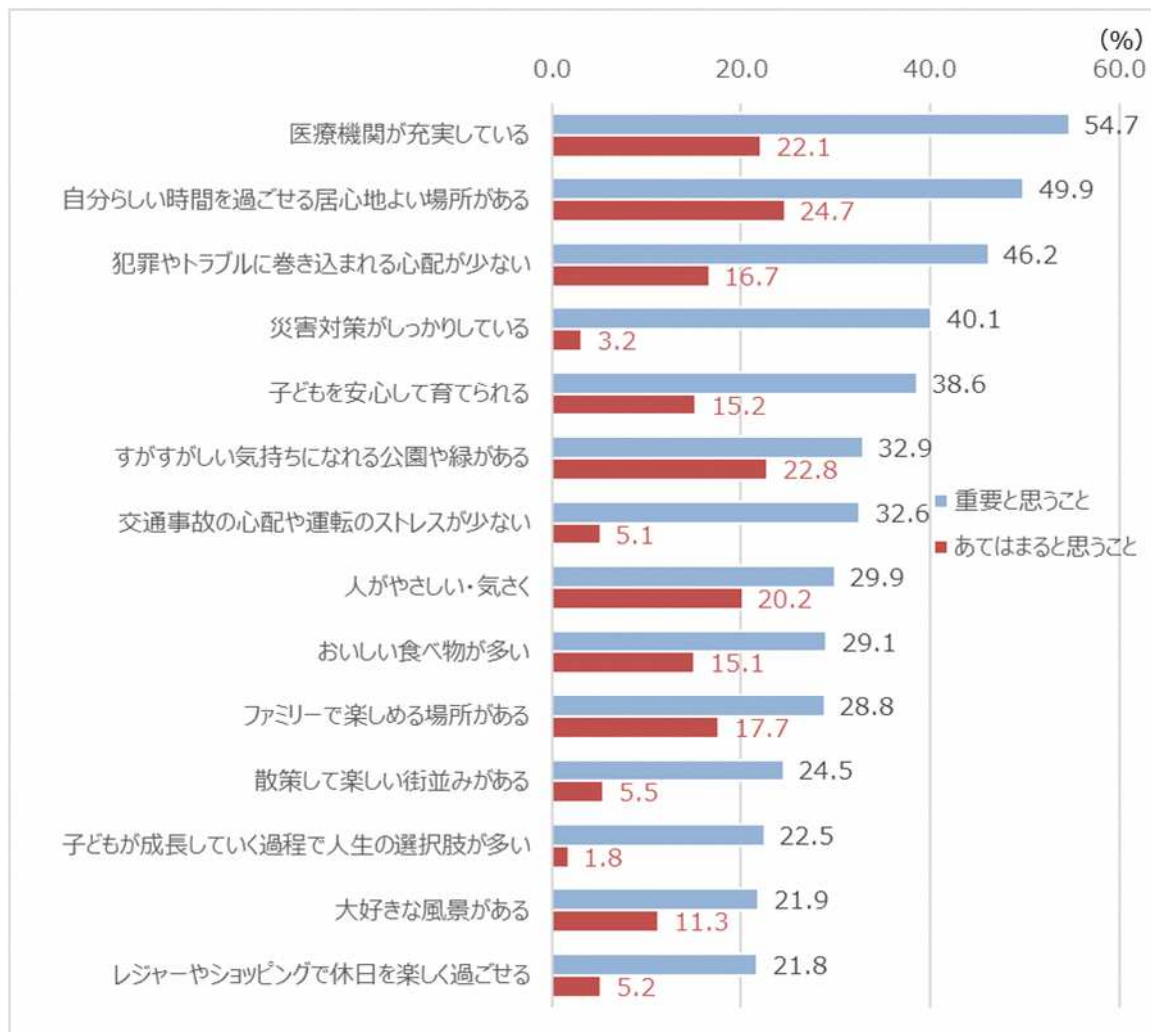
- ・ 上位2項目となった「保守的」及び「ほどほど」はおおむね年代が高まるほど高くなる傾向にあるが、「29歳以下」は20%代でそれほど高くない。
- ・ 「29歳以下」の上位となった項目は、「ゆったりした」、「伝統的」、「落ち着きがある」の順となり、他の年代とは大きく異なる。この年代については豊橋市に対するネガティブなイメージは薄いことがうかがえる。



14) 豊橋市で暮らしていくうえで重要と思うこと、豊橋市にあてはまると思うこと

- ・ 暮らしていくうえで重要と思うことは、「医療機関が充実している」が約 55%、「犯罪やトラブルに巻き込まれる心配が少ない」が約 46%、「災害対策がしっかりしている」が約 40%となり、安全・安心を重視していることがうかがえる。
- ・ この他、「自分らしい時間を過ごせる居心地よい場所がある」が約 50%、「子どもを安心して育てられる」が約 39%と高い。
- ・ これらのうち「医療機関が充実している」や「自分らしい時間を過ごせる居心地よい場所がある」は、豊橋市にあてはまると思う割合が 20%を超えており、豊橋市で暮らす魅力になっている。
- ・ 「ふらっと名古屋に遊び・買い物に行くことができる」や「古くから伝わる祭・伝統行事で盛り上がる」は重要と思う割合で上位でないものの、あてはまる割合が上回っており、暮らしていくための条件として備わっていると考える人が多い。

問 豊橋市で暮らしていくうえで重要と思うこと、豊橋市にあてはまると思うこと（当てはまるものすべて）



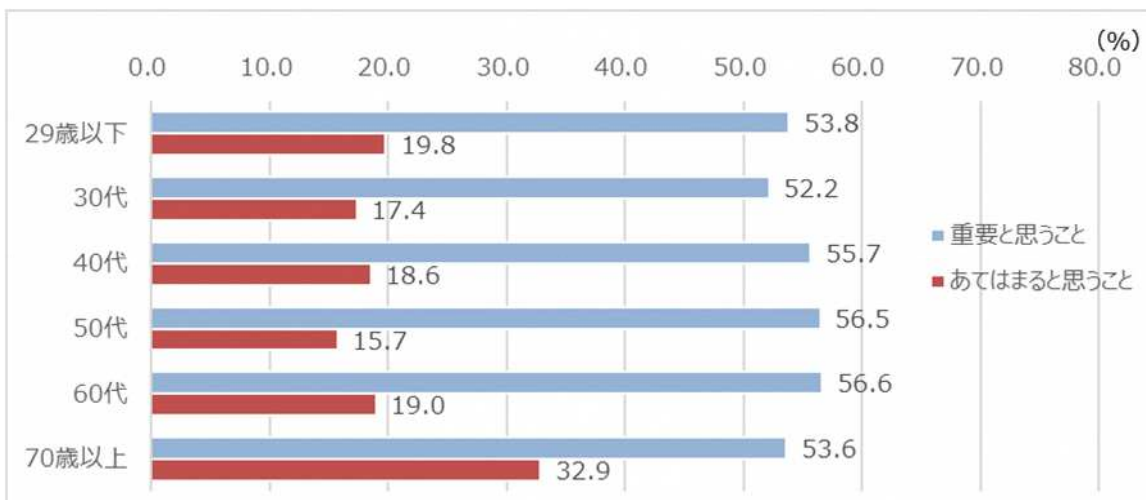
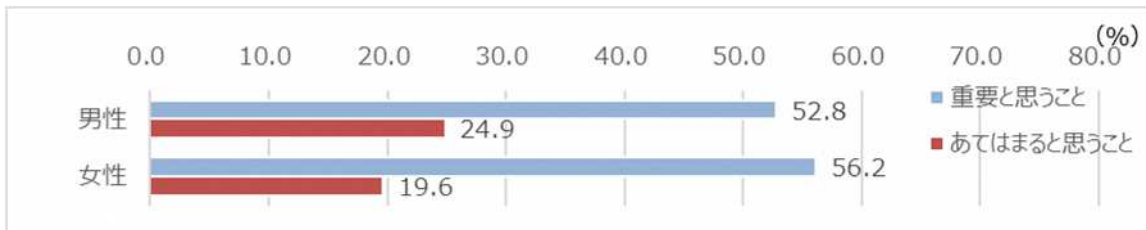


◆項目別クロス集計

「重要と思うこと」上位 10 項目と属性による傾向が見られた項目について整理した。

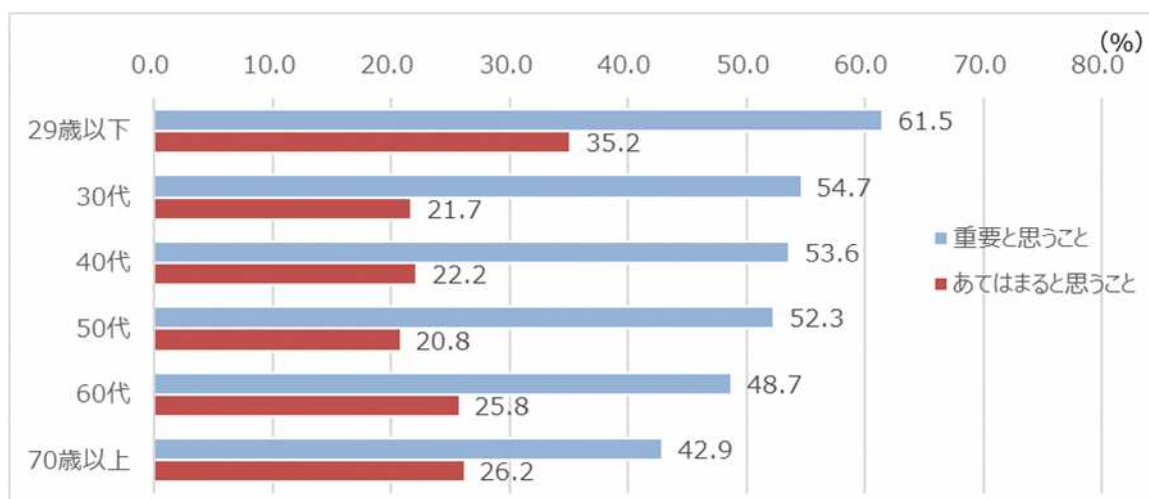
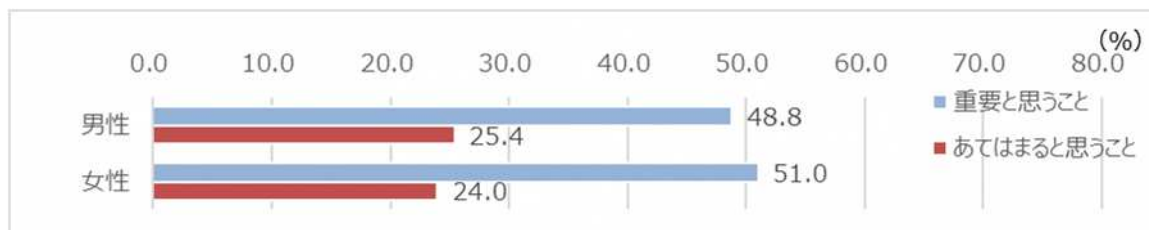
医療機関が充実している

- ・ 「重要と思う」は性別・年代による大きな違いは見られない。
- ・ 「あてはまると思う」は「70 代以上」のみ 30%を超えて高くなったが、他の年代はいずれも 20%を下回っており、年代による認識の違いが大きい。



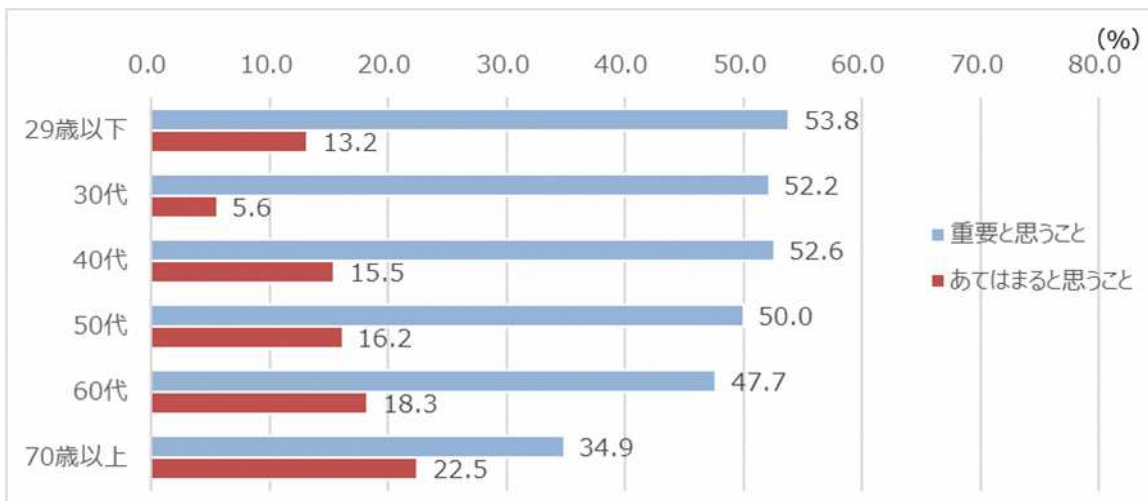
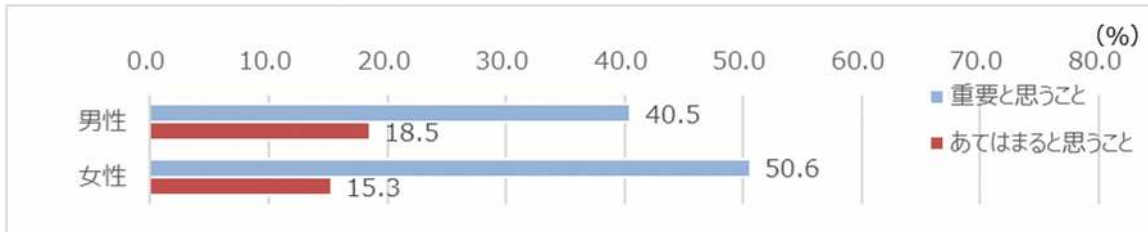
自分らしい時間を過ごせる居心地よい場所がある

- ・ 性別による大きな違いは見られない。
- ・ 若い年代ほど「重要と思う」が高くなる傾向がうかがえる。特に「29歳以下」では60%を超えており、全項目の中で最も重要とされている。
- ・ この「29歳以下」では「あてはまると思う」も約35%となり、他の年代と比較して突出して高くなった。若い年代の多くが、「自分らしい時間を過ごせる居心地よい場所」を求めており、そうした場所を見出していることがうかがえる。



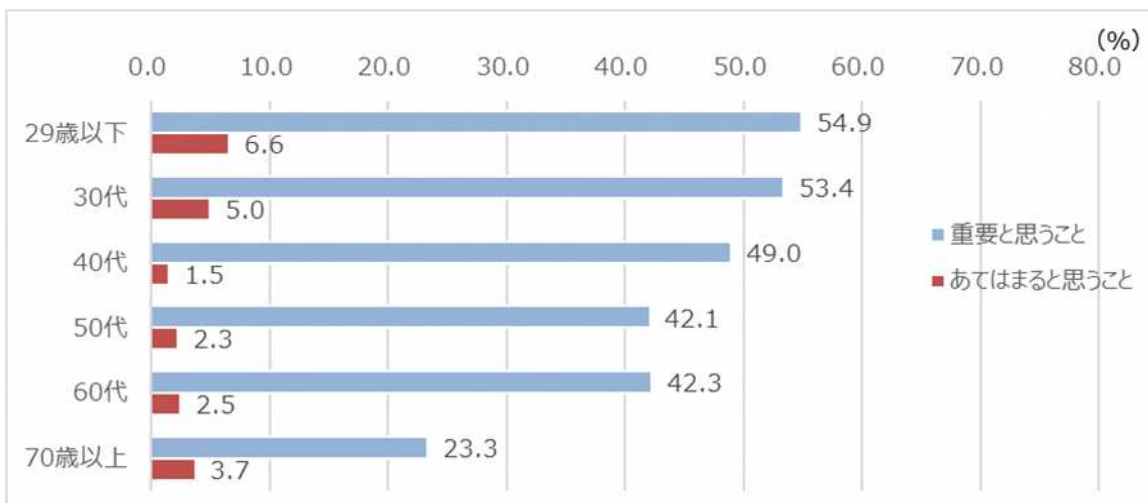
犯罪やトラブルに巻き込まれる心配が少ない

- ・ 「女性」は「男性」と比較して「重要と思う」割合が高く、また、若い年代ほど高くなる傾向が見られる。
- ・ 一方、「あてはまると思う」は「男性」と比較して「女性」が低く、若い年代ほど低くなっている。



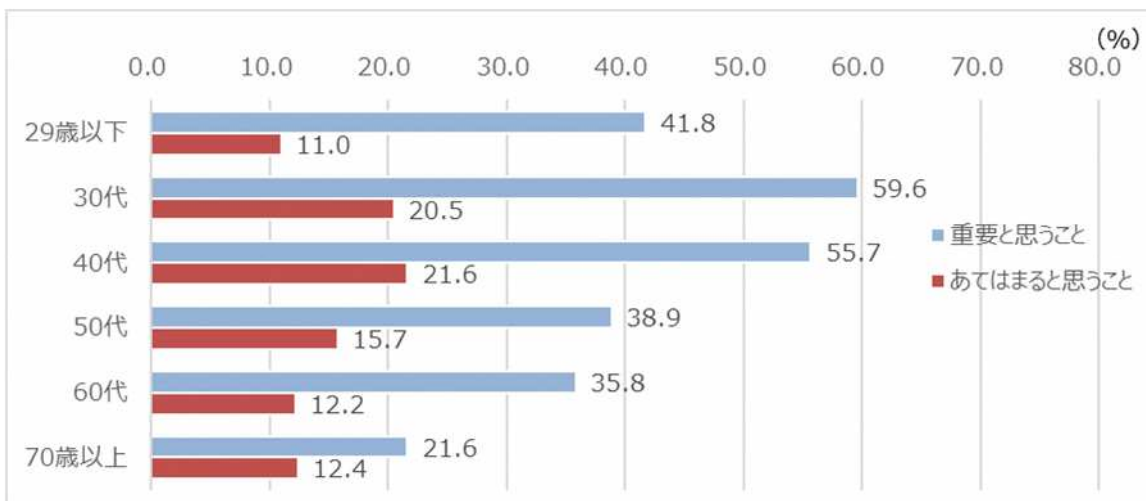
災害対策がしっかりしている

- ・ 「犯罪やトラブルに巻き込まれる心配が少ない」と同様に、「女性」は「男性」と比較して「重要と思う」割合が高く、また、若い年代ほど高くなる傾向が見られる。
- ・ 一方、「あてはまると思う」はいずれの属性も10%以下であり、災害対策がしっかりしているとは見なされていないことがうかがえる。



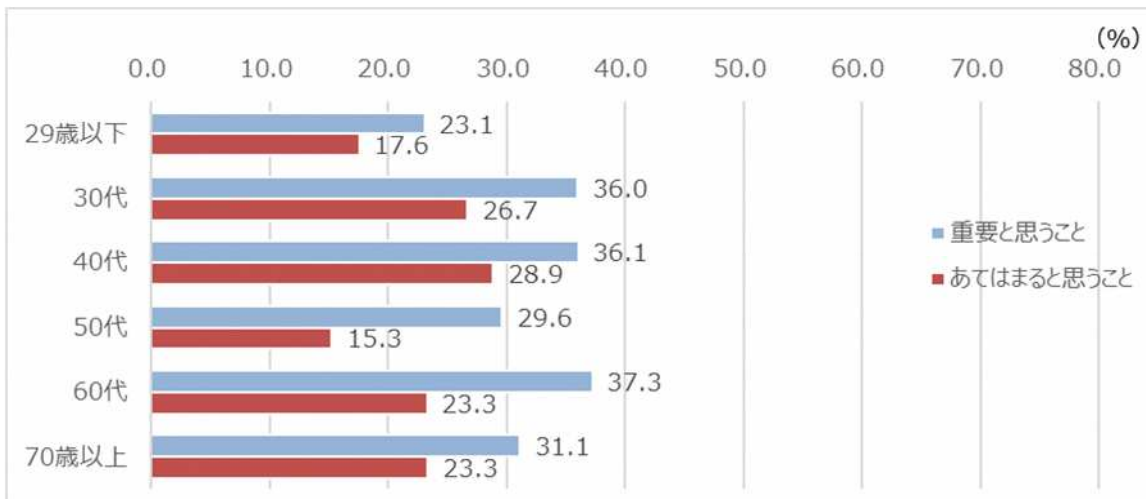
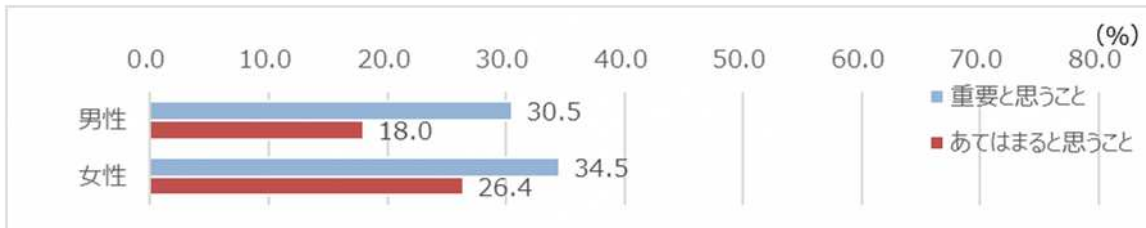
子どもを安心して育てられる

- ・ 「女性」は「男性」と比較して「重要と思う」割合が高い。また、年代別では「30代」や「40代」の子育ての中心的な年代が突出して高くなった。
- ・ 「あてはまると思う」割合も同様に、「女性」は「男性」と比較して高い。また、年代別では「30代」、「40代」が最も高くなり、子育て世代から評価されていることがうかがえる。



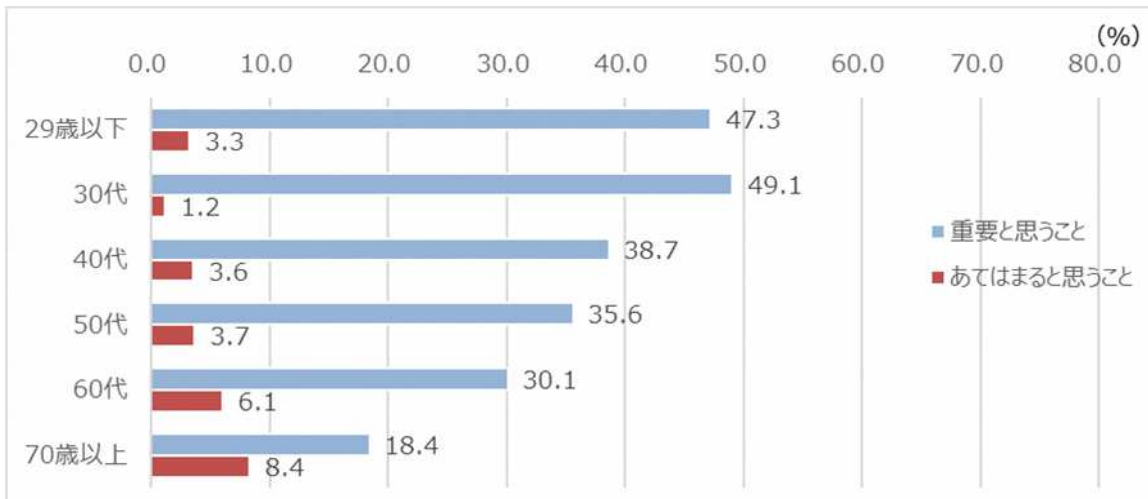
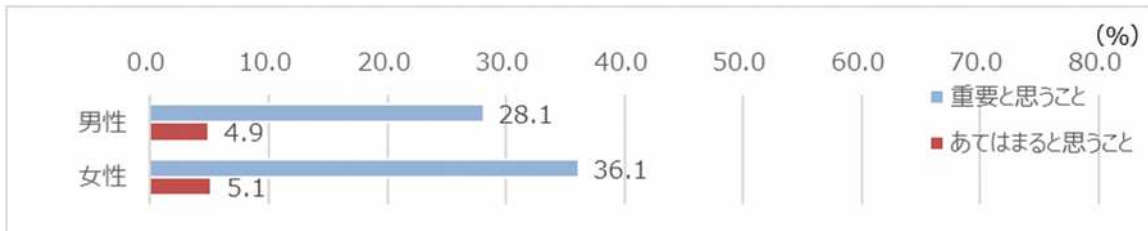
すがすがしい気持ちになれる公園や緑がある

- ・ 「女性」は「男性」と比較して「あてはまると思う」割合がやや高いものの、性別による大きな違いは見られない。
- ・ 「重要と思う」は、「30代」や「40代」、「60代」が40%近くとなり他の年代と比較してやや高くなる傾向が見られた。
- ・ 全ての属性において「あてはまると思う」が高くなったが、特に「30代」や「40代」でやや高くなる傾向にあり、重要と思う人から評価されていることがうかがえる。



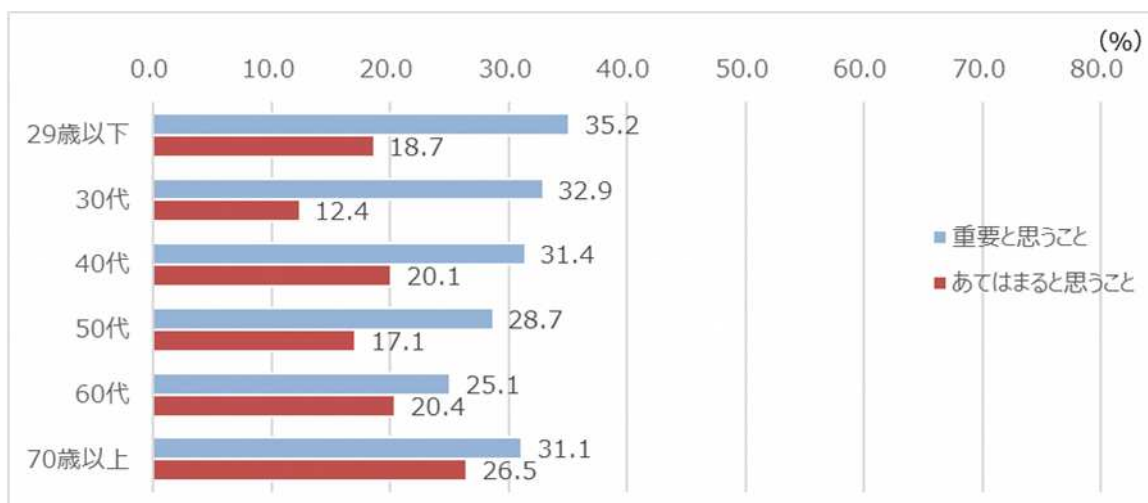
交通事故の心配や運転のストレスが少ない

- ・ 「女性」は「男性」と比較して「重要と思う」割合がやや高いものの、性別による大きな違いは見られない。
- ・ 「重要と思う」は、「29歳以下」や「30代」が50%近くなり、若い年代ほど高くなる傾向が見られる。
- ・ 「あてはまると思う」は「70代以上」が最も高いものの、いずれの属性も10%以下であり低い。



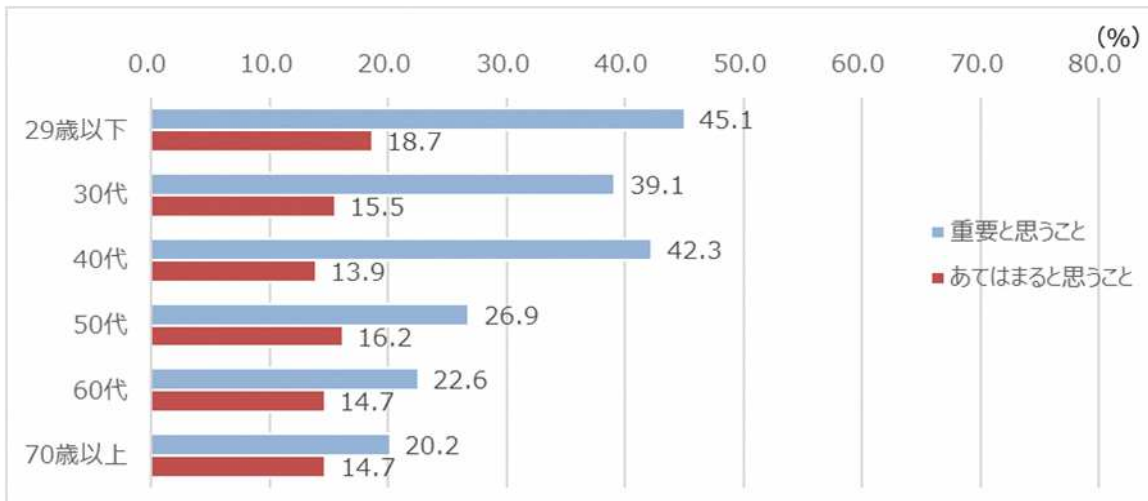
人がやさしい・気さく

- ・ 「重要と思う」は、「女性」が「男性」と比較して10ポイントあまり高くなった。一方、「あてはまると思う」は男女による違いが見られない。
- ・ また、年代別にみると、「重要と思う」については若い年代ほど高くなる傾向にあるものの、「あてはまると思う」は若い年代ほど低くなり、重要とする年代ほど評価していない。



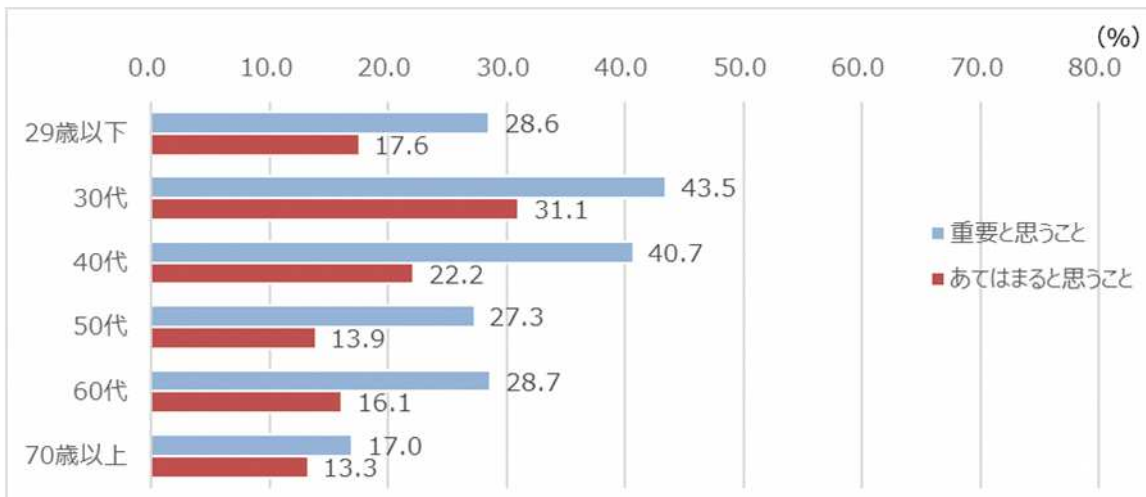
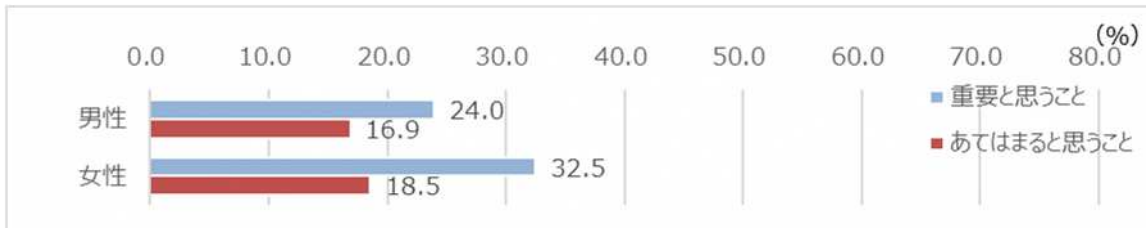
おいしい食べ物が多い

- ・ 「女性」は「男性」と比較して「重要と思う」割合がやや高いものの、性別による大きな違いは見られない。
- ・ 「重要と思う」は、「40代」より若い世代では40%前後と高く重視されている一方、「50代」より年配の世代では20%代で殆ど重視されていない。
- ・ 「あてはまると思う」は年代による違いが見られない。



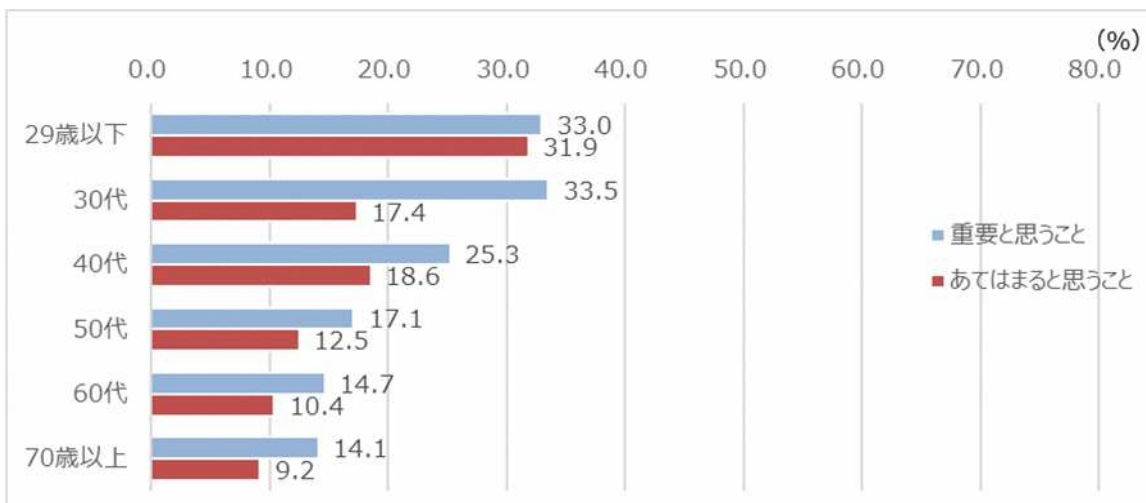
ファミリーで楽しめる場所がある（大きな公園、飲食店など）

- ・ 「女性」は「男性」と比較して「重要と思う」割合がやや高いものの、性別による大きな違いは見られない。
- ・ 「重要である」は「30代」や「40代」が40%を超えて高く、子育ての中心的な年代が突出して高くなった。
- ・ 「あてはまると思う」も「30代」や「40代」が最も高くなり、重要と考える人から最も評価されていることがうかがえる。



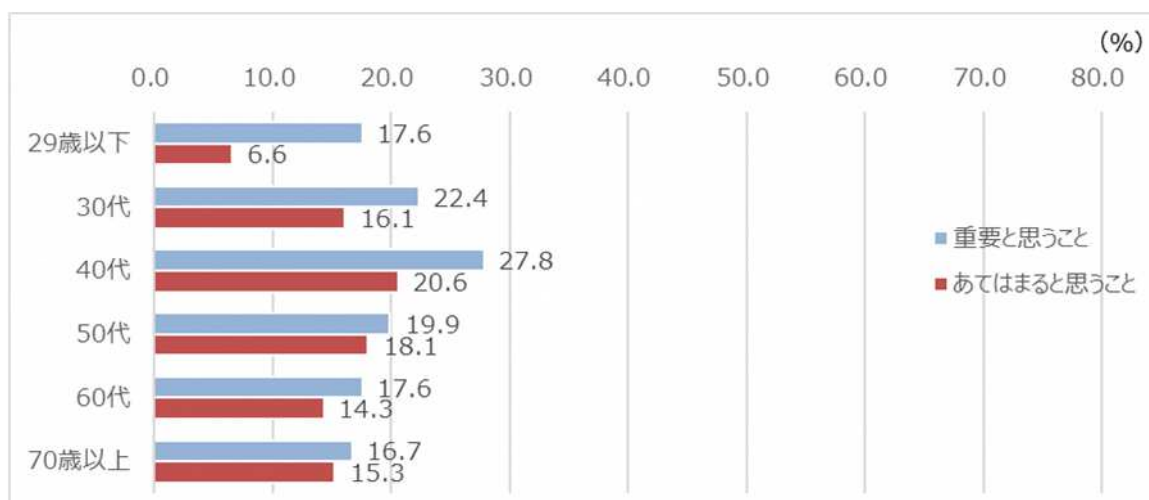
友達や職場の仲間と盛り上がる飲食店がある

- ・ 性別による大きな違いは見られない。
- ・ 「重要である」は「29歳以下」や「30代」の若い年代で30%を超えて高くなった。うち「29歳以下」では「あてはまると思う」も30%を超えた。一方、「30代」は10%代にとどまっており、「29歳以下」と「30代」においても飲食店に対するニーズが異なると考えられる。



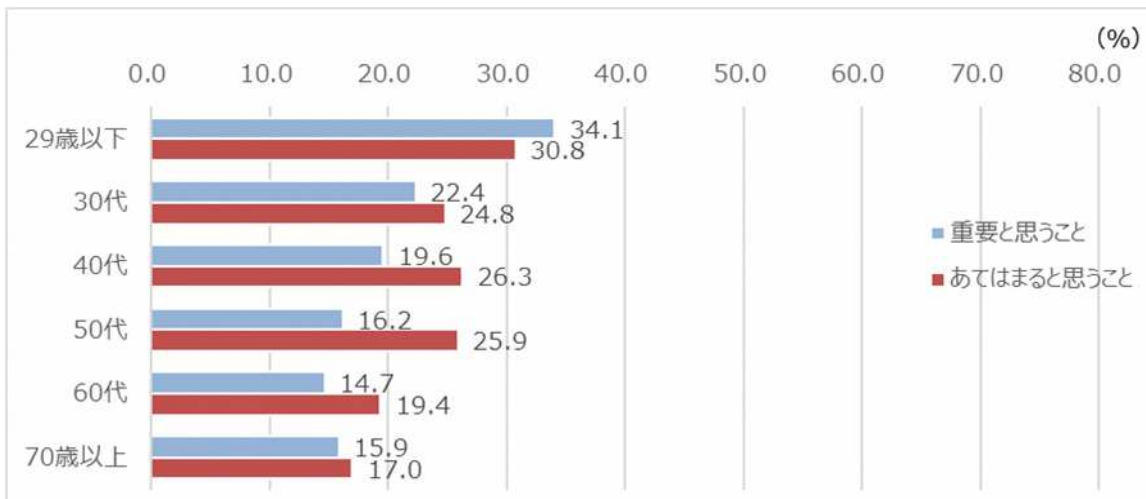
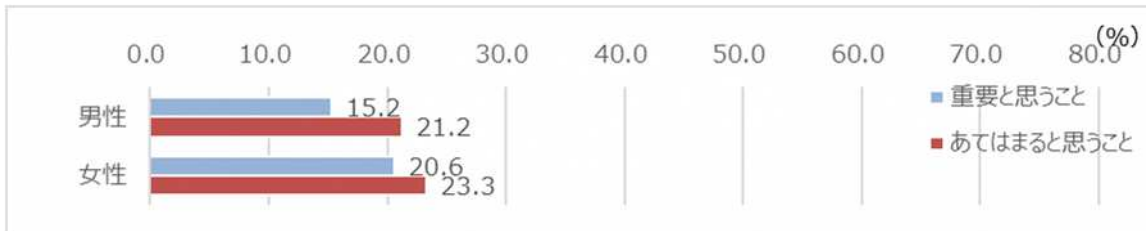
リフレッシュできる海や水辺がある

- 「重要である」は「男性」や「40代」が他の性別、年代と比較してやや高くなった。「男性」や「40代」は「あてはまると思う」もやや高くなったが、他の性別、年代から突出してなく、それほど評価されているとは言えない。



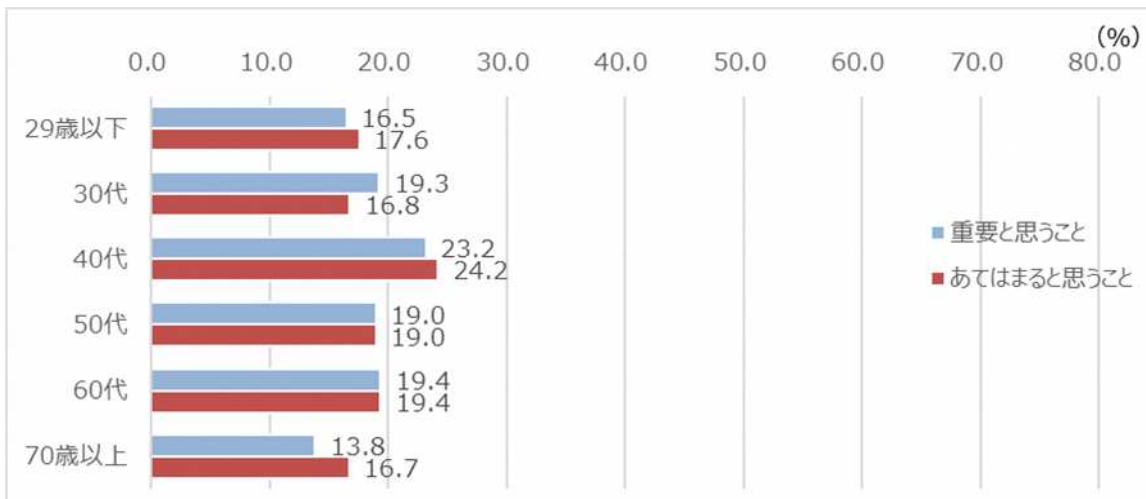
ふらっと名古屋に遊び・買い物に行くことができる

- ・ 「女性」は「男性」と比較して「重要と思う」割合がやや高いものの、性別による大きな違いは見られない。
- ・ 「重要である」は「29歳以下」が30%を超えて他の年代と比較して突出して高くなり、若い年代固有の重要事項であることがうかがえる。
- ・ 「あてはまると思う」も「29歳以下」は30%を超えており、若い世代において、ふらっと名古屋に遊び・買い物に行けることが豊橋市の魅力の一つであるとみることができる。



古くから伝わる祭・伝統行事で盛り上がる

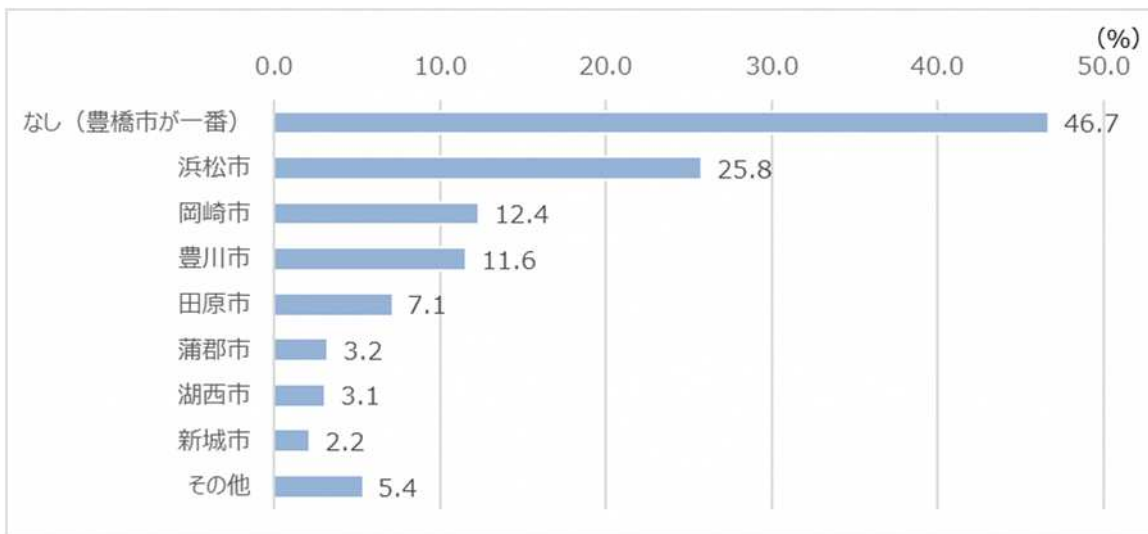
- ・ 「女性」は「男性」と比較して「重要と思う」割合がやや高いものの、性別による大きな違いは見られない。
- ・ 「重要である」は「40代」が他の年代と比較してやや高くなる傾向がみられるが、全体ではそれほど重要度の高いものではない。
- ・ 「あてはまると思う」はすべての属性において「重要である」と同等もしくは上回っており、重要とする人が期待する水準に達しているとみることができる。



15) 豊橋市よりも暮らしやすそうだと思う近隣のまち

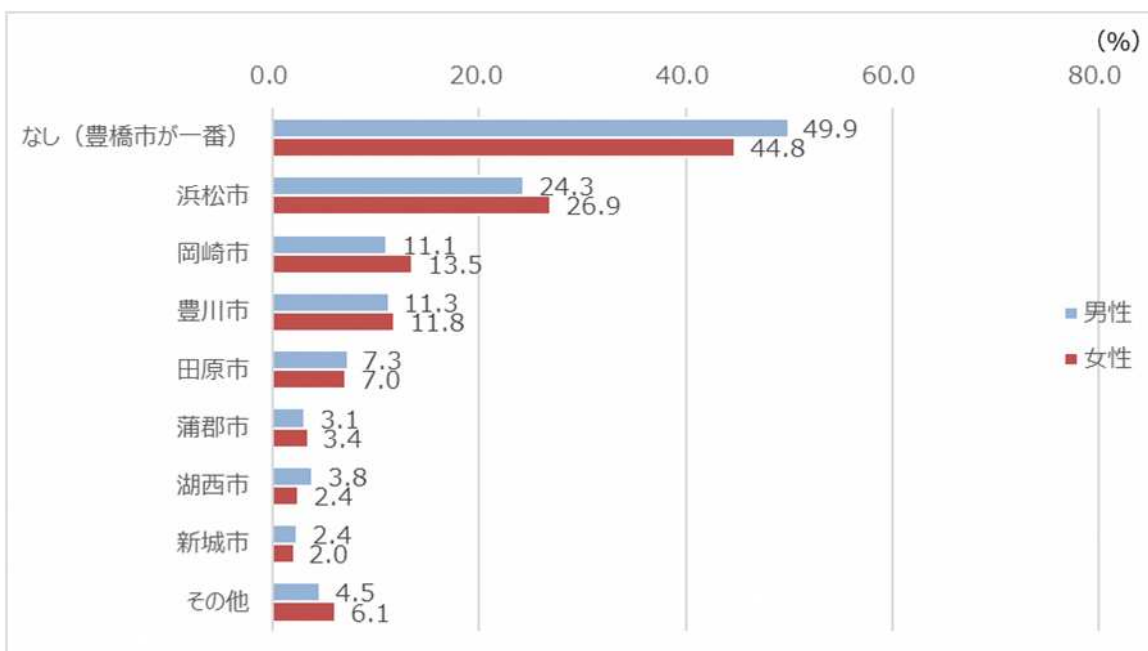
- ・ 「なし（豊橋市が一番）」が約 47%で最も多く、ほぼ半数の市民が豊橋市が最も暮らしやすいと考えている。
- ・ 豊橋市以外で選択されたところは、「浜松市」が約 26%、「岡崎市」が約 12%であり、豊橋市よりも人口の多い都市が選択されている。
- ・ 実際に転出の多い「豊川市」は約 12%、「田原市」は約 7%にとどまり、暮らしやすさを理由に転出している市民は少ないと考えられる。

問 豊橋市よりも暮らしやすそうだと思う近隣のまち（当てはまるものすべて）



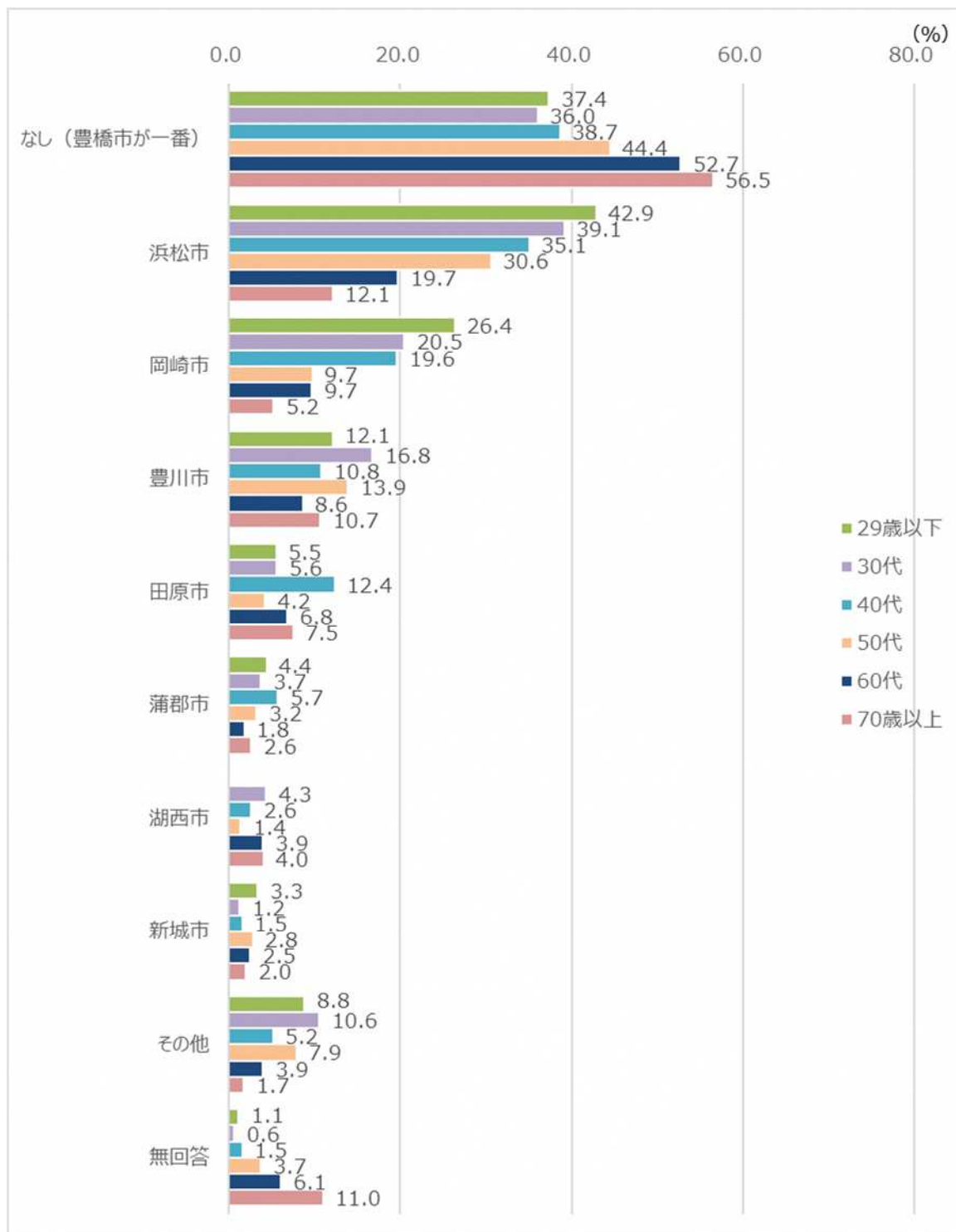
（男女別クロス集計結果）

- ・ 男女による違いはほとんど見られないが、「浜松市」や「岡崎市」を選択したのは女性の方が多い。



(年代別クロス集計結果)

- ・ 「なし（豊橋市が一番）」は年代が高まるほど高くなる傾向にあり、「60代」及び「70代以上」では50%を超えている。
- ・ 「29歳以下」及び「30代」では「なし（豊橋市が一番）」よりも「浜松市」が上回っており、若い世代は豊橋市よりも浜松市が暮らしやすいと考えていることがうかがえる。

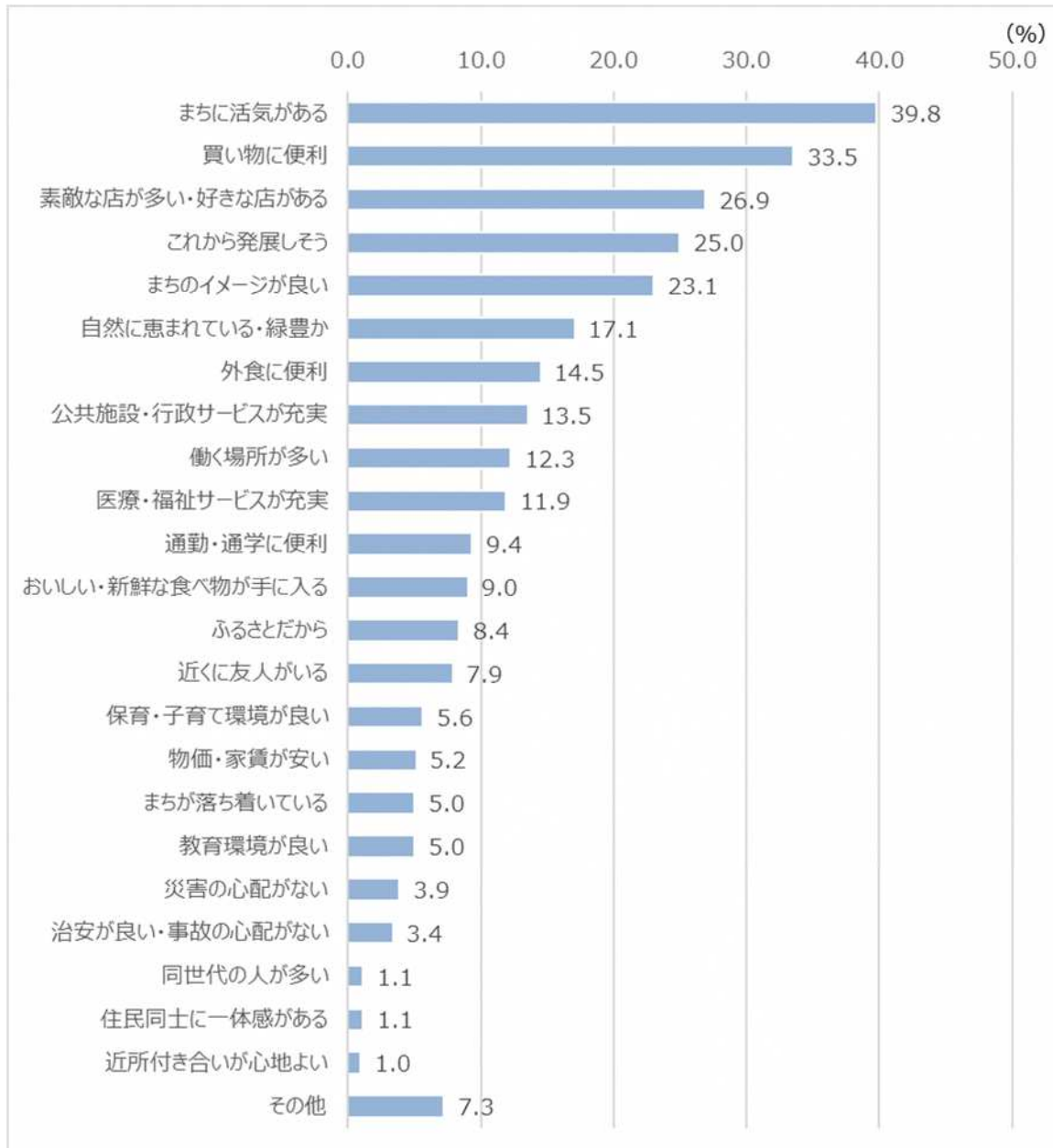


※前問で「なし（豊橋市が一番）」以外を選択した人に対する限定設問

16) 豊橋市より暮らしやすそうと思った理由

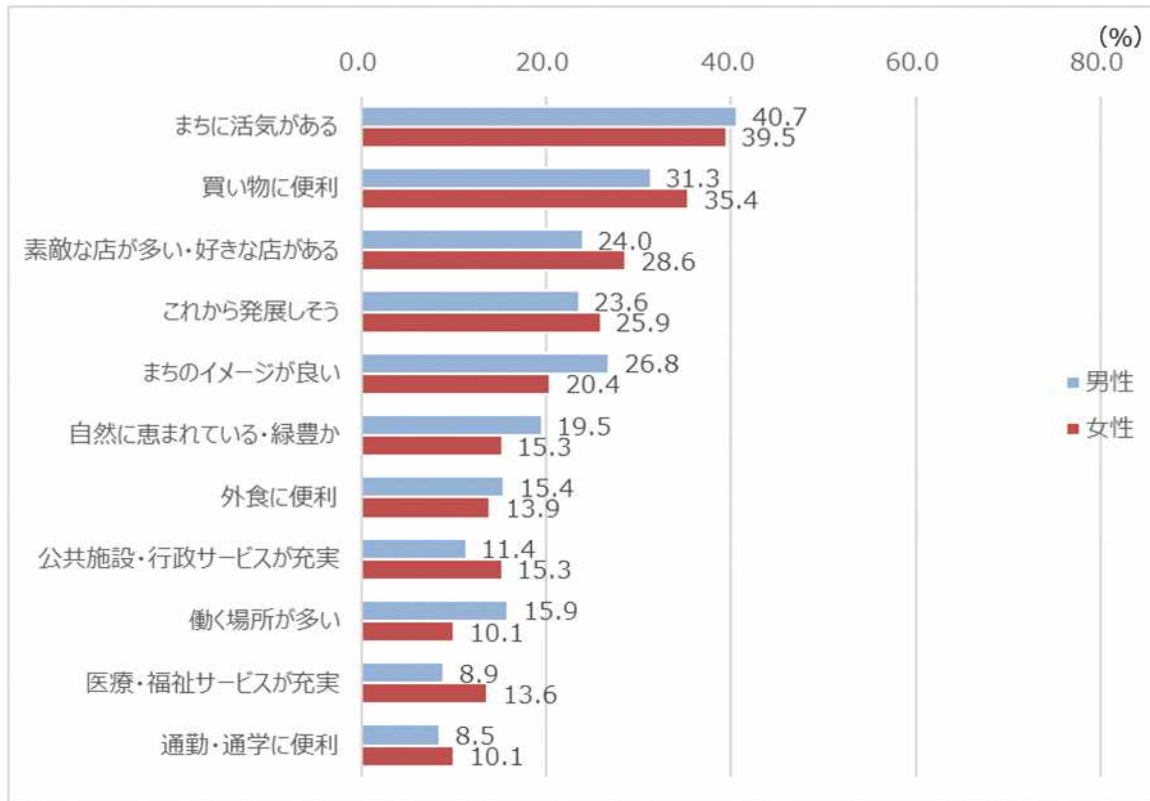
- ・ 「まちに活気がある」が約 40%、「買い物に便利」が約 34%、「素敵な店が多い・好きな店がある」が約 27%、「これから発展しそう」が約 25%となった。豊橋市にないイメージ、あるいは嫌だと思ふところを踏まえて、他市が暮らしやすいと判断したと考えられる。

問 豊橋市より暮らしやすそうと思った理由（3つまで選択）



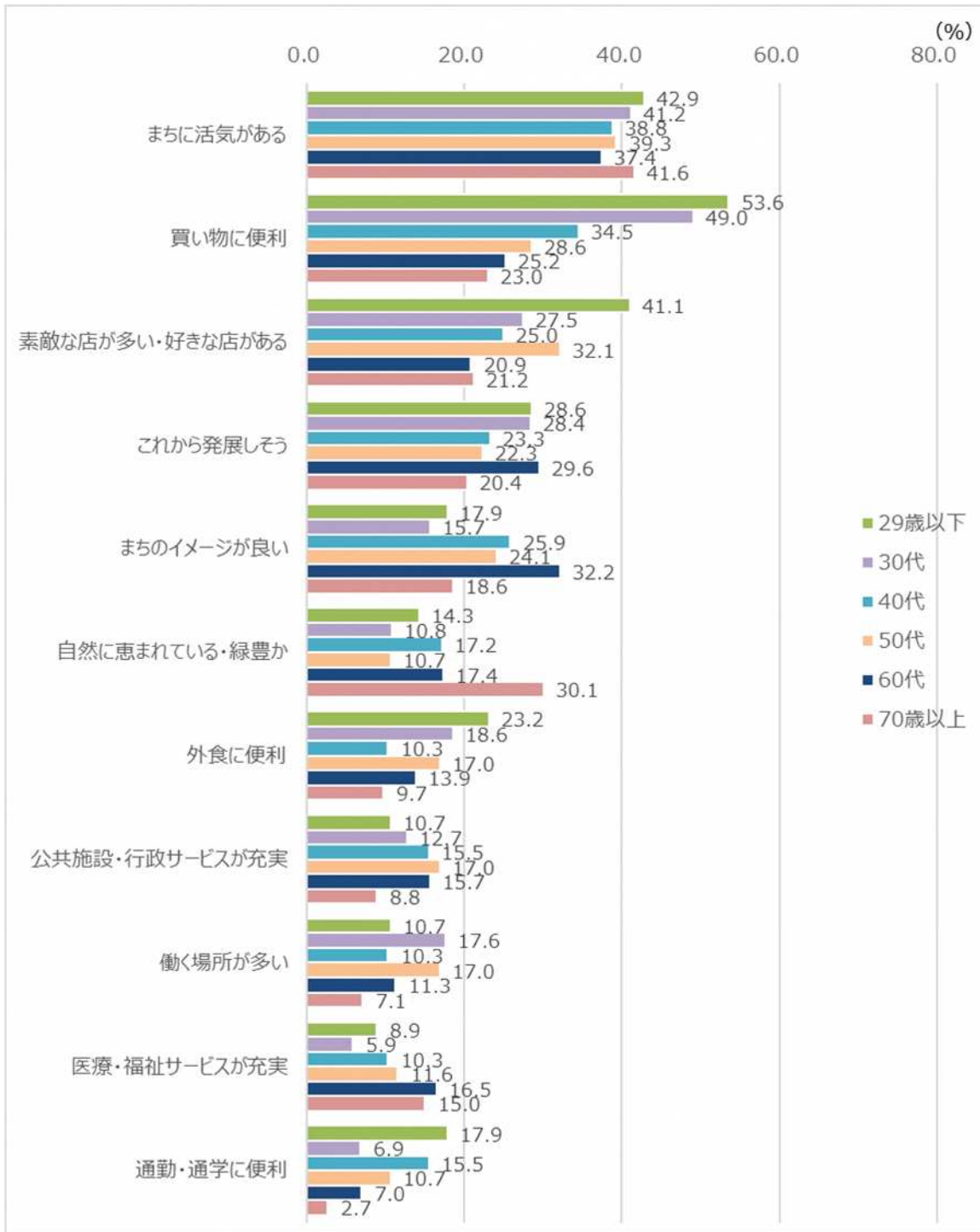
(男女別クロス集計結果)

- ・ 男女による違いはほとんど見られないが、女性は「買い物に便利」や「素敵な店が多い・好きな店がある」、「これから発展しそう」がやや高い。
- ・ 男性が女性を上回ったものは、「まちに活気がある」や「まちのイメージが良い」、「自然に恵まれている・緑豊か」、「外食に便利」、「働く場所が多い」の5項目となった。



(年代別クロス集計結果)

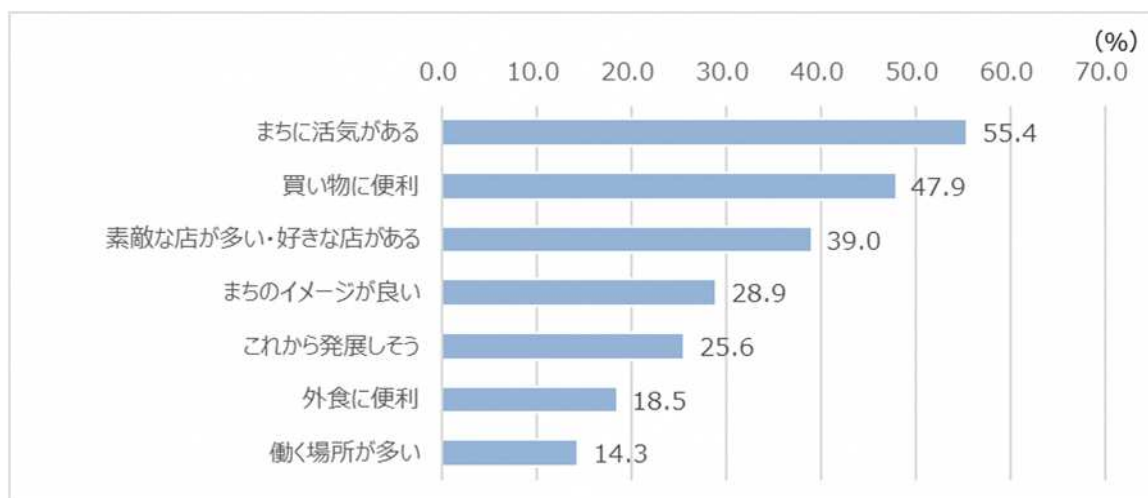
- ・ 浜松市はじめ豊橋市以外を選択した割合の高い「29歳以下」及び「30代」では、「買い物に便利」が50%あまりとなり、他の年代と比較して突出して高くなった。また、「素敵な店が多い・好きな店がある」も「29歳以下」で突出している。
- ・ そのため、全世代共通となる「まちの活気」に加えて、若い世代は、買い物のしやすさや魅力が住みよいまちの条件と考えていることがうかがえる。



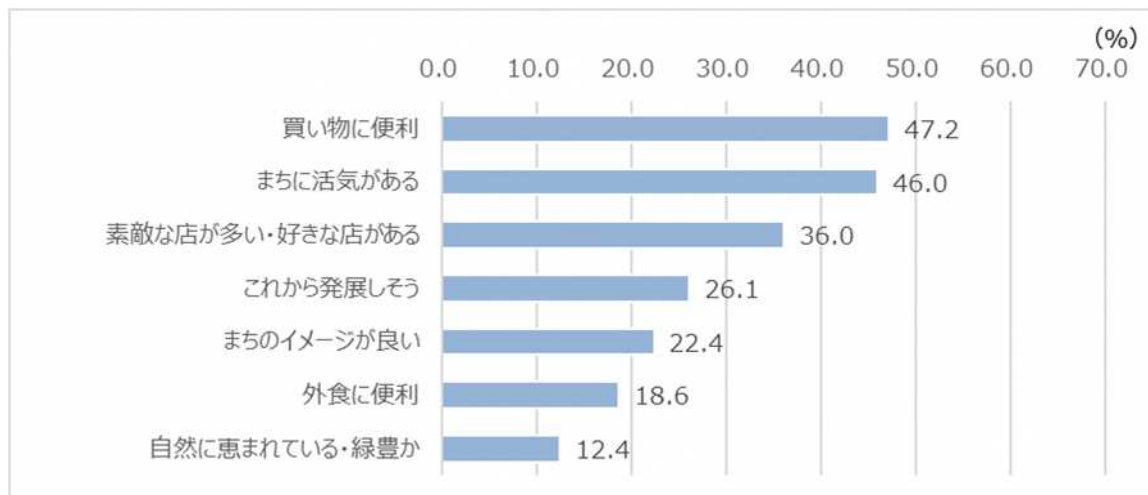
(暮らしやすそうだと思う都市別クロス集計結果)

- ・ 暮らしやすそうだと思う上位4市の理由について、浜松市及び岡崎市は、「まちに活気がある」や「買い物に便利」、「素敵な店が多い・好きな店がある」の3項目が他の項目と比較して高くなった。
- ・ 豊川市は、「これから発展しそう」が最も高くなった。また、「外食に便利」が上位2市と比較して高くなっているが、日常的に外食に利用しており、その状況を反映したものと推察される。
- ・ 田原市も「これから発展しそう」が最も高くなった。また、「自然に恵まれている・緑豊か」や「まちのイメージが良い」も上位となっており、他の3市とは理由が異なる。

浜松市 (N=336)



岡崎市 (N=161)



豊川市 (N=151)



田原市 (N=93)



(3)自由記述

※第5次豊橋市総合計画 基本計画・分野別計画の項目に振り分けたもの

No.	分類	件数	主な意見
1-1	農漁業の振興	10	若い世代が農業を引き継いでいけるような、都市から農業をしたい人へ田畑をうまく使ってもらえるような、仕組みができていくといい。
			周辺の地域は農地規制があり、人家や企業が進出できなく増々過疎化している。
			休耕田等、さらに活用していただき、格安で家庭菜園、土いじりでき、農業にふれ合う場所、アウトドアバーベキュー等できるエリアが有るといい。
			豊橋にはおいしい農産物、きれいな花が多いのもっと広めていって欲しい。
1-2	工業の振興	4	一企業の頑張りに頼って来た結果が、もう限界感に来ている。
			豊かな収入をもたらす企業が増えれば。
1-3	商業・サービス業の振興	57	大型ショッピングモールやアウトレットがあったらよい。
			買い物は浜松や名古屋へ行くので、豊橋市内に大型商業施設があると市内にお金が落とされるのではないか。
			豊橋でショッピングをしたいと思える所がない。
			買物ができるおしゃれな店を増やしてほしい。
			休日や仕事の休みなどに友人や家族と行きたくなるような素敵なお店があるとよい。
			グルメとショッピングを充実させて欲しい。
			飲食店はとても多いが、全国展開しているチェーン店ばかりでつまらない。
			海近辺に若い人や家族連れの人が来やすいような飲食店や施設があるとまた違った魅力に繋がる。
			若い世代にとって魅力的なスポットや施設が少ない。
			豊川より北側にスーパーが1店もなく、大変不便で困っている。
1-4	観光・イベント・コンベンションの充実	52	まちおこし、イベントなど魅力的なことを結構やっているのに、周知されていないものが多いように感じる。
			豊橋市の色々な場所でイベントをやり、地域を盛りあげるとよい。
			まちなかマルシェ的なイベントをもっと増やしてほしい。
			イベント内容はとてもいいのだが、出店者が少なく盛り上がりになりに少しかける。

No.	分類	件数	主な意見
1-4	観光・イベント・コンベンションの充実		高齢者も楽しめる家からチョット出掛けてみようと思わせるイベントもあるとよい。
			大きな、スポーツイベント、音楽イベントができる場所、建物がない。
			豊橋は大好きだが県外、市外の友人に、これといって自慢するものがない。
			遠方からのお客様に持たせてあげるおみやげが少ない。
			のんほいパークの充実。
			テレビ、ドラマの地としての誘致をどんどんして、豊橋市の活性化に役立ててほしい。
1-5	雇用の安定・勤労者福祉の充実	17	中高年の働く職種が限られている。
			若い女子の勤め先少なく魅力がない。
			若者がみんな学校や仕事で市外に行ってしまうため、学校や会社をもっと充実させてほしい。
			娘は未婚なので、子育てしながら正社員又はフルパートで働くのはなかなか難しいと思う。
			関東、関西へ進学した子どもたちが、戻って来て働きたいと思える企業を誘致してほしい。
1-6	三河港の振興	1	豊橋港をもっと市民と融合させて、大きな目で三河湾を顕在化する活動が必要。
1-7	近隣市町村との結びつきの強化	8	静岡県との県境に住んでいるため湖西市への施設（病院等）の利用が多い。住民サービス等両方が利用できるとありがたい。
			保育園等の入園の広域化（豊橋、豊川市民だれでも可とすべき）。
2-1	健康づくりの推進	4	子宮頸がんの検査など無料で受けられるサービスがあると嬉しい。
			広報の情報で脳ドッグを格安で受診でき、病気が見つかり治療したり、特定健診、ガン検診等を受けたりと利用させてもらっている。
2-2	医療の充実	13	豊橋市民病院を利用する事があるが、待ち時間が長い。医療スタッフの充実をお願いしたい。
			豊橋駅周辺に年寄りが行き易い病院を集中して頂きたい。
			大きな病院が少なく、いつもいっぱいである。
2-3	地域福祉の充実	3	福祉を充実させてほしい。

No.	分類	件数	主な意見
2-4	子育て支援・児童福祉の充実	34	妊娠中、子連れで外出時に助けてくださる方も多く、散歩していても声をかけてくれたり、人の良さがにじみ出ている人々との交流も楽しい。
			子育てをしていく上で、職場に理解がなく、保育園も見つからず、子育て環境の悪さを感じる。
			学童に預けたいが、小学4年以上は定員オーバーで受け入れてもらえず困っている。
			孫育て中ですが、未就園児を連れて遊べる児童館などが各校区にあればよい。
			夏場子どもが遊ぶことのできる施設がココニコ以外あまりなく、時間の過ごし方に工夫が要る。
			駅近くに子育てコーナー、スポット（おむつがえ、授乳スペース）があると嬉しい。
			若者（含中年一人者）が結婚相手を探すことができる機関、相談所があり、豊橋に定住できる環境作りを強力に進めてほしい。
2-5	高齢者福祉・介護保険の充実	25	老人二人暮らしで車の運転ができなくなると病院や買物に行くのに困る。
			高齢者が安心して病院・買い物等行けるシステムなどできるとよい。
			高齢者が安心してくらせる場所（デイサービス、老人ホーム等）を増やしてほしい。
			安く利用できる高齢者施設を整備して欲しい。
			独居世帯がこれから多くなるので、もう少しきめ細かい連絡網を考えていただきたい。
			高齢者向けの各種講座開設。
2-6	障害者（児）福祉の充実	5	重度障害者（医療ケアの人の）施設がほしい。
			市主催の福祉関係の勉強会などが定期的・頻繁にあると、親同士も情報・意見交換ができると思うことがある。
2-7	医療機会の確保	1	医療及び福祉施設の利用に対する保障や補助の拡充、拡大。
2-8	生活自立の支援	4	難病でも補助を受けられず、生命保険も不払いが多々ある。生活保護以下の生活すらできない状態でも市役所も保健所も対応してくれない。
3-1	学校教育の推進	22	小中学校にゆとりが無く、先生方もピリピリしているような雰囲気がある。
			教員の質の確保してほしい。

No.	分類	件数	主な意見
3-1	学校教育の推進		豊橋市の小学校が部活廃止と聞いているが大反対。
			部活動活動の見直しがされている。地域のクラブチームに入らない子の体づくりを今後市としてどのようにしていくのか。
			地元の小学校にエアコンを付けて欲しい。
			未来の豊橋市、愛知県、日本の発展のために、子供の教育にもっと力を注ぐべき。
3-2	生涯学習の推進	12	図書館も古いので新しくして欲しい。
			図書館は公共交通機関を使って行ける場所（駅前など）がよい。
			学習カフェみたいなスペースが欲しい。
			せっかく技科大があるので、大学とのつながりを市民がもっと持てるようになってほしい。
3-3	生涯スポーツの推進	20	スポーツのやれる公園の建設。
			公園にバスケットボールコートがない。
			豊橋公園にバスケットボール専用体育館建設の件。市民へ要望を聞く事もなく、勝手に計画を立てて事を進めるという愚行は甚だ遺憾である。
			豊橋はスポーツ施設があっても駐車場が少ない。
			体育館を開放し、運動するようなイベントを行ってほしい。
			地区体育館の利用料金が安い。65歳以上の利用者には半額にしてほしい。
3-4	子ども・若者の健全育成	4	ボランティアが育ちにくい閉鎖性がある。かつてはユースレクリエーター等、青年団があり楽しかった。
3-5	芸術文化の振興	8	人口に対して、大きなホール（ドームなど）がないのが残念。
			もっと魅力的な美術展をしてほしい。
			ステキなホールが豊橋にもあるので、コンサートや舞台など、たくさん見る事ができるとうれしい。
3-6	科学教育の振興	0	
3-7	文化財の保護と歴史の継承	2	歴史を残し後世につなげていくようなイベントを充実したい。
3-8	市民協働の推進	12	高齢化が進み、町内役員の成り手がなく、同じ人が何年もやり、役員が病気などで出来なくなれば、解散しなければと思う事がある。
			町内会費の内訳にムダが多い。

No.	分類	件数	主な意見
3-8	市民協働の推進		校区の区分けの見直しを希望する。地域活動への参加の妨げや、災害発生時の混乱にも繋がる。
3-9	国際化・多文化共生の推進	9	外国人でゴミ出し、交通ルールなど守れない人が多い。 外国人と交流できるイベントのようなものをもっと開催してほしい。いろんな語学が学べる場がほしい。
3-10	男女共同参画の推進	1	婚姻関係を続けたまま戸籍の性別の変更ができるようになってほしい。パートナーシップ制度を導入してほしい。
4-1	温暖化防止対策の推進	1	電燈のLED化。
4-2	自然環境の保全	5	農業のまちなので自然を守るとりくみに力を入れて。 休みの日は人がかなりいるが、葦毛湿原がさびしい。
4-3	水と緑の環境づくり	39	子どもが楽しく遊べる公園や遊園地（安く利用できる）があるとよい。 ジャンボ公園（小畷町）に駐車場が無いことが不満。 公共の場所に作ったものを効率良く活用してほしい。たとえば緑地公園の川とかアイプラザ前の池など。 50年後に向けて紅葉の誇れる並木道をつくる。 道路脇や歩道脇の雑草が特に気になる。 道路の中央分離帯や植え込みに雑草が多い。 緑を沢山増やしてほしい。
4-4	大気・水環境の保全	5	近所のあちこちでゴミを燃やす人達が多いので、窓を開けられないし、洗濯物も外に出せない。 ポケモンゴロのために、23:00頃まで近くの公園で騒がれる。
4-5	廃棄物対策の推進	20	ビン・缶ボックスがなくなって不便になった。 毎日のゴミの分別も、もっとしっかりするようにみなに言うべき。 毎回感じる事なのですが、ゴミ出しルールを守らない人が多い。 ゴミゼロ発祥の地であるのに、ゴミの集め方が雑で道路に普通に置きネットをかけるだけになっており、とても見苦しい。 ゴミのポイ捨てが多く汚い。 資源センターの対応の悪さ。設備の悪さ。 生ゴミ対策ですが、すごくお金をかけているそうですが、現在のところ、効果はいかかなものなのでしょうか？

No.	分類	件数	主な意見
5-1	防災対策の推進	23	将来、予想されている自然災害対策を最優先に考えていただきたい。
			災害対策をしっかりしてほしい。(豊川橋や石巻とか)
			南海トラフ地震に備え、災害に強いまちづくりにも取り組んで欲しい。
			水上ビルが古くて、災害対策が心配。
			小学校・中学校の耐震化がまったく進んでいない。
			災害が起こった際の市の対策もきちんとされているのかよく分からない。
			地震や台風など災害への対策と、分かりやすく対策や避難など周知できるといざという時に助かるかも。
5-2	消防・救急救命体制の整備	0	
5-3	治山・治水・侵食対策の充実	8	現在、住んでいる所は土地が低いので水害が心配。豊川の堤防が大丈夫か心配。
			海拔の低い所の浸水対策を早く進めてほしい。
			地震水害等のみならず 風害にも目をむけてほしい。
5-4	暮らしの安全確保	17	交通マナーの悪さにびっくりした。
			治安が悪い。
			不審者等の防犯をしっかりしてほしい。
			下校時など心配が多いので防犯カメラを増やして欲しい。
			最近は豊橋で強盗のニュースが相次ぎ、小さい子どもをもつ身としては安心して過ごせる場所でなくなっている気もして怖い。
5-5	生活衛生の確保	3	飼い主から引取したペットの殺処分をやめて、譲渡への道を開いてほしい。
5-6	食の安全確保	0	
6-1	市街地の整備と景観の形成	86	街中の建物も古くなってきているので、通りごと新しい建物にしたり、駐車場を大きく作ったりしてきれいで行きやすい感じにするよい。
			駅前のアーケード街が、最近特にさびれてシャッター街になっているのが気になる。
			豊橋駅前商店街、水上ビル等の寂れを、一刻も早くなんとかしてほしい。
			総合体育館、音楽ホールなど豊橋駅中心部にほしい。
			プラットや駅前の再開発で駅前に活気が増えるのを期待。

No.	分類	件数	主な意見
6-1	市街地の整備と景観の形成		駅周りのホテルや新しいショッピングモールはとても雰囲気 がよいが周りの建物は老朽化が進んでいて視覚的にはよくない。
			豊橋西駅周囲の再開発。
			豊橋駅東口と西口を車でも行き来出来るようにして欲しい。
			駅前に活性化をと言われてはいますが、バスの本数が少ないし、 地下のパーキングなどは古めかしい。
			まちなかパーキングの駐車券を毎月配布してくれたらまちな かが活性化していくのではないか。
			区画整備の期間が長過ぎる。又、整備後の住宅が過剰すぎる。 特に地盤の悪い所に多い。
			道路のせまく張り出している電柱を何とかしてほしい。
			豊橋市も最近の傾向で人口減少に拍車がかかると考えると、 長いスパンで考えて、コンパクトシティ的な考えが必要と感 じる。
6-2	幹線道路網の整備	35	道路整備を特に希望する。23号バイパス全線早期開通、高速 道路の引き込み。
			環状線を早く豊川ICまで作る。
			東名高速につながる道が一般道しかないため、もっと楽に乘 り入れできる道があるとよい。
			豊橋市は車社会なので通勤時に道がとても渋滞することが大 きなストレス。
			休日の259(国道)の渋滞をなんとかしてほしい。特に駅に 向かう方。
			二川火打坂周辺の朝・夕の渋滞がはげしい。
			朝仕事への出勤時はどのルートを通ってもどこも渋滞してい る。
6-3	生活道路の整備	42	歩道や自転車道の整備をしてほしい。
			学校周辺の歩道の整備。すれ違いにくい道幅の所の拡張もし くは一方通行に。道路のラインや凹凸部の早期修復。
			歩道がポコポコなので舗装して欲しい。歩道の花壇が草ぼう ぼうなので刈り取って欲しい。
			車がないと不便なことが多いのに町中の道路が狭く危険。
			広小路のガタガタした形の道を昔のように真っすぐにしてほ しい。

No.	分類	件数	主な意見
6-3	生活道路の整備		ミラマチの東側の道やミラマチに続く弥生町の生活道路は全く拡張されていない。
			道路行政が他の市や町に比べかなり遅れていると感じる
			市電近くに駐輪場をつくってほしい。
			外灯をもっと多く取りつけてほしい。
			とにかく無駄な一方通行を減らして欲しい。道幅が狭く、右折レーンがないから渋滞だらけでイライラする。
6-4	公共交通の充実	75	ぐるりんバス等の交通手段をきめこまかくし、買物、おでかけ等が自由に出来るように。
			バスの終わる時間が早いので、延長してほしい。
			バスの本数が少ない。1時間に3本は欲しい。
			バスにMANACAが使えるようにしてほしい。
			交通の便が悪い。バス料金も高い。
			市からのタクシー券は夏休みに入る頃には使ってしまうので、ぐるりんバスを通してほしい。
			交通網の充実・特に市電の延長。
			市電のある街を続けてほしい。
			新幹線利用への利便性向上。
			東京に行くひかりの数が増えるといい。
			新幹線の停車駅であることもだが、併せて複数の路線があることはすばらしく、もっと生かした方が良い。
			南部地域で生活しているが、渥美線を活用した町づくりを期待したい。
			北部地区と市中心部を結ぶ交通網の整備。
			車を持たない人は市街地でないと暮らすのが大変。
			運転免許証を返納したくても、その後の交通手段を考えると返納出来ない。
これから超高齢社会になるので、公共交通機関を今以上に充実させ、年をとってからでも便利に過ごせるまちづくりを行って欲しい。			
クリーンエネルギーをつかった、循環型公共交通機関の充実。			
6-5	住宅環境の整備	10	空家を有効活用して欲しい。
			若い人に住んでほしい。家が簡単に建てられるように。
			建築基準法、住宅専用地域の運用の見直し。
6-6	水道水の安定供給	1	古くからある道路の水道管の取り替え。

No.	分類	件数	主な意見
6-7	下水道の整備	1	下水道がなくほとんどが浄化槽のため河川が汚い。
6-8	情報・通信環境の充実	7	AI の活用。役所への様々な申請や病院の予約、支払い等の一元化。 防災無線について、聞こえない時があります。 ホームページ、パンフレットなど市行政の案内が分かりにくい。
7-1	行財政運営に関するもの	33	住民税が高いので安くして欲しい。 資産税や住民税をもっと安くしてほしい。年金生活者は暮らしにくい。 これから人口減少が進んで、税収も減少してくると思われるので、その使い道を戦略を持って決めてほしい。 市議会議員の削減（半減）。 まずは豊橋市役所の働いている人の意識を変えてもらわないといけない。 意見がどれだけ反映されるのかわかりませんが、進捗は報告して欲しい。 本庁の窓口が多すぎる。ワンストップになっていない。 箱物を造るのではなく、ソフト面で充実させて欲しい。
7-2	まちづくり全般に関するもの	53	豊橋ならではの文化やゆったりと落ち着いた雰囲気を保っていくことが大切だ。 日本全体のほぼ中央でどこにでも行きやすく、気候が温暖で生活しやすく山や川、海が近くいろいろ活動出来る。 子どもを安心して育てられ、希望する仕事があり、老後安心して暮らせる。 住み良い町になっている。20年前と比べると町の雰囲気が全く違うと感じた。 交通の起点（静岡、東京方面と名古屋、大阪方面）となる地理的アドバンテージを活かすことができていない。 豊橋は暗いイメージで新しい物がない。 豊橋市は南高北低の政策で非常に片寄っている。 何事の対応にもスピードが感じられない。 そこそこの環境、自然、経済で保っているのもこのまま特別な何かを仕掛けるのではなく、今あるものを充実させる位の小さな街（市）が一番よい。

No.	分類	件数	主な意見
7-3	アンケート実施に関するもの	16	戦略室の構成委員が市民として、親として、対外的活動すると仮定して自信を持って行動していけばアンケートをしなくても回答はでてくる。
			前回もアンケートを提出した覚えがありますが何も行政に生かされていないように思われる。
			アンケート集計を目的とするだけでなく、今後に活かしてほしい。
			未来の豊橋市のまちづくりのためのアンケートであるが、アンケートの内容や項目の中身が恣意的であると感じる。
7-4	その他	8	成人式について、自治会から案内が届く理由が分からない。豊橋市が小学校の学区ごとに開催してくれればよい。